はじめに

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。

- 本書の「安全上のご注意」には、安全確保に必要な重要事項が記載されていますので、必ずお読みください。
- 使いはじめるときは、クイックスタートガイドに記載の「セットアップ」、「パソコンとの接続」を行ってください。GENIO eでインターネットやメールを利用するには、本書に記載の「インターネットの接続設定」、「電子メールの接続設定」を行ってください。
- お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
- オプション(別売品)や携帯電話、市販品のケーブルなどをご使用になる場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- 本書に記載している画面は表示例です。ご利用の状況などによって異なる画面になることがあります。

■商標

- Microsoft、ActiveSync、Outlook、Pocket Outlook、Windows、Windows NT、Windows Media、MSN、Windowsロゴ、MSNロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- インテルは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- コンパクトフラッシュは、米国SanDisk Corporationの登録商標です。
- マイクロドライブ、Microdriveは、Hitachi Global Storage Technologiesの登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- Macromedia、 FlashおよびMacromedia Flashは、Macromedia, Inc.の米国および全世界における商標または登録商標です。
- Pocket Gphone、PC Gphoneは、米国VL Inc.の商標です。
- 「FOMA/フォーマ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 本取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

■用語

- Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- 本書では、コンパクトフラッシュカード、コンパクトフラッシュメモリカードをCFカード、CFメモリカードと表記しています。

安全上のご注意

・ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた商品を安全にお使いいただくために、重要な事項を記載しています。
・次の内容（表示・図記号）をよくお理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(＊2)を負うことが想定されるか、または物的損害(＊3)の発生が想定されること”を示します。

＊ 1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。
＊ 2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊ 3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図 記 号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信機会の消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記憶装置(内部メモリ、メモリカードなど)に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。記録内容は定期的にバックアップをお取りください。

本体（内蔵電池を含む）の取扱いについて

⚠警告

航空機内や病院内などの使用を禁止された場所では電源を切り、使用しない

禁止場所が不明な場合、航空会社や医療機関に確認のうえ、指示に従ってください。誤って使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。

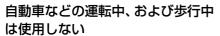
心臓ペースメーカやその他の医療用電気機器をお使いの方は、無線LANカードやBluetooth™ SDカード（別売品）などのご使用にあたって、医師とよく相談する

電波により、心臓ペースメーカや医療用電気機器の動作に、影響を与えることがあります。

自動車などの運転中、および歩行中は使用しない

交通事故や、けがの原因となります。

異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、バッテリスイッチを停止側にする

そのまま使用すると、火災の原因となります。点検・修理はお買い上げの販売店へご依頼ください。

ステープルやクリップなどの金属類を内部に入れない
端子（金属部分）を金属で接続しない

発熱、発火する原因となります。

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

内蔵電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

火の中へ投げ入れたり、加熱したりしない

内蔵電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

次の場所では使用、充電、保管しない

- 浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所
- 雨、霧などが直接入り込むような場所
- 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- 直射日光が当たる場所
- 炎天下の閉めきった車内

内蔵電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

内蔵電池から液もれしたときは、液には触れない

液が目に入ったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目に入ったときは、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

禁　止

内蔵電池から液もれしたり、異臭がするときは、直ちに火気より遠ざける

もれた液に引火し、破裂する原因となります。

指　示

分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。

分解禁止

本体（内蔵電池を含む）の取扱いについて　つづき

⚠注意

イヤホンまたはヘッドホンを接続してご使用になるときは、音量を上げすぎない

聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶にふれない

皮膚がかぶれるおそれがあります。もし、皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

幼児の手の届く場所には置かない

スタイラスなど、先が尖ったもので、思わぬけがなどの原因となります。

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談する

この商品に使用している材料、表面処理により、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

フラッシュの発光部を人の目に近づけて発光させない

視力障害の原因となります。

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて

⚠警告

付属のACアダプタや電源コードを使用する

付属以外のものを使用すると、発煙、発火の原因となります。

電源プラグは、家庭用交流100Vコンセントに接続する

それ以外のコンセントに接続すると、火災、故障の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

浴室など、水がかかる場所で使用しない

濡れると発火、感電の原因となります。

ACアダプタの近くに、コップなどの液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて内部に入ると、発火、感電の原因となります。

充電時のACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない

内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。

電源プラグの差刃や差刃付近にほこりがついているときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりをふき取る

電源プラグにほこりがたまると絶縁低下により、火災の原因となります。

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて つづき

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損し、発火、感電の原因となります。

分解・改造・修理をしない

火災、感電、けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。

⚠注意

長期間ご使用にならないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

発火、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く

コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、発火、感電の原因となります。

電源コードを取り扱うときは、次の内容を守る

・傷つけない　・加工しない
・ねじらない　・無理に曲げない
・引っ張らない・物を載せない
・加熱しない　・熱器具に近づけない

守らないと、火災、感電の原因となります。
もし、電源コードが破損したときは、お買い上げの販売店にご相談の上、新しい電源コードを購入してください。

⚠注意

端子（金属部分）を針金などの金属類で接続しない

発熱し、やけどの原因となります。

幼児の手の届く場所には置かない

けがなどの原因となります。

ご使用上のお願い

■使用環境や使用方法について

- **次の周囲環境条件の場所でご使用ください。**
  温度 0 ～ 40℃、湿度 30 ～ 80%RH

- **次の場所では使用、保管しないでください。**
  ・極端な高温、低温の場所
  ・ほこりの多い場所
  ・振動の強い場所
  ・電気的ノイズが発生しやすい場所
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

- 本体とパソコンなどの外部機器を接続して作業する場合は、静電気が発生しやすい環境で行わないでください。乾燥した季節やカーペットの上などでは静電気を帯びやすくなっていますので、手近にある金属製のものに軽く指を触れて、静電気を逃がしてからご使用ください。

- **雷が鳴っているときは、使用したり、充電したりしないでください。**
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

- **急激な温度変化を与えないでください。**
  結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
  結露が生じたときは、自然乾燥させてからご使用ください。

- 使用中や使用直後は、本体やACアダプタの表面が温かくなっていることがあります。異常ではありませんが、ご注意ください。

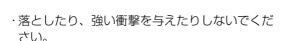
- 目の健康のため、長時間表示画面を見続けないでください。

ご使用上のお願い　つづき

■故障や破損を防ぐための取り扱いについて

● **GENIO eは精密機器です。タッチスクリーンやスタイラス、筐体の破損、故障を防ぐため、ていねいな取り扱いをお願いします。**

・スタイラスでタッチスクリーンをタップするとき、強く押し付けないでください。

・落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

・指でタッチスクリーンを押さえ付けないでください。拡張ユニットの取り付け、取りはずしの際、誤ってタッチスクリーンを押さないでください。

・上に物を載せたり、物を落としたりしないでください。

・荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、他の物の下にならないようにしてください。

・カバンの中で、他の物に押されたり、外部からの衝撃を受けたりしないようにしてください。

・ズボンのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。

ご使用上のお願い　つづき

■お手入れについて

- **お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。**
  色や形が変わる原因となります。
  汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。

- **濡れた布でタッチスクリーンをふかないでください。**
  濡れた手で触れないでください。
  故障、誤動作の原因となります。
  タッチスクリーンの汚れは、やわらかい乾いた布で、軽くふいてください。強く押し付けてふかないでください。

- **端子（金属部分）をときどき乾いた布などで清掃してください。**
  汚れていると接続不良、充電不良の原因となります。

■接続機器や、使用するソフトウェアについて

- 別売品のPCカード拡張ユニットで使用可能なPCカード(TYPE Ⅰ、Ⅱ)は、モデムカード、メモリカード/HDDカードなどになります。
  動作確認済みのPCカードやCFカード、SDカードについては、GENIOeホームページでご確認ください。
- 本体に、PCカード拡張ユニット（別売品）と、USBクレードル（またはUSBホストケーブル（別売品））を接続して、PCカード拡張ユニットにPCカードをセットし、USBクレードルのUSBポート（またはUSBホストケーブル）にUSB機器を接続した場合、本体の操作ができなくなることがあります。
  この場合は、いったんPCカード拡張ユニットとUSB機器を取り外し、どちらか1つだけを再度接続してご使用ください。
- ご使用するソフトウェアによっては、本体に搭載しているプロセッサの処理能力を十分に引き出せないものがあります。
- 本体に取り付けているカードに強い衝撃を与えないでください。カードや本体の破損、故障の原因となります。

ご使用上のお願い つづき

- 本体にカードを取り付けたまま持ち運びしないでください。カードに物が当たり衝撃が加わるとカードや本体の破損、故障、またはカードが本体からはずれて紛失するおそれがあります。
- 他社製の接続機器につきましては、当社で動作を保証するものではありません。
  当社にて動作を確認した接続機器に関する詳しい情報は、GENIO e ホームページをご覧ください。

■通信データの保護について

- 無線LANや携帯電話などを利用して、データを送受信する場合、電波を使用するため、第三者に送受信データを傍受される可能性があります。留意してご利用ください。データを暗号化すれば、データの機密性・保護性が高まります。データを暗号化して送受信することをお勧めします。送受信データが傍受され、それにより生じた損害について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■記憶データについて

- メモリカードやマイクロドライブ™へ書き込み・読み出し中は、電源を切ったり、メモリカードやマイクロドライブ™を取り出したりしないでください。メモリカードやマイクロドライブ™、本体、記憶データが、破壊されるおそれがあります。
- **重要な本体内の記憶データは、定期的にメモを取ったり、メモリカード（オプション・別売品）やパソコン（ActiveSyncでデータ転送する）に保存して、控えを取っておいてください。**
  次のようなときに記憶データが消えるおそれがあります。
  ・内蔵電池の充電残量がなくなった（放電しきった）とき
  ・誤った使い方をしたとき
  ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  ・故障したり、修理に出したとき
- 本体の故障や修理において、または内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ご使用上のお願い　つづき

■内蔵電池について

- 内蔵電池は、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきる場合があります。たえず内蔵電池の充電残量をチェックして、充電を行ってください。
- 本体の内蔵電池は、アドバンストリチウムイオン充電池を使用しています。
  内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または東芝GENIO eカスタマセンタへご依頼ください。お客様が交換することはできません。
- 使用済みのアドバンストリチウムイオン充電池は貴重な資源です。法律に基づいてリサイクルしますので廃棄しないでください。不要になった本体の回収に関しては、GENIO eホームページでご覧いただくか、東芝GENIO eカスタマセンタにご連絡ください。

GENIO eホームページ

URL http://genio-e.com/

東芝GENIO eカスタマセンタ

電話番号　043-279-2631
営業日　月曜日～日曜日
（年末年始、当社特別休日を除く）
受付時間　午前9時～午後5時

■カメラ機能について

- 大切な撮影（結婚式や旅行など）に使用するときは、事前に試し撮りをして、カメラ機能が正常に動作することを確認しておいてください。
  本商品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失など）については、補償いたしかねます。
- カメラのレンズに太陽光が進入する状態で放置しないでください。
  レンズの集光作用により故障の原因になります。

ご使用上のお願い　つづき

■用途制限について

ご購入いただきました本商品は、一般事務用を意図して設計・製作されています。したがって生命、財産に著しく影響のある、高信頼性を要求される用途に使用しないでください。このような用途に使用しての万一の事故に対し、当社は一切責任を負いません。

- 高信頼性を必要とする用途例
  医療機器制御、緊急連絡制御、化学プラント制御など

■輸出規制

本商品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、東芝GENIO eカスタマセンタにお問い合わせください。
なお、この機器に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

■電波障害自主規制

この機器は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この機器は家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

■著作権

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本商品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■肖像権

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。
肖像権には、だれにでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権(パブリシティ権)があります。
したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

もくじ

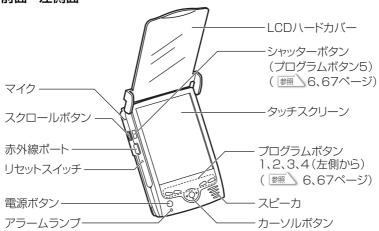
第2章　基本操作と環境設定 ………………… 27

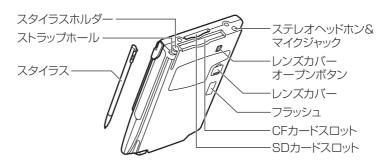
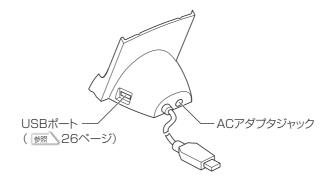
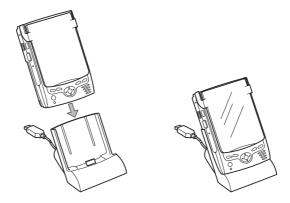
第5章　アプリケーションプログラム ········ 167

第1章
ご利用いただく前に

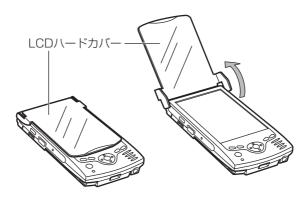
1. 各部のなまえと機能

本　体

■前面・左側面

■底面

■背面

USB クレードル

■本体とクレードルの接続のしかた

● 奥までしっかり差し込んでください。

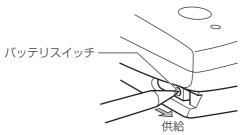
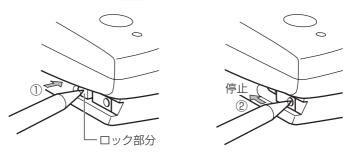
LCD ハードカバー

タッチスクリーンを保護するために、LCDハードカバーが取り付けられています。タッチスクリーンを使用するときは下図のようにLCD ハードカバーを開けてください。

LCD ハードカバーが外れた場合は、下図のように取り付けてください。

1 ヒンジ部分を軽く開きながら、片方ずつ止め穴にはめる

LCDハードカバーを取り外すときは、ヒンジ部分を軽く開きながら片方ずつ外してください。

バッテリスイッチ

バッテリスイッチは、内蔵電池からの電源を供給／停止します。
工場出荷時は「停止」になっています。お買い上げ後、初めてお使いになるとき、ペン先などで「供給」側に移動してください。通常は「供給」にしておきます。

バッテリスイッチを「供給」から「停止」側に移動するときは、まず、ロック部分をペン先などで押し込み、その後「停止」側に移動します。
「停止」にすると、本体が初期化され、お客様が登録したデータなどが消え、工場出荷時状態に戻ります。（参照 247 ページ）

電源ボタン

電源の ON/OFF とフロントライトの ON/OFF を行います。

電源ボタン	電源OFFのとき	電源ONのとき
長く押す	電源がONする	フロントライトがON/OFFする
短く押す	電源がONする	電源がOFFする

アラームランプ

本体の状態をお知らせします。

- オレンジ色の点滅‥‥「予定表」や「仕事」で設定したアラーム時刻になると点滅します。(「仕事」のアラーム時刻は、期日の午前８時です。)
- オレンジ色の点灯‥‥内蔵電池の充電中です。(この状態では、内蔵電池だけで本体を動作させることができます。)
- 黄色の点灯‥‥‥‥‥内蔵電池の充電中です。(この状態では、内蔵電池だけでは本体を動作させることはできません。)
- 黄色の点滅‥‥‥‥‥周囲温度が低すぎる、または高すぎるため、内蔵電池の充電を一時停止しました。周囲温度が約５～35℃の環境で充電を行ってください。
- 緑色の点灯‥‥‥‥‥内蔵電池の充電が完了しました。

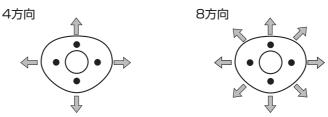
プログラムボタン

電源がOFFのときでも、プログラムボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているプログラムが起動します。
初期状態では、次のプログラムに設定されています。

お知らせ

- プログラムボタンを押してもプログラムが起動しない（電源が入らない）ように、設定できます。(参照 73ページ)
- プログラムボタンの割り当て設定を変更できます。(参照 67ページ)

カーソルボタン

カーソルボタンの各方向部を押すことによって、画面上のカーソル（選択表示）を移動できます。
カーソルボタンの動作方向(4 方向または 8 方向)を変えることができます。
（参照 71 ページ）

カーソルボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。

お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。方向によってはカーソルが移動しない場合があります。

スクロールボタン

スクロールボタンを2方向に動かすことによって、画面上のカーソル（選択表示）を移動できます。
また、スクロールボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。
ナビゲーションバーに⊗ボタンのあるプログラム画面で、スクロールボタンの中央を長押しすると、そのプログラム画面の表示を消すことができます。

お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。
- 「GENIOショット」画面では、スクロールボタンの中央を長押ししても、画面の表示を消すことはできません。

スタイラスの使いかた

スタイラスは本体のタッチスクリーン上で、メニューの選択やデータを入力するときに使用します。

スタイラスは次のような使いかたをします。

- タップ‥‥‥‥‥‥‥‥ タッチスクリーンを軽く１回タッチする操作です。画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。
- タップアンドホールド‥‥ タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」すると赤の円マークが表示されポップアップメニューが表示されます。
- ドラッグ‥‥‥‥‥‥‥ タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

お願い

- 本体のタッチスクリーンの操作には、付属のスタイラスをご使用ください。
- スタイラスの先が破損した場合は、ご使用にならないでください。先が破損したスタイラスや、ボールペンの先でタッチスクリーンの操作をすると、タッチスクリーンを傷つけることがあります。
- スタイラスは消耗品です。破損したら新しいスタイラスを、GENIO eをお買い上げの販売店でお買い求めください。
- タッチスクリーンの傷つきを防止するために、市販の画面保護シートを取り付けて、タッチスクリーンの操作をすることをお勧めします。

2. 電池の充電

電池は、本体に内蔵されています。初めて使うときは、バッテリスイッチを「供給」にしてから（参照 5ページ）充電を行ってください。

充電のしかた

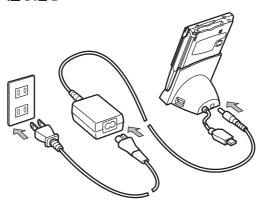
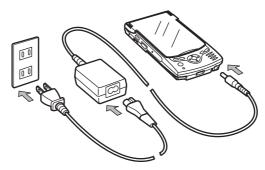
充電には、AC アダプタを使う方法と、パソコンから USB 経由で行う方法があります。このほかにオプション（別売品）の「GENIO e モバイルバッテリチャージャ」を使って充電する方法もあります。

お知らせ

- 充電は、周囲温度が約５～35℃の環境で行ってください。周囲温度が低すぎても、高すぎても充電を一時停止します。動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。アラームランプの黄色の点滅は、充電の一時停止を示します。
- 充電中は、アラームランプがオレンジ色、または黄色に点灯します。黄色の点灯中は充電を続けてください。充電を中止すると、お客様が登録したデータやインストールしたアプリケーションなど、本体内の記憶データが消失するおそれがあります。
- 満充電になると、アラームランプが緑色に点灯します。
- 充電時間は周囲温度などによって変わります。

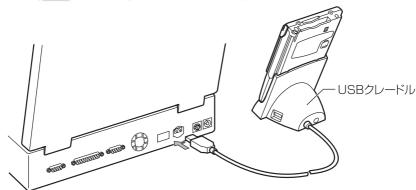
AC アダプタを使って充電する

接続のしかたに２つの方法があります。電池残量０から満充電までに約４時間かかります。

■付属の AC アダプタとクレードルを図のように接続し、本体をクレードルに差し込む

■付属の AC アダプタと本体を図のように接続する

お願い

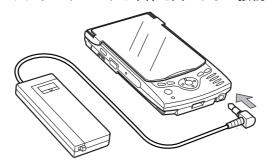
- 本体とACアダプタを接続するときは、本体の電源をOFFにしてから行ってください。

パソコンから USB 経由で充電する

パソコンと本体を、USB クレードルまたはUSB シンクケーブル（別売品）を使って接続（参照 20 ページ）しているとき、本体の電源が ON で、「パワーマネージメント」の「PCからUSB経由で充電を行う」にチェックが付いていれば（参照 73 ページ）、パソコン側から供給される電源で充電されます。

- 本体の動作状態によっては、満充電までの時間が長くなったり、充電されないで電池残量が減っていく場合があります。
- 内蔵電池の残量が減っていくときや、パソコンから電源が供給されていないときは、アラームランプが消灯します。
- AC アダプタが接続されていると、AC アダプタからの充電が優先されます。
- 拡張ユニット(別売品)を取り付けていても、拡張ユニットは充電できません。

モバイルバッテリチャージャを使って充電する

オプション（別売品）の「GENIO eモバイルバッテリチャージャ」を使って、内蔵電池を充電することができます。充電しながら本体を動作させることもできます。
はじめにモバイルバッテリチャージャ取扱説明書をお読みになり、取り扱い方法をご理解のうえご使用ください。

■モバイルバッテリチャージャと本体を図のように接続する

お願い

- 本体に拡張ユニット(別売品)を取り付けた状態で、モバイルバッテリチャージャを接続して本体を動作させないでください。
  電池が著しく消耗するため、動作状態によっては突然本体の電源がOFFする場合があります。その場合、本体やメモリカード、Microdrive™等の記憶データが消失・変化するおそれがあります。また本体、モバイルバッテリチャージャ、拡張ユニットが故障する場合もあります。これらのトラブルに対して、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

内蔵電池の使用時間を長持ちさせるには

- ACアダプタを接続して、本体を使用する。
  特に次のような動作をするときは電力の消費が大きいので、ACアダプタを使用してください。
  ・本体とパソコンを接続して動作するとき
  ・本体にメモリカードや、その他のオプション機器を接続して動作するとき
- 本体の操作を行わないと自動的に電源がOFFするまでの時間を短く設定する。（初期値「3分」 参照 73ページ）
- フロントライトをOFFにする。（参照 5ページ）
- フロントライトの明るさレベルを「省電力」側にする。また未使用時間に応じて消灯するまでの時間を短くする。（初期値「30秒」 参照 74ページ）
- Windows Media Player、SD Audio Player再生中は、画面表示を消す。（参照 191ページ、SD Audio Player取扱説明書）
- 「パワーマネージメント」の「サスペンド時の設定」で「CFカード/SDカード/PCカードに電源を供給する」チェックをはずす。（参照 73ページ）
- 「プロセッサ設定」で動作速度を遅くする。（参照 75ページ）
- 内蔵電池の性能が最も発揮できる、周囲温度15～25℃の環境で使用する。
  ・高温／低温の場所では、内蔵電池の充電容量が低下して、使用できる時間が短くなります。

電池の寿命

内蔵電池には寿命があります。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は徐々に短くなります。極端に使用時間が短くなってきたら交換時期です。新しい内蔵電池への交換を、お買い上げの販売店または東芝GENIO eカスタマセンタへご依頼ください。なお電池の寿命は使用状態などによっても変わります。

- 本体を、炎天下の閉め切った車の中や冬の屋外など、高温・低温の場所に放置しないでください。電池の寿命が短くなります。

充電残量と記憶データの保護

内蔵電池の充電残量がなくなる（放電しきる）と本体の電源が入らなくなります。そしてそのまま放置すると本体内に記憶したデータが消えてしまいます。電源が ON できなくなってからデータを保持できる時間は、約 75 時間です。保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。

アイコン（参照 31ページ）が表示されたら、ただちに充電を行ってください。（本商品では、お客様自身がバッテリ（内蔵電池）の交換を行うことはできません。）

● 警告メッセージ（参照 245 ページ）

メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバッテリを交換または充電してください。

● ステータスアイコン
…………内蔵電池の充電残量がわずかになっています。

お知らせ

- 内蔵電池は、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきることがあります。
- 本体内の記憶データは、定期的にメモリカードやパソコンに保存しておいてください。（参照 54、98 ページ）
- 内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化･消失しても、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

3. 初期セットアップ

初めて電源を入れたときや、本体を初期化したときは、「Pocket PC 2002」の画面が表示されます。画面の説明に従って初期セットアップを行ってください。

1 「Pocket PC 2002」の画面をタップする

2 「タッチスクリーンの補正」を行う

- スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップするごとに動きます。5回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。

3 「スタイラス」の使いかたの説明を読む

- 説明をお読みになり、「次へ」をタップしてください。

4 ポップアップメニューの操作を練習する

- 画面の説明に従って、「ポップアップメニュー」を開く操作と「切り取り」、「貼り付け」を行ってください。
- 「貼り付け」をしたら「次へ」をタップしてください。

5 場所を設定する

- 通常はそのまま「次へ」をタップしてください。
- タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。必要に応じて本商品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。

6 初期セットアップ画面を閉じる

- 「完了」の画面をタップすると「Today」画面が表示され、本体を使用開始できます。

お知らせ

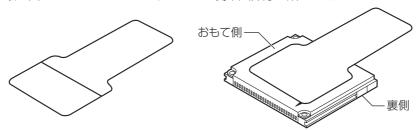
- 「Today」画面については（参照 30ページ）をご覧ください。

4. 外部機器の接続のしかた

CF カードスロットにカードをセットする

カードによっては、セットしたカードを取り出すとき、取り出しにくいものがあります。そのようなカードには、取り出しテープを貼ってください。取り出しテープを貼ると、CF カードスロットからカードを取り出すとき便利です。

■取り出しテープの貼り付けかた

取り出しテープは、CF カードのおもて側中央部分に貼ってください。

- テープを貼るときは、カードのおもて側をティッシュペーパーなどできれいにふいて、汚れを落としてください。
- カードのおもて側をふくときや、テープを貼り付けるとき、カードの外部カバーを強く押したり、たたいたりしないでください。
  カードの故障の原因になります。
- カードの裏側にはテープを貼らないでください。
  カードによっては故障の原因になります。
- 取り出しテープは、補修部品として取り扱っております。
  部品名…取り出しテープ、部品番号…28300510
  東芝 GENIO e カスタマセンタへお問い合わせください。
  ・電話番号　043-279-2631
  ・受付時間　月曜日～日曜日　午前 9 時～午後 5 時
  （年末年始、当社特別休日を除く）

お願い

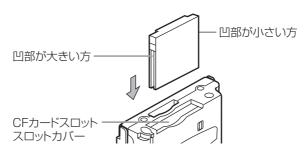
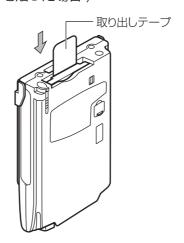
- CFカードには、取り出しテープ以外のラベルなどを貼らないでください。カードや本体の故障の原因になります。
- ご利用になれる CF+ カードは 3.3V 対応品のみです。また、一部の CF+ カードにつきまして、CF+カードに添付されているドライバでは動作しないものがあります。その場合、各販売元(製造元)から対応するドライバを入手してください。

■カードのセットのしかた

1 本体の電源を OFF にする

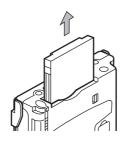
2 CFカードスロットの向きと、カードの向きが合うように確認して差し込む

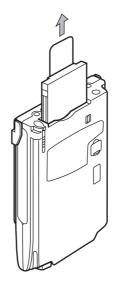
カードは、ゆっくり奥まで確実に差し込んでください。スロットカバーは内側に折りたたまれます。

● カードが差し込まれると、電源が入ります。

（取り出しテープを貼った場合）

■カードの取り出しかた

1 本体の電源を OFF にする

2 カードの突起部分または溝部分に指をかけてゆっくり引き抜く

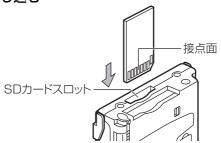
● カードを抜くと、電源が入ります。

(取り出しテープを貼った場合)

● 取り出しテープを指でつまんで、ゆっくり引き抜いてください。

お願い

● カードを取り出すとき、指の爪をカードに引っ掛けて取り出さないでください。
爪の損傷やけがの原因になります。
取り出しにくいカードには、取り出しテープを貼ってください。

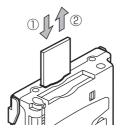
SD カードスロットにカードをセットする

1 本体の電源を OFF にする

2 カードの接点面（金属の部分）を本体背面側に向けて、カチッと音がするまで差し込む

■カードの取り出しかた

1 本体の電源を OFF にする

2 カードを指で軽く、カチッと音がするまで押し込み、指を離す①

3 カードが少し飛び出してきたら、ゆっくり引き抜く②

お願い

● CF カードスロットと SD カードスロットの両方にメモリカードをセットしても、アプリケーションや「設定」（参照 62ページ）の操作では、片方（基本的には最初にセットした方）のメモリカードしか、アクセスできない場合があります。

代表例

・「メモ」の「ツール」メニューの「オプション…」で、保存先を選択する場合

・Pocket Word の「ツール」メニューの「オプション…」で、保存先を選択する場合

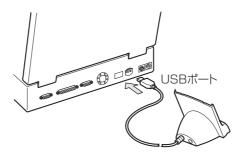
● 内蔵電池の充電残量が 10%以下のときは、CFカードスロット、SDカードスロットにカードをセットしても使用できません。内蔵電池を充電するか、AC アダプタを接続したうえでカードを使用してください。

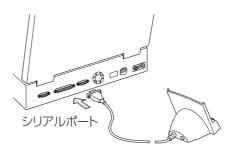
パソコンとの接続のしかた

付属のUSBクレードル、または別売のシリアルクレードルやケーブルを使って、本体とパソコンを接続できます。本体とパソコンを接続して、データの同期や受け渡しを行うには、「パソコンと接続して同期をとる」（参照 50 ページ）をご覧ください。

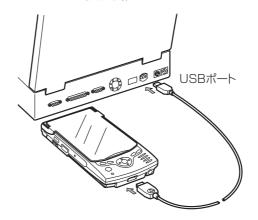
- 本体の電源が OFF の状態で接続してください。
- パソコン側の接続ポートの位置などが､パソコンによって異なる場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

USB クレードルを使って接続する

USB クレードル（付属品）を、パソコンの USB ポートに接続します。

シリアルクレードルを使って接続する

シリアルクレードル（別売品）を、パソコンのシリアルポートに接続します。

ケーブルを使って直接接続する

本体とパソコンを、USBシンクケーブル（別売品）、またはシリアルシンクケーブル（別売品）を使って、直接接続します。

（USB シンクケーブルの接続例）

お願い

- 静電気が発生しやすい場所や、電気的ノイズが大きい場所での使用時には、ご注意ください。
  外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障や、静電気・電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

携帯電話との接続のしかた

接続したい携帯電話に対応した別売の接続ケーブルを使って、本体に携帯電話を接続できます。本体に携帯電話を接続すると、インターネットの接続や電子メールの送受信などができます。

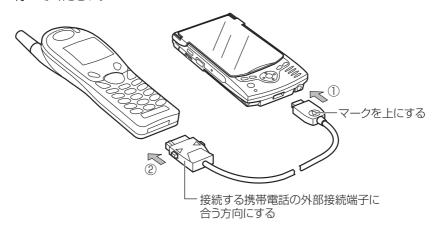
お知らせ

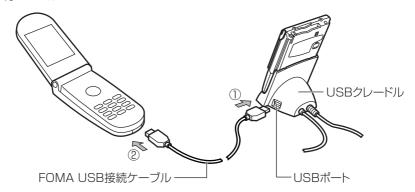
- インターネットや電子メールの方法については、第３章「インターネットの利用」をご覧ください。

携帯電話（cdmaOne、PDC)を接続する

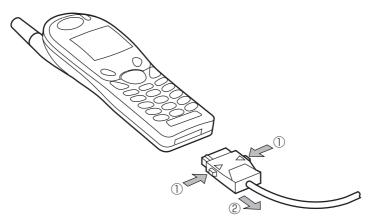
ご使用する携帯電話に対応した接続ケーブル（別売品）をご購入ください。

- 携帯電話（cdmaOne）接続ケーブル
- 携帯電話（PDC）接続ケーブル

接続するときは、本体および携帯電話の電源を切った状態で、下図の手順で行ってください。

携帯電話（FOMA)を接続する

NTT ドコモ製の「FOMA USB 接続ケーブル」をご購入ください。
接続するときは、本体および携帯電話の電源を切った状態で、下図の手順で行ってください。

● 上図の接続で、USB クレードルの替わりに、USB ホストケーブル（別売品）を使用しても、本体と接続できます。

携帯電話の取り外しかた

携帯電話と接続ケーブルを取り外す際には、コネクタ部両側のロックボタンを押しながら、まっすぐに引き抜いてください。

お願い

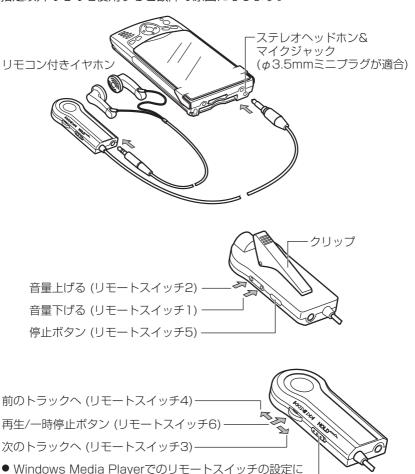
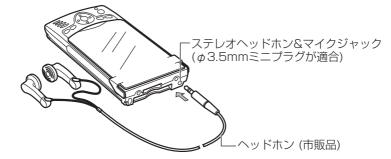
● 通信中に携帯電話の電源を切ったり、接続ケーブルを抜かないでください。
● 接続ケーブルの抜き差しは、接続部が曲がらないようにていねいに行ってください。

イヤホン、ヘッドホン、イヤホンマイクの接続

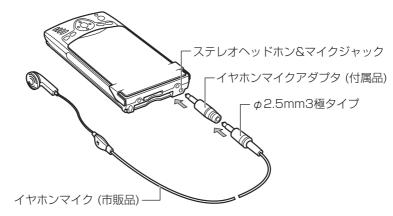
リモコン付きイヤホンやヘッドホン（市販品）を本体に接続して、本体の出力音声を聞くことができます。
また、付属のイヤホンマイクアダプタを使用して、イヤホンマイク（市販品）を本体に接続し、音声を録音することもできます。
それぞれ、図のようにステレオヘッドホン&マイクジャックに接続してください。

■リモコン付きイヤホン

リモコン付きイヤホンは、指定のオプション（別売品）を使用してください。指定以外のものを使用すると故障の原因になります。

● Windows Media Playerでのリモートスイッチの設定については(参照 191ページ)をご覧ください。

■ヘッドホン

■イヤホンマイク

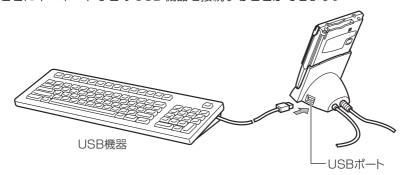
イヤホンマイク（市販品）を接続するときは、付属のイヤホンマイクアダプタを使用してください。

お願い

- 次のような場合にはヘッドホンやイヤホン、イヤホンマイクを着用しないでください。大きな雑音が発生する場合があります。
  - ・本体の電源を入れる / 切るとき
  - ・ヘッドホンやイヤホン、イヤホンマイクの取り付け / 取り外しをするとき
- 音量を小さくしておいてからヘッドホンやイヤホン、イヤホンマイクを着用してください。着用後適切な音量に調整してください。

USB クレードルの USB ポートに接続する

付属の USB クレードルには USB ポートが装備されています。
ここにキーボードなどの USB 機器を接続することができます。

■USB 機器に供給できる電流

内蔵電池のみの時 .... 最大 200mA
AC アダプタ接続時 .... 最大 500mA

・ 供給できる電流量を超えると、供給を停止します。
その場合データが消失・変化するおそれがあります。データが消失・変化しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

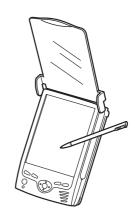
● 内蔵電池の充電残量が40%以下のときは、USB機器を接続しても使用できません。内蔵電池を充電するか、ACアダプタを接続したうえでUSB機器を使用してください。

お知らせ

● USB ホストケーブル（別売品）を使って、USB 機器を本体に接続することもできます。
● USB ハブを介しての USB 機器の接続は、保証できません。
● USB 機器を使用するためにUSB ドライバが必要な場合は、本体にインストールしてください。
● 本体にあらかじめインストールされているUSB ドライバは、USB 日本語キーボード用、および FOMA 用のみです。

第2章 基本操作と環境設定

使用環境設定をお好みに設定したり、パソコンやメモリカードを利用して、本体をより便利に使うことができます。

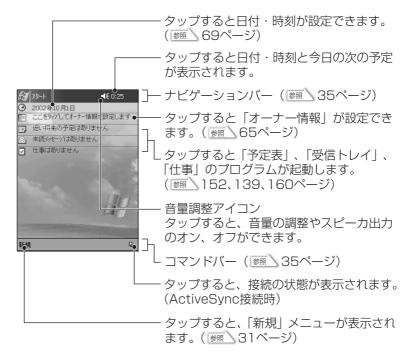
「Today」画面、「ホーム」画面、プログラムボタンなどをお好みに設定できます。

パソコンと接続して、作成したデータの同期ができます。

SDメモリカード、CFメモリカードなどを使って、データのバックアップができます。

1. 基本的な使いかた

「Today」画面の見かた

「Today」画面について

本体の電源を入れると、「Today」画面が表示されます。また、「スタート」メニューから「Today」をタップしても表示されます。「Today」画面には、その日の予定、未読メッセージ、仕事が表示されます。

お知らせ

- 背景画像など、「Today」画面の表示内容を設定できます。設定については（参照 64 ページ）をご覧ください。
- 「ホーム」画面からでも、その日の予定、未読メッセージ、仕事を見たり、いろいろなプログラムを起動できます。「ホーム」画面については、（参照 80 ページ）をご覧ください。

「新規」メニューについて

「Today」画面左下の「新規」をタップすると「新規」メニューが表示されます。
メニューに表示するプログラムは変えられます。（参照 68 ページ）
各メニューをタップすると、それぞれの新規入力画面が表示されます。

ステータスアイコンについて

本体の動作状況によって、画面上のナビゲーションバーや画面下のコマンドバーに次のステータスアイコンが表示されます。「Today」画面以外でも表示されます。

.... スピーカの出力(画面のタップ音やアラーム音など)が、オンになっています。アイコンをタップすると音量調整とスピーカ出力のオン、オフが設定できます。

.... スピーカの出力がオフになっています。

.... 電池残量が少なくなってきました。

.... 電池残量がわずかになっています。

.... 同期が開始または終了します。

.... パソコンに接続中です。

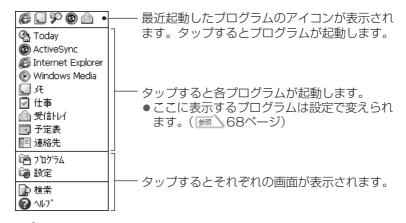
お願い

- 通知アイコン が表示された場合は、このアイコンをタップして、通知内容を確認してください。
- 「メインバッテリ残量警告」のメッセージ（参照 245ページ）が表示されたら、すみやかに内蔵電池を充電してください。

プログラムの起動と切り替え

「スタート」メニューから起動する

1 画面左上の「スタート」をタップする

●「スタート」メニューが表示され、その中から各プログラムを選択して起動します。すでにそのプログラムが起動しているときは、そのプログラムに切り替わります。

お知らせ

●「ホーム」を使ってプログラムを起動させることもできます。（参照 80ページ）
●プログラムボタンを押しても、それに割り当てられているプログラムを起動させることができます。（参照 6 ページ）

「スタート」メニューに表示されていないプログラムを起動する

1 「スタート」メニューの「プログラム」をタップする

●「プログラム」の画面が表示され、その中から各プログラムを選択して起動や切り替えをします。

プログラムの追加と削除

本体に、Pocket ＰＣ用のプログラムを追加インストールして、利用することができます。付属のアプリケーション CD に入っているプログラムのインストール方法は、（参照 201 ページ）をご覧ください。

プログラムのインストール

プログラムを本体にインストールするには、事前に接続するパソコンに Microsoft® ActiveSync® をインストールし（参照 51 ページ）、本体とパソコンが接続できるように準備をしておきます。また、インストールに必要な空きディスク容量とメモリが確保されているか確認してください。（参照 77 ページ）
インストールの方法は、プログラム（CD-ROM やインターネット等のダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■インストールの操作例

1 **プログラムの入った CD-ROM やＦＤをパソコンのドライブに挿入する（または、インストールしたいプログラムをインターネット等からダウンロードする）**

2 **本体をパソコンに接続する**

3 **パソコンでCD-ROMやFD内またはダウンロードしたファイル内の（＊.exe）ファイルをダブルクリックする**

4 **画面の指示に従って操作をする**

- プログラムがパソコンにインストールされ、インストーラによって自動的にプログラムが本体に転送されます。
- ファイルがインストーラを備えていないと、エラーメッセージが表示されます。この場合はファイルを本体に移動する操作が必要です。パソコンのエクスプローラを使って、ファイルを本体の「Program Files」フォルダにコピーしてください。エクスプローラで本体のフォルダ一覧が表示できます。「本体とパソコンの間で、ファイルを移動する」（参照 54 ページ）をご覧ください。

プログラムを削除する

削除の方法は、プログラム（CD-ROMやダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■削除の操作例

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「プログラムの削除」をタップする

2 プログラムリストから削除するプログラムを選択し、「削除」をタップする

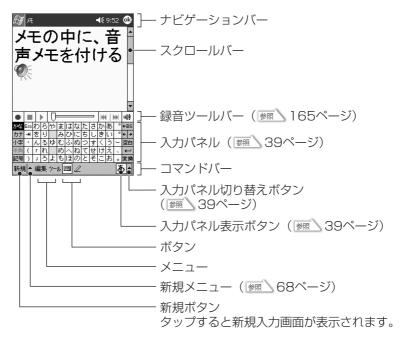
- プログラムリストに削除するプログラムが表示されないときは、ファイルエクスプローラ（参照 56ページ）を使用して探してください。見つかったらプログラムをタップアンドホールドし、ポップアップメニューを表示させ、「削除」をタップしてください。

お知らせ

- 本体にあらかじめインストールされていたプログラムは、削除できません。

プログラムの基本操作

プログラムの画面構成について

「メモ」の入力画面を使って、主な画面構成の説明をします。

■ナビゲーションバーについて

画面の最上段にあり、現在使用中のプログラム名と現在時刻の表示、プログラムの切り替え（ スタートメニュー)、スピーカの音量調整、画面の終了（ok ボタン）ができます。

■コマンドバーについて

画面の最下段にあり、現在使用中のプログラムのメニューとボタン、および入力パネルボタン（表示／切り替え）などが表示されます。

お知らせ

- ナビゲーションバーに Ⓧ ボタンがある画面で次の操作をすると、そのプログラム画面が消えます。
  ・Ⓧ ボタンをタップする
  ・スクロールボタンの中央を長押しする（「GENIO ショット」画面を除く）
  このとき、プログラムは終了していません。
- プログラムを終了するには、「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップし、「実行中のプログラム」タブで、終了したいプログラム名を選び、「終了」をタップしてください。（参照 77 ページ）
  「ホーム」を使って、プログラムを終了させることもできます。（参照 85 ページ）
- 電源を OFF にしてもプログラムは終了しません。

ポップアップメニューについて

画面上に表示されている項目などをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されます。

オンラインヘルプの使いかた

1　**「スタート」から「ヘルプ」をタップする**

そのとき表示していた画面に応じた「ヘルプ」の画面が表示されます。

- 「Today」画面を表示していたときは、「ヘルプの目次」の画面が表示されます。
- プログラムを開いていたときは、そのプログラムのヘルプが表示されます。

2　**見たい項目をタップする**

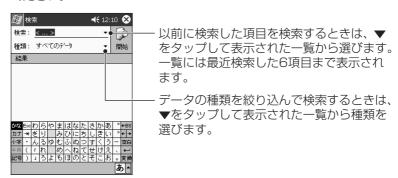
（例：「メモ」を開いていた場合）

検索のしかた

1 「スタート」から「検索」をタップする

「検索」の画面が表示されます。

2 「検索」欄に検索したい語句を入力する

文字の入力のしかたは、「文字入力のしかた」（参照 39ページ）をご覧ください。

3 「開始」をタップする

検索データの種類に応じて、My Documents フォルダ(サブフォルダを含む)などが検索され、検索結果が「結果」欄に表示されます。

● 再度検索する場合は、「検索」欄をタップして、検索語句を入力します。

2. 文字入力のしかた

文字入力の概要について

「文字入力モード」は、入力パネルを使って文字を入力します。入力パネルは、以下の４つのタイプがあります。

● キーボードタイプ入力パネル

「ひらがな／カタカナ」

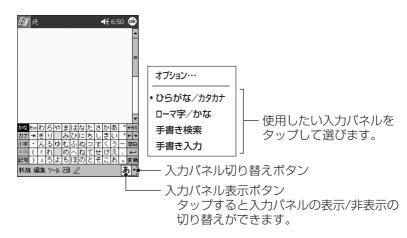
「ローマ字／かな」

● 手書きタイプ入力パネル

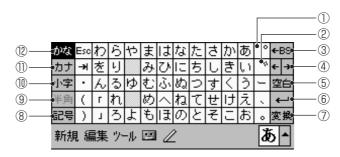
「手書き検索」

「手書き入力」

入力パネルの切り替えについて

画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、使用したい入力パネルを選択すると、画面下部に入力パネルが表示されます。

キーボードタイプの入力パネル

「ひらがな／カタカナ」キーボード

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。

① ゜ ....「ぱ」行を入力するときには、「は」行のキーをタップしてから゜をタップします。

② ゛ ....「が」、「ざ」、「だ」、「ば」行を入力するときには、「か」、「さ」、「た」、「は」行のキーをタップしてから゛をタップします。

③ ←BS ....カーソルの前にある文字を、タップするごとに１文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

④ ←→ ....カーソルを前後に移動します。

⑤ 空白 ....空白を入力します。

⑥ ↵ ....「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

⑦ 変換 ....ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。

⑧ 記号 ....記号キーボードに切り替わります。(参照 42ページ)

⑨ 半角 ....タップして「半角」を反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう一度タップすると解除します。

⑩ 小字 ....タップして「小字」を反転させると、「つ」、「や」、「ゆ」、「よ」などの文字が小文字入力になります。小文字入力は、１文字入力すると解除されます。

⑪ カナ ....「カタカナ」キーボードに切り替わります。

⑫ かな ....「ひらがな」キーボードに切り替わります。

「ローマ字／かな」キーボード

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。

① ←BS ……………カーソルの前にある文字を、タップするごとに１文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。
② ←→ ……………カーソルを前後に移動します。
③ ↵ ……………「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。
④ 変換 ……………ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。
⑤ ［　　］…………「スペース」キーです。空白を入力します。
⑥ 記号 ……………記号キーボードに切り替わります。（参照 42ページ）
⑦ 半角 ……………タップして「半角」を反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう一度タップすると解除します。
⑧ 英数 ……………英数字入力します。
⑨ カナ ……………ローマ字入力で、カタカナを入力します。
⑩ かな ……………ローマ字入力で、ひらがなを入力します。
⑪ Esc ……………「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。
⑫ ⇥ ……………「タブ」キーです。タブを入力します。
⑬ Cap ……………「キャプスロック」キーです。英数字入力のときに、タップして Cap を反転させると大文字入力ができます。もう一度タップすると解除します。
⑭ ⇧ ……………「シフト」キーです。タップして ⇧ を反転させると、大文字および記号（！“＃＄％＆‘（　）＿＝…など）の入力ができます。1文字入力すると、シフトキーが解除されて元に戻ります。
⑮ Ctl ……………「コントロール」キーです。

■「記号」キーボード

「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」キーボード左下の「記号」をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。

①〜⑤ .... 各キーのはたらきは「ひらがな／カタカナ」キーボードの③④⑤⑥⑦キーと同じです。

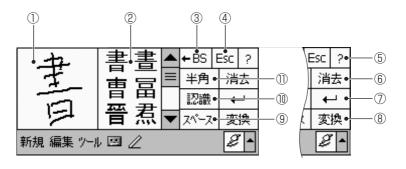
⑥ 半角 .... タップして「半角」を反転させると、半角入力ができます。もう一度タップすると解除します。

⑦ 英数 ....「ローマ字／かな」キーボードに切り替わります。

⑧ カナ ....「カタカナ」入力モードに戻ります。

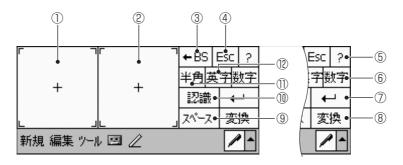
⑨ かな ....「ひらがな」入力モードに戻ります。

手書きタイプの入力パネル

「手書き検索」入力パネル

① （手書き入力欄）...... 手書き入力します。
② （認識候補一覧）...... ①で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。
③ ←BS .... ①で手書き中に ←BS をタップすると、最後の１画が消去されます。文字列では、カーソルの前にある文字を1文字ずつ削除します。また、変換中にタップすると、変換を解除します。
④ Esc .... 「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。
⑤ ? .... タップすると、キーのヘルプ画面が表示されます。
⑥ 消去 .... ①と②の欄内の文字が消去されます。
⑦ ↵ .... 「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。
⑧ 変換 .... ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。
⑨ スペース .... 文字列にスペースを挿入します。
⑩ 認識 .... ①に手書き中に ←BS をタップして画数を減らしたときに、②の候補リストを更新します。
⑪ 半角 .... タップして反転させると、カタカナ、英数字などの半角入力ができます。もう一度タップすると解除します。

お知らせ

● 入力手順は、（参照 46 ページ）をご覧ください。

「手書き入力」入力パネル

①②（手書き入力欄）......... 2つの欄に手書きした文字が順に認識され、連続的に入力されます。

③～⑤、および⑦～⑪ .... 各キーのはたらきは、「手書き検索」の入力パネルと同じです。

⑥数字 .... タップして「数字」を反転させると、数字および記号を書き込むモードに切り替わります。もう一度タップすると解除します。

⑫英字 .... タップして「英字」を反転させると、英字を書き込むモードに切り替わります。もう一度タップすると解除します。

お知らせ

- 入力手順は、（参照 47ページ）をご覧ください。

文字入力する

ここでは、Pocket Wordを使って文字入力のしかたを説明します。
Pocket Wordの新規文書を開くには、「Today」画面のコマンドバーの「新規」から、「Word 文書」をタップします。

- 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップしても開けます。

「ひらがな／カタカナ」入力パネルを使って入力する

（例）「かんじ」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ひらがな／カタカナ」入力パネルを選択する

「ひらがな／カタカナ」入力パネルが表示されます。

2 キーボードから「かんじ」と入力する

画面に「かんじ」と入力されます。

3 「変換」をタップする

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

- 変換が違うときはもう一度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 ↵ をタップする

反転が解除されて、確定します。

「ローマ字／かな」入力パネルを使って入力する

（例）「kanji」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ローマ字／かな」入力パネルを選択する

「ローマ字／かな」入力パネルが表示されます。

2 キーボードから「kanji」と入力する

画面に「かんじ」と表示されます。

3 「変換」をタップする

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

● 変換が違うときはもう一度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 ↵ をタップする

反転が解除されて、確定します。

「手書き検索」入力パネルを使って入力する

（例）「書」と手書きして変換してみます。

1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き検索」入力パネルを選択する

「手書き検索」入力パネルが表示されます。

2 手書き入力欄に「書」と手書き入力する

右側に認識候補一覧が表示されます。

● 一覧から「書」を選択すると、画面上部に「書」が表示されます。

3 ↵ をタップする

「書」が確定されます。

「手書き入力」入力パネルを使って入力する

（例）「書く」と手書きして変換してみます。

1 **入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き入力」入力パネルを選択する**

「手書き入力」入力パネルが表示されます。

2 **２つの手書き入力欄に「書」、「く」と手書き入力する**

自動的にテキスト変換して、「書く」と表示されます。

3 **［↵］をタップする**

「書く」が確定されます。

文字の編集について（追加、削除、変更、コピー、移動）

文字を追加するには

1 **文字を追加したい位置をタップする**

カーソルが点滅表示されます。

2 **追加したい文字を入力する**

カーソル位置に入力文字が追加されます。

お知らせ

- 「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」入力パネルの［←→］キーをタップしてもカーソルの位置を移動できます。
- カーソルボタンでもカーソルの位置を移動できます。
- 改行するには、改行したい位置にカーソルを合わせ、［↵］キーをタップします。

文字を削除するには

1 **削除したい文字の直後をタップする**

カーソルが点滅表示されます。

2 **カーソルの位置を確認して ←BS をタップする**

カーソルの位置から前へ順に削除されます。

- 削除したい範囲をドラッグして、←BS または「編集」メニューからクリアをタップすると、複数の文字を一度に削除できます。

文字を変更するには

1 **変更したい範囲をドラッグして、新しい文字を入力する**

文字をコピーするには

1 **コピーしたい範囲をドラッグして、「編集」メニューの「コピー」をタップする**

2 **貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる**

3 **「編集」メニューの「貼り付け」をタップする**

文字を移動するには

1 **移動したい範囲をドラッグして、「編集」メニューの「切り取り」をタップする**

2 **貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる**

3 **「編集」メニューの「貼り付け」をタップする**

文字を編集前に戻すには

直前の編集操作を取り消して、ひとつ前の状態に戻すことができます。

1 「編集」メニューの「元に戻す」をタップする

- 「元に戻す」の操作をした直後、「編集」メニューの「やり直し」をタップすると、元に戻した操作をやり直すことができます。

3. パソコンと接続して同期をとる

本体とパソコンを接続すると、本体とパソコンとの間で、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期や、ファイルの転送などが行えます。
本体をパソコンに接続するためには、パソコンにActiveSync® 3.5をインストールする必要があります。また、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期には、Outlook® をインストールする必要があります。

パソコンの必要条件について

ActiveSync® 3.5は、Outlook® 98、Outlook® 2000、Outlook® 2002に対応しています。

- 本体のOSのPocket PC 2002では、ActiveSync® 3.1 日本語版は、サポート対象外になります。

ActiveSync® 3.5 の動作環境は、次のとおりです。

■オペレーティングシステム（下記の日本語版）、接続ポート

オペレーティングシステム	接続ポート		
	USB 接続	9 または 25 ピンのシリアル接続ポート	赤外線通信ポート
Microsoft® Windows® 2000/98/Me/XP	使用可	使用可	使用可
Windows NT® Workstation4.0 (Service Pack6 以降)	使用不可		使用不可

- Windows® 95 は、ActiveSync® 3.5 の対象 OS ではありません。
- シリアル通信ポートで接続する場合は、シリアルシンクケーブル（別売品）またはシリアルクレードル（別売品）が必要です。また 25 ピン通信ポートの場合は、市販の変換アダプタが必要です。

■プロセッサ、メモリ（お使いのオペレーティングシステムによって異なります。）

オペレーティングシステム	プロセッサ	メモリ
Windows® 98	486/66DX 以上のプロセッサ (Pentium® 90MHz 以上を推奨)	16MB 以上を推奨
WindowsNT® Workstation 4.0	Pentium® プロセッサ	32MB 以上を推奨
Windows® 2000	Pentium® 166MHz 以上のプロセッサ	64MB 以上を推奨
Windows® Me	Pentium® 150MHz 以上のプロセッサ	32MB 以上を推奨
Windows® XP	動作クロック 300MHz 以上のプロセッサ	128MB以上を推奨

■各オプション、その他

インストールソフト	Microsoft® Internet Explorer 5.0 以降のバージョン
必要な空きハードディスク容量とメモリ	Internet Explorer 5.0 の場合 56 ～ 98MB ActiveSync® の場合 10 ～ 50MB
	Outlook® 2000 標準インストールの場合　227MB 以上 （メモリは 40MB 以上を推奨）
各オプション	オーディオカード／スピーカ
	Microsoft® Office97、またはMicrosoft® Office2000、またはMicrosoft® OfficeXP
	リモート同期用モデム
	リモート同期用イーサネット LAN 接続
その他	CD-ROM ドライブ
	256 色以上の VGA グラフィックスカード、または 互換のあるビデオグラフィックスアダプタ
	キーボード
	Microsoft マウス、または互換性のあるポインティングデバイス

ActiveSync3.5 について

本体（Pocket PC）とパソコンの間で、データ交換をするためのパソコン用のプログラムです。本体には、Pocket PC 用の ActiveSync がすでにインストールされています。
ActiveSync3.5を使用して本体とパソコンの間で、以下のようなことが行えます。

- 「連絡先」、「予定表」、「仕事」の同期
- 「受信トレイ」内のメールの同期
- ファイルのコピーまたは移動
- 選択したファイルの同期
- 本体へのアプリケーションの追加と削除
- 本体のデータのバックアップと復元

お知らせ

- ActiveSync3.5 は付属のコンパニオン CD に収録されています。
- ActiveSync3.5の詳細については、ActiveSync3.5をパソコンにインストールしてから、ActiveSync3.5 のヘルプをご覧ください。
- クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧になり、その順番で ActiveSync3.5 をインストールしてください。

初めてパソコンと接続して同期をとる

初めてパソコンと接続して同期をとるときは、次の手順で接続します。
詳しくは、クイックスタートガイドをご覧になり、接続してください。

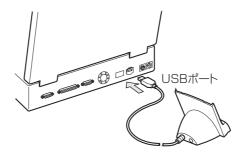
1 コンパニオン CD をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する

コンパニオン CD については（参照 202 ページ）をご覧ください。

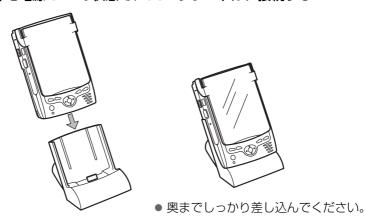
2 パソコンに Microsoft Outlook 2000 をインストールする

すでに Outlook 2000、Outlook 2002 がインストールされている場合は、この操作は不要です。

3 パソコンに ActiveSync3.5 をインストールする

4 USB クレードルをパソコンの USB ポートに接続する

- このときは USB クレードルに本体を差し込まないでください。

5 本体を電源 OFF の状態で、USB クレードルに接続する

- 奥までしっかり差し込んでください。

本体の電源が ON になり、本体とパソコンの接続が確立されます。
- 本体はパソコンから「モバイルデバイス」として認識されます。

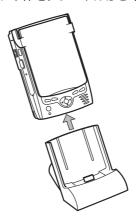
6 パートナーシップの設定をする

本体とパソコンの同期の設定をします。

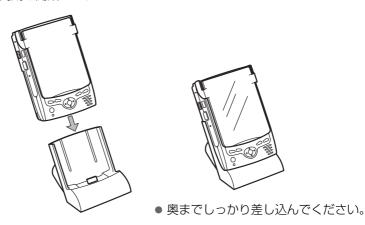
7 「セットアップ完了」の画面で「完了」をクリックする

本体とパソコンの同期を開始します。

■本体とパソコンの接続を取り外すには

本体の電源を OFF にして、本体をクレードルから取り外します。

再びパソコンと接続して同期をとる

本体を電源 OFF の状態で、USB クレードルに接続します。本体とパソコンが接続し、同期を開始します。

● 奥までしっかり差し込んでください。

● 本体が動作しているとき、クレードルから本体を着脱しないでください。故障、誤動作、データ消失の原因となります。

同期の設定を変更する

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」の「オプション」をクリックし、「同期の設定」タブで同期したい情報の種類にチェックを付けます。

…お知らせ

- 「設定」をクリックすると、その情報の同期の条件などについて詳しく設定できます。
- 「ファイル」にチェックを付けると選択したファイルを同期できます。
- 詳しくはパソコン上の ActiveSync のヘルプをご覧ください。

本体とパソコンの間で、ファイルを移動する

パソコンのエクスプローラで「モバイル デバイス」の「マイ ポケット PC」をクリックします。
本体のフォルダー覧が表示されるので、ファイルの移動などができます。

本体のデータをパソコンへバックアップする

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」の「バックアップ／復元」をクリックし、「バックアップ」をクリックします。

- 詳しくは、パソコン上の ActiveSync のヘルプをご覧ください。

赤外線を使ってパソコンと接続して同期をとる

クレードルやケーブルを使わずに、赤外線を使ってパソコンに接続できます。

1 パソコンの赤外線接続を設定する

● お使いのパソコンの赤外線ポートを設定します。お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、設定してください。

2 本体とパソコンの赤外線ポートの位置を合わせる

● ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。

3 本体の「スタート」から「ActiveSync」をタップし、「ツール」メニューから「赤外線から接続」をタップする

● 本体からパソコンに赤外線接続を開始します。

お知らせ

● 赤外線を使用したActiveSyncの接続の詳細については、ActiveSyncのヘルプをご覧ください。

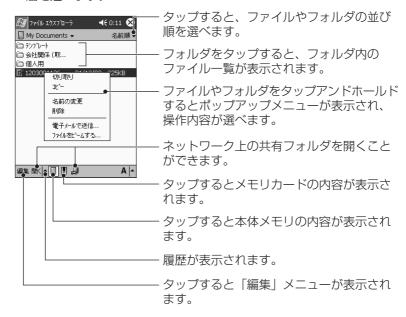
4. ファイルの管理

ファイルエクスプローラを使うと、本体メモリや挿入したメモリカードのファイルやフォルダの一覧が表示でき、新規フォルダを作成したり、ファイルやフォルダを移動するなど、ファイルの操作ができます。

ファイルエクスプローラの使いかた

1　**「スタート」の「プログラム」から「ファイルエクスプローラ」をタップする**

「ファイルエクスプローラ」の画面が表示され、My Documentsのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

- 「My Documents ▼」をタップすると、現在表示中の階層より上の階層を選べます。

- ファイルをタップすると、そのアプリケーションが起動してファイルを開きます。

新規フォルダを作成する

1 **フォルダを作成したい階層を表示する**

● 別の階層にフォルダを作成するには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

2 **「編集」メニューから「新しいフォルダ」をタップする**

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

3 **フォルダ名を入力して ↵ をタップする**

ファイルやフォルダをコピーする

1 **コピーしたいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「コピー」をタップする**

3 **コピー先にしたい階層を表示する**

● 別の階層にコピーするには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

4 **「編集」メニューから「貼り付け」をタップする**

現在表示中の階層にコピーされます。

● ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ

● 「コピー」元と同じ階層に「貼り付け」をすると、ファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されて、同じ階層にコピーされます。

ファイルやフォルダを移動する

1 **移動したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「切り取り」をタップする**

3 **移動先にしたい階層を表示する**

4 **「編集」メニューから「貼り付け」をタップする**

現在表示中の階層に移動されます。

● ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ

● フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて移動されます。

●「切り取り」したファイルやフォルダを貼り付けず、他のファイルやフォルダを「切り取り」すると、前の「切り取り」は、解除されます。

ファイルやフォルダを削除する

1 「削除」したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「削除」をタップする

削除を確認する画面が表示されます。

3 「はい」をタップする

お願い

- フォルダを削除すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて削除されます。
- ファイルやフォルダの削除を実行すると、削除の取り消しはできませんので、ご注意ください。

ファイル名やフォルダ名を変更する

1 名前を変更したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする

名前の入力状態になります。

3 新しい名前を入力して↵をタップする

ファイルを電子メールで送信する

1 電子メールで送信したいファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「電子メールで送信」をタップする

受信トレイが起動し､選んだファイルが添付された送信メッセージの新規作成画面が表示されます。

- 受信トレイを使って送信するには、第 3 章の「メールを送受信する」（参照 139 ページ）をご覧ください。

お知らせ

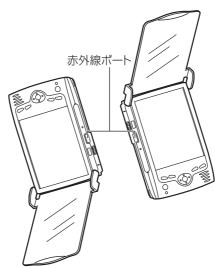
- 電子メールを利用するときは、あらかじめメールの設定が必要です。詳しくは（参照 127 ページ）をご覧ください。

ファイルをビームする

本体と赤外線ポートを備えたPocket PCとの間で､赤外線通信によるデータ転送が行えます。

データを送受信する

1 本体と他の Pocket PC の赤外線ポートの位置を合わせる

- ポート間に障害物がないように､また2つのポートが十分近くなるようにします。

2 **送信側の本体のファイルエクスプローラで、送信したいファイルまたは項目をタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

3 **ポップアップメニューから「ファイルをビームする」をタップする**

受信側の Pocket PC に、「データを受信中」が表示されます。

4 **受信側の Pocket PC で、「はい」をタップする**

データの送信 / 受信が行われます。

「いいえ」をタップするとデータの受信を中止します。

● 上記画面が表示されないときは、以下の操作を行ってください。
受信側の Pocket PC で、「スタート」の「プログラム」から「赤外線受信」をタップします。

お知らせ

● ファイルエクスプローラからだけでなく、各プログラムの一覧画面で、ポップアップメニューから「ファイルをビームする」の操作は行えます。

5. 使用環境設定

設定項目について

「スタート」から「設定」をタップし、「個人用」、「システム」または「接続」タブをタップすると次の項目が設定できます。

タブ	項目	説明	参照ページ
個人用	Today	「Today」画面に表示したい情報を設定します。	64
	入力	手書き入力または録音時のオプション設定をします。	—
	音と通知	音量、音を鳴らす場面、アラームなどを設定します。	—
	オーナー情報	自分の連絡先個人情報を入力します。	65
	パスワード	電源をONにしたときにパスワードを入力しないと本体のデータにアクセスできないように設定します。	66
	ボタン	プログラムボタンを押したとき、何のプログラムが起動するか設定します。	67
	メニュー	「スタート」メニューに表示するプログラム、および「Today」画面上の「新規」メニューを設定します。	68
システム	地域	数値、通貨、時刻および日付の表示方法を設定します。	—
	時計	時刻を変更またはアラームを設定します。訪問先を指定すると訪問先の時刻も表示できます。	69
	画面	画面のタップ表示位置と実際のタップ位置がずれているときに画面を調整します。	—
	システムプロパティ	リモートスイッチ、カーソルボタンの設定をします。	70、71
	バージョン情報	システムのバージョン情報などを表示します。また、デバイスIDを設定できます。	—
	パワーマネージメント	充電残量を表示します。 電源OFFまでの時間、サスペンド時にカードに電源を供給するかしないか、パソコンからUSB経由で充電を行うか、などの設定をします。	72、73
	フロントライト	画面の明るさ、およびフロントライトを消灯するまでの時間を設定します。	74
	プログラムの削除	追加したプログラムを削除します。	34
	プロセッサ設定	プロセッサの設定速度を変更します。	75

タブ	項目	説明	参照ページ
システム	メモリ	データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの割り当てを変更できます。また、メモリカードの使用状況も確認できます。	76、77、78
	GENIOオーディオ	音声の音質とマイクゲインを設定します。	79
接続	接続	インターネットの接続を設定します。	110
	ネットワークアダプタ	ネットワークアダプタを使ったネットワーク接続の設定をします。	—
	ビーム	ビームの設定をします。	—

お知らせ

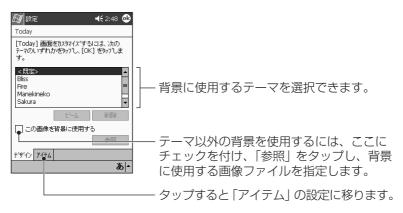
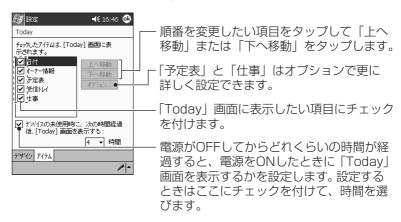
- 参照ページがない項目の設定方法については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプの使い方は、（参照 37ページ）をご覧ください。
- 「設定」はパソコンの「コントロールパネル」に相当します。

「Today」画面を設定する

「Today」画面の背景や「Today」画面に表示される項目を設定や変更できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「Today」をタップする

「Today」の設定画面が表示されます。

2 「Today」を設定する

「アイテム」タブでは、「Today」画面に表示される項目を設定できます。

3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

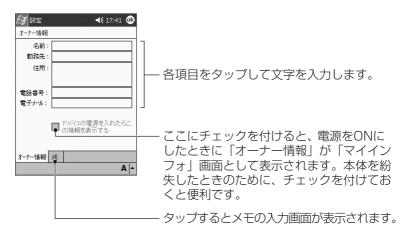
- 「日付」は移動できません。
- 「Today」画面の説明は（参照 30ページ）をご覧ください。

「オーナー情報」を設定する

住所、名前、電話番号、電子メールアドレスなど、持ち主の情報を設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「オーナー情報」をタップする

「オーナー情報」の設定画面が表示されます。

2 「オーナー情報」を入力する

3 設定を終えたらokをタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

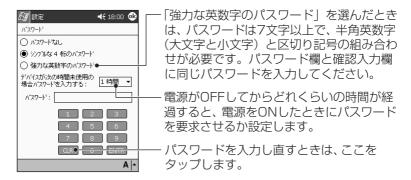
「パスワード」を設定する

電源をONにしたときにパスワードを要求して、第三者からデータや設定を守ることができます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「パスワード」をタップする

「パスワード」の設定画面が表示されます。

2 「シンプルな４桁のパスワード」または「強力な英数字のパスワード」をタップして「パスワード」を設定する

下の画面は「シンプルな４桁のパスワード」を選択しています。

3 設定を終えたらokまたは「ENTR」をタップする

「変更を保存しますか？」が表示されます。

4 「はい」をタップする

パスワードが保存され、「個人用」タブの画面に戻ります。

お願い

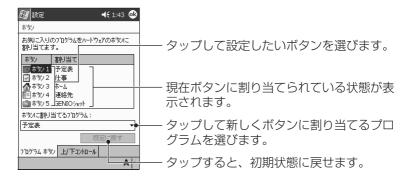
- パスワードを保存すると、「パスワード」設定画面を表示するのにもパスワードの入力が必要になります。
- パスワードは忘れないように控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、本体の初期化を行わなければなりません。初期化を実行すると、本体に保存していたデータや設定がすべて失われてしまいますのでご注意ください。初期化の方法は（参照 247ページ）をご覧ください。

「ボタン」を設定する

本体のプログラムボタン１、２、３、４、５によく使うプログラムをお好みで割り当てられます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「ボタン」をタップする

「ボタン」の設定画面が表示されます。

2 設定したいボタンを指定してプログラムを選択する

（プログラムボタンの初期設定）

3 設定を終えたらⓞⓚをタップする

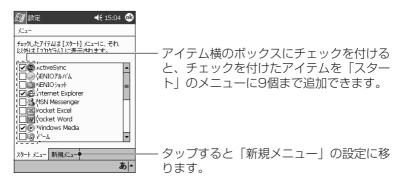
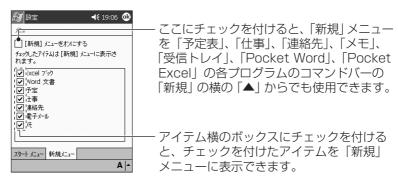
「個人用」タブの画面に戻ります。

「メニュー」を設定する

「スタート」メニューと「新規」メニューを設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「メニュー」をタップする

「メニュー」の設定画面が表示されます。

2 「メニュー」を設定する

「新規メニュー」では、「Today」画面左下の「新規」をタップしたときに表示される項目を設定できます。

3 設定を終えたらokをタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- チェックされたプログラム以外は、「スタート」の「プログラム」をタップすると表示されます。
- 「Today」、「プログラム」、「設定」、「検索」、「ヘルプ」は、「スタート」メニューから外せません。

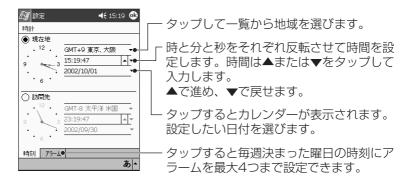
日付や場所を設定する

現在地や時刻の設定だけでなく、出かける先の場所と時刻も同時に表示できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「時計」をタップする

「時計」の設定画面が表示されます。

- 「Today」画面で時計アイコンをタップしても「時計」の設定画面が表示されます。

2 「時計」を設定する

3 設定を終えたらokをタップする

「時刻」タブの設定を変更した場合、「設定は変更されています。更新しますか？」という画面が表示されます。「はい」をタップしてください。「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 時刻設定は、時計の針をドラッグすることでも設定できます。
- パソコンと同期させたとき、時刻をパソコン側と同じに設定することができます。（参照 54ページ）

第2章

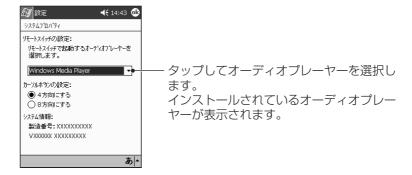
5・使用環境設定

「リモートスイッチの設定」をする

リモコン付きイヤホンのボタンを押したときに起動するオーディオプレーヤーを選択できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「システムプロパティ」をタップする

「リモートスイッチの設定」の画面が表示されます。

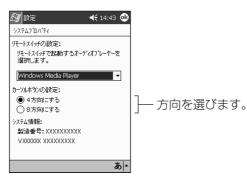
2 リモートスイッチで起動するオーディオプレーヤーを選択する

3 設定を終えたらokをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

「カーソルボタンの設定」をする

カーソルボタンの動作方向(4 方向または 8 方向)を変えることができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「システムプロパティ」をタップする

2 カーソルの方向を変更する

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

「パワーマネージメント」を設定する

内蔵電池（本体バッテリ）の充電残量が確認できます。また、本体の未使用時間に応じて電源をOFF（サスペンド）にする時間設定、サスペンド時にカードに電源供給するかしないかの設定などができます。

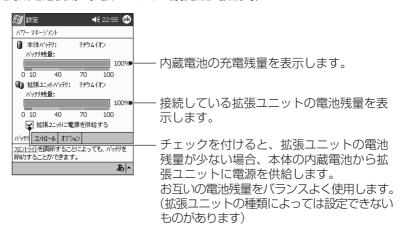
1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「パワーマネージメント」をタップする

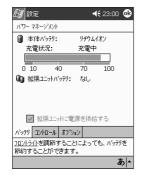
「パワーマネージメント」の設定画面が表示されます。

2 「パワーマネージメント」を設定する

- 設定項目は、バッテリ/コントロール/オプションのタブに分類されています。

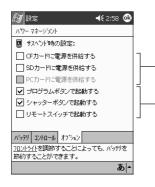
■バッテリタブ

（内蔵電池使用、拡張ユニット（別売品）接続時）

■バッテリタブ

（ACアダプタ使用時）

■コントロールタブ

チェックを付けると、本体電源がONのとき、パソコンからUSB経由で内蔵電池を充電します。

チェックを付けて、時間を設定すると、本体の未使用時間が設定値になれば、電源をOFF（サスペンド）します。
初期値　バッテリ電源使用時 ：3分
　　　　ACアダプタ使用時　：5分
ただし、パソコンとActiveSync接続しているときや、Windows Media Player、SD Audio Playerで再生しているときなどは、この機能は働きません。

■オプションタブ

チェックを付けると、サスペンド時にもカードに電源を供給します。

チェックが付いていると、本体の電源がOFFしていても、プログラムボタン/シャッターボタン/リモコン付きイヤホンのボタンを押せば電源がONし、割り当てられているプログラムが起動します。
チェックをはずせば、電源はONしません。

お知らせ

- 「XXカードに電源を供給する」にチェックが付いていると、内蔵電池の消耗が速くなります。電池の消耗を防ぐため、サスペンド時に電源の供給が必要なカードを接続したときのみ、チェックを付けるようにしてください。サスペンド時に電源の供給が必要なカードとは、サスペンド中に機能することができる通信カードなどで、対応するソフトウェアが本体にインストールされていることが必要です。
- PCカードは、PCカード拡張ユニット（別売品）を使って、本体に接続します。

3 設定を終えたら ok をタップする

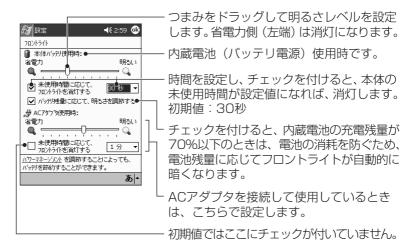
「システム」タブの画面に戻ります。

「フロントライト」を設定する

フロントライトの明るさのレベルは、「9段階+省電力(消灯)」の中から選べます。見やすい明るさに設定してください。また、本体の未使用時間に応じてフロントライトを消灯する、時間設定ができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「フロントライト」をタップする

「フロントライト」の設定画面が表示されます。

2 「フロントライト」を設定する

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 内蔵電池の充電残量が5%になると、電池の消耗を防ぐため、フロントライトが自動的に消灯します。

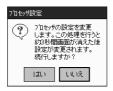
「プロセッサ設定」をする

プロセッサの動作速度を選べます。本体の動作状況に応じて設定してください。
プロセッサの動作速度を速くすれば、内蔵電池の消耗は速くなります。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「プロセッサ設定」をタップする

「プロセッサ設定」の画面が表示されます。

2 プロセッサの動作速度を選択し、「変更」をタップする

3 動作速度変更の確認画面で、「はい」をタップする

● 約３秒間画面が消えます。

4 ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

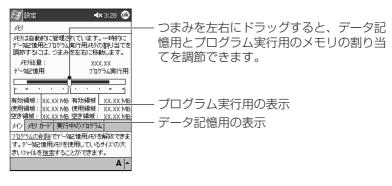
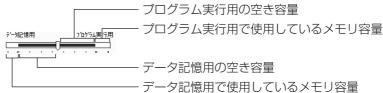
「メモリ」を設定する

データ記憶用メモリとプログラム実行用のメモリを調節したり、メモリカード等の空き容量を確認できます。また、実行中のプログラムを終了できます。

メモリの割り当てを変更する

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップする

「メモリ」の設定画面が表示されます。

2 メモリの割り当てを変更する

3 設定を終えたら ok をタップする

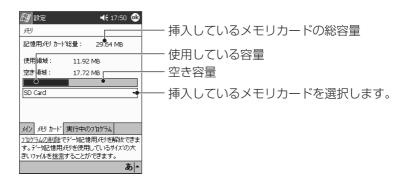
「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- メモリは自動的に管理されていますので、データ記憶用とプログラム実行用の割り当ては、自動的に調節されることがあります。

メモリカードの使用状況を確認する

1 「メモリ」の設定画面で「メモリカード」タブをタップする

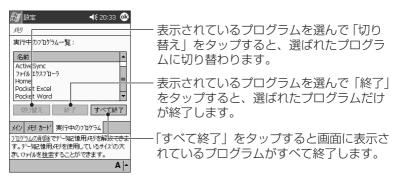
「メモリ」設定の「メモリカード」タブ画面が表示されます。

2 確認を終えたらⓞⓚをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

実行中のプログラムを終了する

1 「メモリ」の設定画面で「実行中のプログラム」タブをタップする

「メモリ」設定の「実行中のプログラム」タブ画面が表示されます。

2 実行中のプログラムを終了する

3 ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 「終了」を実行したときに、プログラムが入力待ち状態などの場合には、プログラムから応答がないことを知らせるメッセージが表示されることがあります。画面に従って操作してください。

メモリを解放する

メモリが不足してエラーメッセージが表示された場合や、メモリの空き容量を増やしたい場合は、メモリの解放を行ってください。メモリを解放する方法として、以下の方法があげられます。

- メモリカード等にデータを移して、本体からデータを削除する。
- 不要なファイルを削除する。
- 実行中のプログラムを終了する。
- 使用しないプログラムを削除する。
- 本体をリセットする。リセットの方法は、（参照 246ページ）をご覧ください。

お知らせ

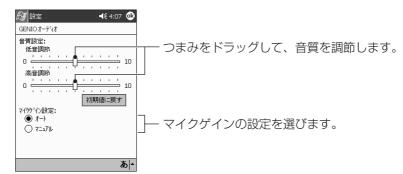
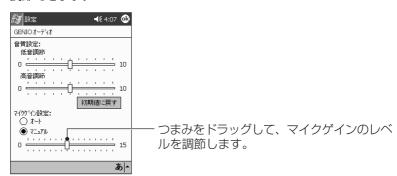
- メモリを解放する方法は、「メモリ」のオンラインヘルプもご覧ください。

「GENIO オーディオ」を設定する

本体から出力される音質を設定できます。また、本体で音声を録音するときのマイクゲインを設定できます。

1　「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「GENIO オーディオ」をタップする

「GENIO オーディオ」の設定画面が表示されます。

2　「GENIO オーディオ」を設定する

「マイクゲイン設定」で「マニュアル」を選ぶと、マイクゲインのレベルを調節できます。

3　設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

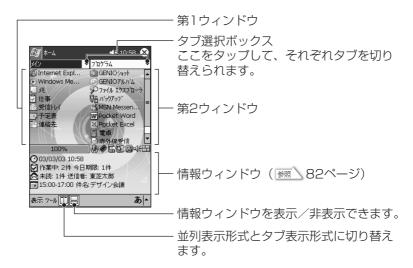
6. ホームを使う

「ホーム」を使うと、「ホーム」画面に配置されたアイコンをタップして、内蔵またはインストールされているアプリケーション（プログラム）を簡単に起動できます。また、実行中のプログラムを一覧表示し、そのプログラムへの切り替えと終了を簡単に行えます。「ホーム」画面には、電池残量、Today情報、よく使う設定アイコンも表示されます。「ホーム」画面は、アイコンやタブの追加、背景の変更など、いろいろアレンジできます。

「ホーム」画面からアプリケーションを起動する

1 「スタート」の「プログラム」から「ホーム」をタップする

「ホーム」画面が表示されます。

- 本体のホームボタンを押しても起動します。
- 初期状態は、並列表示形式で情報ウィンドウ表示ありの画面です。

2 **タブを切り替えて、起動したいアプリケーションのアイコンをタップする**

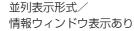
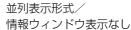
タップしたアプリケーションが起動します。

…お知らせ

● アプリケーションは、カーソルボタンで選んでカーソルボタンの中央を押しても起動します。（参照 84ページ）

「ホーム」画面の表示形式の切り替え

並列表示形式／
情報ウィンドウ表示あり

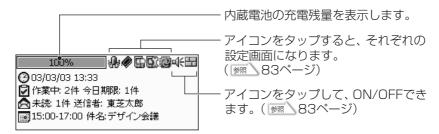
並列表示形式／
情報ウィンドウ表示なし

をタップ

をタップ

タブ表示形式／
情報ウィンドウ表示あり

タブ表示形式／
情報ウィンドウ表示なし

「ホーム」画面の情報ウィンドウについて

情報ウィンドウは、今日の仕事や今日の予定などの Today 情報、電池残量やハードウェアなどの情報を表示します。

：日付と時刻を表示します。アイコンをタップすると、「時計」の設定画面になります。

：今日の時点で作業中の仕事の件数と、今日の時点で期限切れになる、またはすでに期限切れになっている仕事の件数を表示します。アイコンをタップすると、仕事が起動します。

：未読メールの件数と最新未読メールの送信者を表示します。アイコンをタップすると、受信トレイが起動します。

：今日の予定が表示されます。アイコンをタップすると、予定表が起動します。

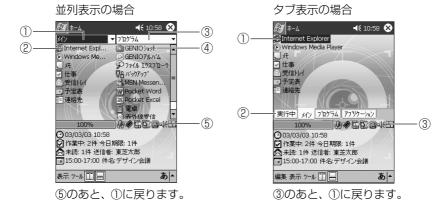
お知らせ

● GENIO-SPEECH が ON のとき、、、のアイコンをタップすると、それぞれ仕事、未読メール、予定が読み上げられます。

表示項目	項目名	説　明
	パワーマネージメント	アイコンをタップすると、「パワーマネージメント」の設定画面になります。
	メモリ設定	アイコンをタップすると、「メモリ」の設定画面になります。
	フロントライト設定	アイコンをタップすると、「フロントライト」の設定画面になります。
	システムプロパティ	アイコンをタップすると、「システムプロパティ」の画面になります。
	Bluetooth設定	別売のBluetooth SDカードVer.2.0以降を使用時、表示されます。アイコンをタップするとBluetooth設定の画面が表示されます。
	CPUクロック情報	CPUクロックの設定状態です。 アイコンをタップすると、「プロセッサ設定」の設定画面になります。
ON　OFF	スピーカ出力ON/OFF	アイコンをタップすると、スピーカ出力のON/OFFが切り替わります。 ナビゲーションバーのアイコンを使って切り替えたものと連動しています。ただし当ボタンでON→OFFに切り替えても、ナビゲーションバーの表示は変更されません。
ON　OFF	キーON/OFF	アイコンをタップすると、キーのON/OFFが切り替わります。 キーOFFにすると、電源OFF時にプログラムボタンを押しても電源がONにならないようになります。 「パワーマネージメント」での設定と連動しています。
ON　OFF	GENIO-SPEECH ON/OFF	付属のGENIO-SPEECHがインストールされている時だけ表示されます。アイコンをタップすると、GENIO-SPEECHのON/OFFが切り替わります。 アイコンをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、GENIO-SPEECHの設定の画面が表示されます。

ホームボタンを使って選択先(カーソル)を切り替える

ホームボタンを押すたびに、①、②、. . . のように選択先(カーソル)が移動します。

⑤のあと、①に戻ります。　③のあと、①に戻ります。

カーソルボタンを使って選択する

カーソルボタンで下記の操作ができます。

■タブ選択ボックスにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、１つ後ろのタブに切り替わります。
- 最終のタブを表示していた場合は、切り替わりません。

カーソルボタンを上または左に押すと、１つ前のタブに切り替わります。
- 先頭のタブを表示していた場合は、切り替わりません。

■第1/第２ウィンドウのアイコンにカーソルがあるとき

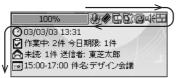
カーソルボタンを下または右に押すと、カーソルが１つ下に移動します。
- カーソルが最終のアイコンにあった場合は、先頭のアイコンに移動します。

カーソルボタンを上または左に押すと、カーソルが１つ上に移動します。
- カーソルが先頭のアイコンにあった場合は、最終のアイコンに移動します。

お知らせ
- 大きいアイコン表示の場合、カーソルボタンを左に押すとカーソルが左に移動し、右に押すと右に移動します。

■情報ウィンドウにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、カーソルが１つ後ろに移動します。
- カーソルが最終のアイコンにあった場合は、先頭のアイコンに移動します。

カーソルボタンを上または左に押すと、カーソルが１つ前に移動します。
- カーソルが先頭のアイコンにあった場合は、最終のアイコンに移動します。

アイコンの順番は、図のようになります。

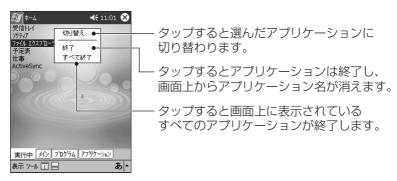
「実行中」タブについて

「実行中」タブには、現在実行しているアプリケーション名が表示されます。アイコンは表示されません。下記画面は、タブ表示形式の場合の画面ですが、並列表示形式の場合でも、内容は同じです。

表示メニューからは「文字色」と「背景色」が、ツールメニューからは「タブの設定」と「バージョン情報」がそれぞれ選べます。文字色と背景色の設定については（参照 96ページ）をご覧ください。タブの設定については（参照 93ページ）をご覧ください。

アプリケーションの切り替え／終了

切り替えたいアプリケーション名をタップします。

- 切り替えたいアプリケーション名をタップアンドホールドして、表示されたポップアップメニューからも切り替えられます。

お知らせ

- 「実行中」タブ内のアプリケーション名以外のところをタップアンドホールドしてもポップアップメニューが表示されます。このときは「すべて終了」だけが選べます。

第2章 6・ホームを使う

「アプリケーション」タブについて

初期状態では、「アプリケーション」タブには、付属のアプリケーションCDに入っているアプリケーションの紹介アイコンが入っています。
紹介アイコンをタップすると、Pocket Internet Explorerが起動し、アプリケーションの概要とインストール方法が表示されます。アプリケーションCDからアプリケーションをインストールした場合、紹介アイコンがアプリケーションの実行アイコンに替わります。ただし、Flash™ Playerと東芝オリジナル壁紙は、紹介アイコンのままです。

アイコンの移動

タブ内やタブ間でアイコンを移動できます。新しいタブを作成するには、（参照 93ページ）をご覧ください。

タブ内のアイコンを移動する

タブ内のアイコンの順番を変更できます。

1 移動したいアイコンをタップしたまま移動したい位置までドラッグし、ドロップする

並列表示形式の場合

移動していくと、タップ先付近にあるアイコンが強調表示されます。ドロップすると、強調表示されたアイコンの位置にアイコンが移動します。

- ドロップするとき、どのアイコンも強調表示されていなかった場合、アイコンは最後尾に移動します。

お知らせ

- 「タブの設定」の画面で、「起動された順にアイコンをソートする」にチェックを付けると、タブ内のアイコンを最近起動した順にソートできます。（参照 93ページ）この設定の場合は、タブ内のアイコンの移動はできません。

ポップアップメニューを使って他のタブへ移動する

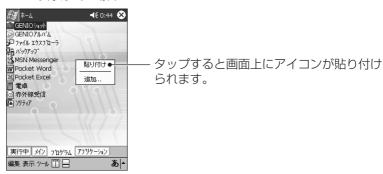
1 **移動したいアイコンをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「切り取り」をタップする**

タブ表示形式の場合

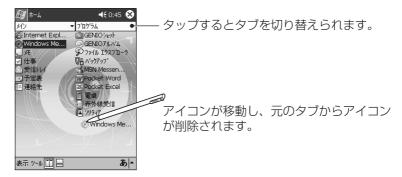
3 **移動先にしたいタブに切り替え、タップアンドホールドし、「貼り付け」をタップする**

タブ表示形式の場合

お知らせ

- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。「タブの設定」の画面で「起動された順にアイコンをソートする」にチェックが付いている場合は、起動された順に並べ替えられます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

ドラッグアンドドロップを使って他のタブへ移動する

1 **移動したいアイコンをタップしたまま、移動したいタブまでドラッグし、アイコンをドロップする**

並列表示形式の場合

タブ表示形式の場合

移動先のタブ名が強調表示され、アイコンが移動し、元のタブからアイコンが削除されます。

お知らせ

- 移動可能なアイコンは、タップしたときに反転します。
- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。「タブの設定」の画面で「起動された順にアイコンをソートする」にチェックが付いている場合は、起動された順に並べ替えられます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

アイコンの削除

アイコンを削除できます。アイコンを削除しても、アプリケーションそのものが本体から削除されるわけではありません。

1 削除したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「削除」をタップする

アイコンが削除され、削除されたアイコンより後のものが一つずつ前に移動します。

タブ表示形式の場合

タップするとアイコンが削除されます。

アイコンの追加

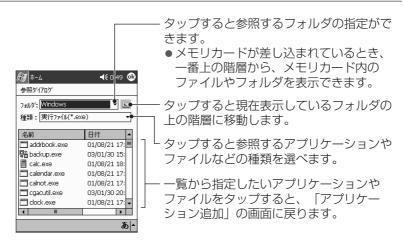
新しくインストールしたアプリケーションのアイコンを追加できます。
ホームのアイコンには、アプリケーションの他に、作成したファイルなども指定できます。

1 追加したいタブの画面上をタップアンドホールドし、ポップアップメニューから、「追加」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が表示されます。
● タブ表示形式の場合は、「編集」メニューからも「追加」を選べます。

2 アプリケーションを指定する

「アプリケーション」の▼をタップすると、アプリケーションの一覧が表示されます。一覧にない場合は、「参照」で探してください。アプリケーションを選ぶと、アプリケーション名に選んだ名前が表示されます。

参照画面について

3 アイコン名を入力する

「ホーム」画面に表示するアイコン名を「アプリケーション名」に入力します。

4 「OK」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が閉じ、アイコンが追加されます。

お知らせ

- 「アプリケーション」を指定していないとアイコンを追加できません。また、アプリケーション名を入力していないときも、アイコンを追加できません。
- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

アイコン名の変更

アイコン名（アプリケーション名）を変更できます。

1 名前を変更したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする

アイコン名が変更できる状態になります。

3 入力パネルを使って名前を変更し、↵ をタップする

変更した名前が確定します。

- ナビゲーションバー、コマンドバー以外の画面をタップしても名前が確定します。
- 上記以外でも、画面の内容が変わったときなどの場合には、名前が確定します。
- 名前が確定する前に Esc をタップすると名前の変更が取り消されます。

アイコンの表示切り替え

タブ表示形式の場合アイコンの表示は、「表示」メニューから切り替えられます。
「大きいアイコン」と「小さいアイコン」を、お好みに合わせて選べます。

（例）小さいアイコン

（例）大きいアイコン

タブの設定

タブの設定では、タブの追加、削除、タブ名の変更などが設定できます。また、タブの背景にお好みのビットマップ画像や背景色を設定したり、アイコン名の文字色を設定することもできます。

タブの切り替え

タブを切り替えるには、並列表示形式では、タブ選択ボックスをタップし、表示された一覧からタブ名をタップします。タブ表示形式では、タブをタップします。初期状態では、「実行中」を含む、「メイン」、「プログラム」、「アプリケーション」の４つのタブが登録されています。

タブの追加

タブを追加することにより、お好みに合わせてアイコンを分類できます。同じアイコンもタブが違えば両方に追加できます。

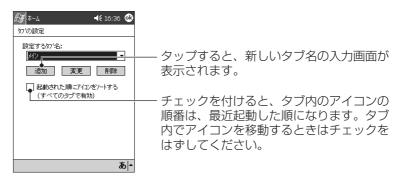
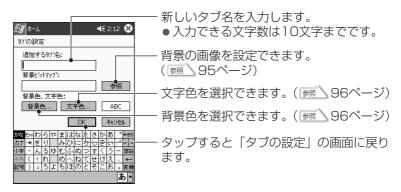
1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

タップすると「タブの設定」の画面が表示されます。

タップすると「ホーム」のバージョン情報が表示されます。

2 「タブの設定」の画面から「追加」をタップする

タップすると、新しいタブ名の入力画面が表示されます。

チェックを付けると、タブ内のアイコンの順番は、最近起動した順になります。タブ内でアイコンを移動するときはチェックをはずしてください。

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする

4 「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

● 新しいタブは、既存のタブの右側に追加されます。

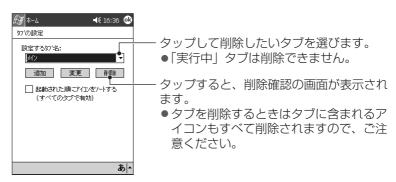
お知らせ

● タブは最大 10 個まで増やすことができます。

● タブの並び順は、変更できません。

タブの削除

1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

2 「タブの設定」の画面からタブ名を選び、「削除」をタップする

3 削除確認のダイアログから「はい」をタップする

タブが削除され、「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

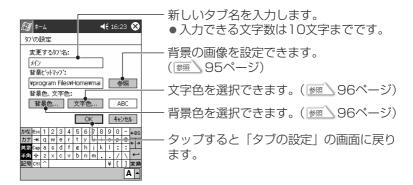
タブ名の変更

1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 変更したいタブ名を選び、「変更」をタップする

●「実行中」タブのタブ名は変更できません。

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする

4 「タブの設定」画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

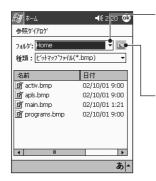
背景の画像の設定

タブごとに背景の画像を設定できます。付属のアプリケーションCDに収められている東芝オリジナル壁紙を背景に使用できます。アプリケーションCDからそのファイルを本体にコピーして、背景に選んでください。

1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

「タブ設定」の画面が表示されます。

2 設定したいタブ名を選び、「変更」をタップする

3　「参照」をタップする

参照画面が表示されます。

4　一覧から背景にしたいビットマップファイルをタップする

元の画面に戻ります。

5　「OK」をタップする

「タブの設定」の画面に戻ります。

6　「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

- 背景に設定できるのは、ビットマップファイルのみです。
- 背景に設定したビットマップ画像が、「ホーム」画面上に表示される範囲は、横 240 ×縦 268 ドットです。

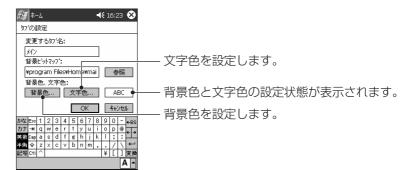
背景色、文字色の設定

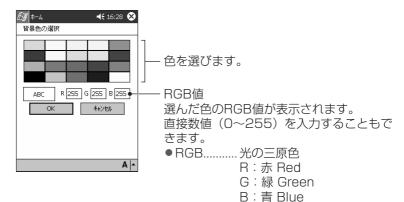
タブごとに背景色やアプリケーション名の文字色を設定できます。

1　「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

「タブ設定」の画面が表示されます。

2　設定したいタブ名を選び、「変更」をタップする

3 「背景色」または「文字色」をタップする

4 色を選択し、「OK」をタップする

元の画面に戻ります。

5 「OK」をタップする

「タブの設定」の画面に戻ります。

6 「タブの設定」の画面で ok をタップする

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

- 「表示」メニューからも、背景色、文字色の設定ができます。
- すでに背景の画像を設定している場合は、背景色を設定しても背景は画像のままで、変わりません。ただし背景の画像が小さい場合は、余白が背景色になります。設定した背景色で表示するには、操作3の「タブの設定」画面で、背景ビットマップ欄のビットマップファイルを削除してください。

7. データのバックアップ

メモリカードやMicrodrive™などに、本体のデータをバックアップできます。バックアップしたデータは本体にリストア（復元）できます。また、メモリカードからバックアップしたデータを削除することもできます。
重要なデータは、定期的にバックアップしておいてください。
バックアップするデータはファイル、レジストリ、データベースを一括バックアップする「全体」と、Pocket Outlookの中の連絡先、予定表、仕事のPIMデータをバックアップする「PIMデータ」があります。

「全体」では以下の３種類を一括バックアップします。

- ファイル
  Pocket Word、Pocket Excel、メモなどで作成したファイルや追加インストールしたプログラムなど
- レジストリ
  OS (Windows CE)や内蔵プログラムの設定情報
- データベース
  Microsoft Pocket Outlookのデータベース情報

「PIMデータ」では、「連絡先」、「予定表」、「仕事」のデータをバックアップします。

お願い

- 「全体」も「PIMデータ」も同じファイル名で上書き保存されますので、同じメモリカードには保存しないでください。
- 「設定」のパスワードなど、復元されないデータがあります。
- バックアップやリストアをするときは、他のアプリケーションを終了させ、本体にACアダプタを接続してから行ってください。
- バックアップ中、またはリストアやバックアップファイルを削除しているときに絶対に本体の電源を切らないでください。データやメモリカード、本体が破損する場合があります。
- システムを更新（ROMのアップデート）した場合は、更新する前にバックアップしたデータを正常にリストアできない可能性があります。

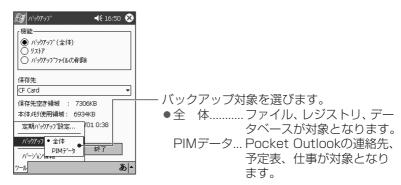
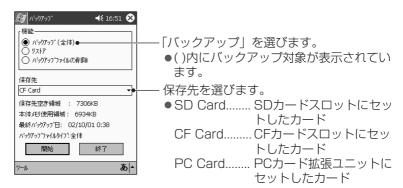
バックアップをとる

1 メモリカードを入れる

（参照 16、19ページ）

2 「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする

「バックアップ」の画面が表示されます。

3 「ツール」メニューから「バックアップ対象」をタップし、「全体」か「PIM データ」を選択する

4 「機能」の「バックアップ」をタップし、保存先を選ぶ

5 「開始」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

6 「OK」をタップする

「バックアップ」のパスワード入力画面が表示されます。

7 パスワードを入力する

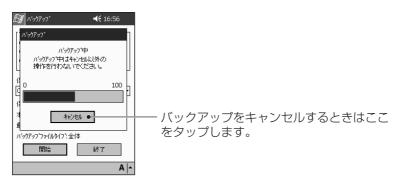
パスワードを入力します。

- パスワードは半角英数字、最大16文字で入力します。
- 半角英数字以外で入力すると、エラーメッセージが表示されます。正しく入力し直してください。
- パスワードを入力しなくてもバックアップできます。この場合、リストアのときにパスワードの入力が不要になります。

お願い

- **パスワードを忘れると、リストアできなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**

8 「OK」をタップする

バックアップ中のメッセージが表示され、バックアップを開始します。

- バックアップが終了すると、バックアップ終了のメッセージが表示されます。
- 画面に表示されるバックアップ時刻は、バックアップを開始した時刻です。

9 ⓞⓚをタップする

元の画面に戻ります。

10 「終了」をタップする

「バックアップ」の画面が閉じます。

お知らせ

- バックアップ中にメモリカードの空き容量が足りなくなると、途中でバックアップが終了します。メモリカードの空き容量を確認してからバックアップをしてください。（参照 77 ページ）
- 指定されたメモリカードが書き込み禁止になっていると、バックアップができません。書き込み禁止を解除してください。
- 定期的にバックアップをとることもできます。（参照 104 ページ）
- バックアップファイルは、常に上書きされます。

リストアをする

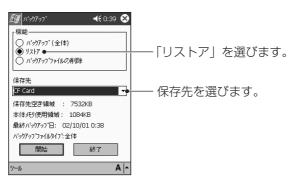
リストアをすると、メモリカードにバックアップしたデータを、本体メモリに復元（上書きコピー）します。

- 本体メモリに同じファイル名がある場合、バックアップファイルのデータに上書きされます。
- 本体メモリにあるファイルで、バックアップファイルにないものは、そのまま残ります。

1 バックアップしたメモリカードを本体に入れる

2 「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする

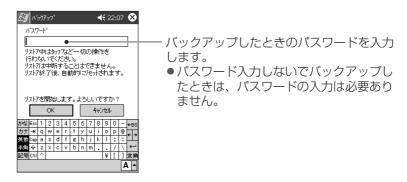
「バックアップ」の画面が表示されます。

3 「機能」の「リストア」をタップし、保存先を選ぶ

4 「開始」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

5 「OK」をタップする

「リストア」のパスワード入力画面が表示されます。

6 バックアップしたときのパスワードを入力する

7 「OK」をタップする

リストア中のメッセージが表示され、リストアが開始されます。
「受信トレイ」の復元には、1件あたり約0.5秒かかります。件数が多いと、終了のメッセージが表示されるまでに時間がかかる場合があります。終了のメッセージが表示されるまで、操作せずにお待ちください。

- リストアが終了すると、リストア終了のメッセージが表示されます。

8 ok をタップする

自動的に本体がリセットされ、再起動します。

お知らせ

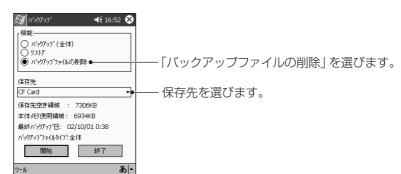
- 従来機種のGENIO eや他社のPocket PC（以下、他のPocket PCと呼びます）でバックアップしたデータは、この本体にリストアできません。他のPocket PCのデータをこの本体に取り込みたい場合は、ActiveSyncを使って他のPocket PCとパソコンの同期をとってください。次にこの本体とパソコンで同期をとり、データをこの本体に取り込んでください。

バックアップファイルを削除する

1 **バックアップファイルを削除したいメモリカードを入れる**

2 **「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする**

「バックアップ」の画面が表示されます。

3 **「機能」の「バックアップファイルの削除」をタップし、保存先を選ぶ**

4 **「開始」をタップする**

バックアップファイルの削除確認画面が表示されます。

5 **「OK」をタップする**

バックアップファイルが削除されます。

6 **「終了」をタップする**

「バックアップ」の画面が閉じます。

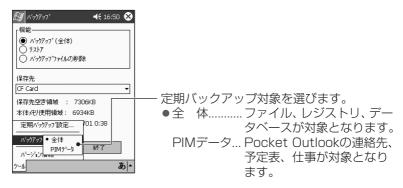
定期的にバックアップをとる

定期バックアップを設定すると、指定した曜日や時間ごとに自動的にデータをバックアップします。電源が OFF になっていても、定期バックアップは行われます。

1 **メモリカードを本体に入れる**

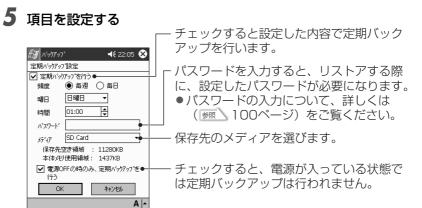
2 **「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする**

「バックアップ」の画面が表示されます。

3 **「ツール」メニューから「バックアップ対象」をタップし、「全体」か「PIMデータ」を選択する**

● 定期バックアップは、定期バックアップの開始時刻のとき選択されている「バックアップ対象」がバックアップされます。定期バックアップ設定後に、通常のバックアップ操作で「バックアップ対象」を変更すると、定期バックアップも変更後の「バックアップ対象」で行われます。

4 **「ツール」メニューから「定期バックアップ設定」をタップする**

「定期バックアップ設定」の画面が表示されます。

5 **項目を設定する**

6 「OK」をタップする

内容が保存され、設定した時刻に定期バックアップが行われます。

7 「終了」をタップする

「バックアップ」の画面が閉じます。

お知らせ

- 「電源 OFF の時のみ、定期バックアップを行う」にチェックを付けていない場合、定期バックアップの時刻に電源が ON になっていると、定期バックアップの確認画面が表示されます。「OK」をタップする、または確認画面が表示されてから約 30 秒以上経過すると、自動的にバックアップが開始します。「キャンセル」をタップするとバックアップを中止します。
- 「電源 OFF の時のみ、定期バックアップを行う」にチェックが付いている場合、定期バックアップの時刻に電源がOFFになっていると、メッセージ画面が表示され、約 10 秒後にバックアップが開始します。
- AC アダプタが接続されてなく、内蔵電池の充電残量が 50%未満の場合は、定期バックアップが行われません。
- 定期バックアップの時刻に、設定したメモリカードが挿入されていない場合は、定期バックアップは行われません。
- 定期バックアップが行われたかどうかは、バックアップの最終バックアップ日で、確認してください。

お願い

- 定期バックアップ中に電源を OFF にしないでください。データやメモリカード、本体が破損する場合があります。
- 定期バックアップ中にメモリカードの空き容量がなくなると、バックアップが途中で終了します。事前にメモリカードの空き容量をご確認ください。

第3章
インターネットの利用

携帯電話などを接続して、移動先からでもホームページの閲覧、電子メールの送受信が可能になります。

第3章

1. インターネットの接続設定

インターネットやメールを始めるには、ご加入のプロバイダの情報を本体に設定する必要があります。
インターネットの接続設定と電子メールの接続設定（受信トレイの設定）を、それぞれ行います。

インターネットの接続設定

プロバイダにダイヤルアップして、インターネットに接続する設定をします。
PHS カードをご利用になる場合は、設定の前にカードを本体に取り付けてください。（参照 16、19 ページ）

1 **「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする**

「接続」の画面が表示されます。

「変更」をタップして「インターネット設定」の画面を表示させます。

2 「インターネット設定」画面の、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。

この接続設定に内容がわかるような名前をつけます。（例：infoPepper）

使用するPHSカード、携帯電話に合わせて設定します。

使用する通信機器	「モデムの選択」	「通信速度」
携帯電話（cdmaOne）	COM5 上の cdmaOne 接続：	115200
携帯電話（PDC）	COM6 上の PDC 接続：	19200
携帯電話（FOMA）	COM7 上の FOMA モデム：	115200
PHS カード	使用する PHS カード	115200

3 「詳細設定」をタップする

「ポートの設定」では、通常変更の必要はありません。

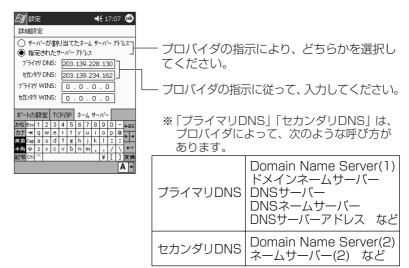
「TCP/IP」も、通常変更の必要はありません。

4 「ネームサーバー」タブをタップし、どちらかを選択する

プロバイダの指示により、どちらかを選択してください。

プロバイダの指示に従って、入力してください。

※「プライマリDNS」「セカンダリDNS」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

プライマリDNS	Domain Name Server(1) ドメインネームサーバー DNSサーバー DNSネームサーバー DNSサーバーアドレス　など
セカンダリDNS	Domain Name Server(2) ネームサーバー(2)　など

5 ok をタップする

「新しい接続」画面に戻ります。
画面は表示例です。

6 「新しい接続」の画面の「次へ」をタップし、接続先の電話番号を入力する

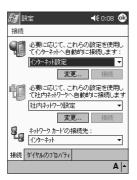
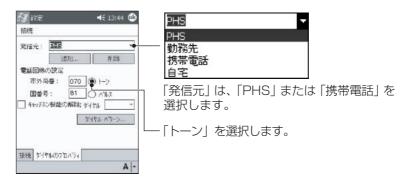
7 「次へ」をタップする

通常は変更の必要はありません。

8 「完了」をタップする

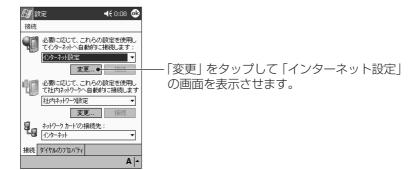
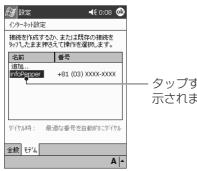
「インターネット設定」の画面に戻ります。

9 ⓞⓚをタップする

「接続」の画面に戻ります。

10 「ダイヤルのプロパティ」タブをタップし、電話回線の設定をする

11 ⓞⓚをタップする

「接続」の画面が閉じます。

作成した接続設定を変更する

1 「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

タップすると設定した接続内容の画面が表示されます。

2 **作成した接続名をタップし、設定内容を変更する**

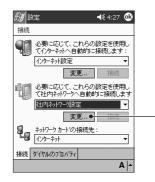
作成したときと同様に設定します。

お知らせ

- 作成した設定内容を削除する場合は、接続名をタップアンドホールドして、ポップアップメニューの「削除」をタップします。

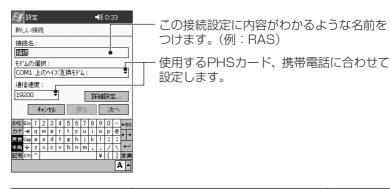
社内ネットワークへの接続設定

ダイヤルアップで社内ネットワークに接続する場合、設定します。ネットワーク管理者から、ダイヤルアップ接続用アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワード、および TCP/IP 設定に関する情報を入手してください。
VPN を利用するとインターネット経由で社内ネットワークに接続できます。VPN を利用するときは、（参照 120 ページ）をご覧ください。

1 **「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする**

「接続」の画面が表示されます。

「変更」をタップして「社内ネットワーク設定」の画面を表示させます。

2 「社内ネットワーク設定」画面の、「追加」をタップする

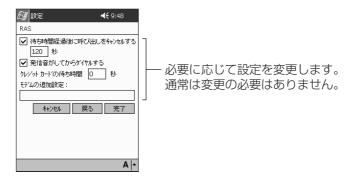
「新しい接続」の画面が表示されます。

使用する通信機器	「モデムの選択」	「通信速度」
携帯電話（cdmaOne）	COM5 上の cdmaOne 接続：	115200
携帯電話（PDC）	COM6 上の PDC 接続：	19200
携帯電話（FOMA）	COM7 上の FOMA モデム：	115200
PHS カード	使用する PHS カード	115200

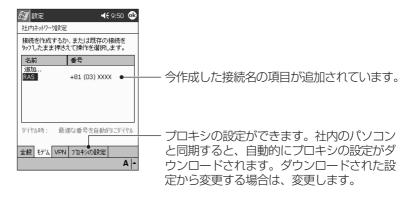
3 「詳細設定」をタップし、設定する

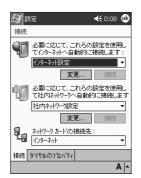
ネットワーク管理者から情報を入手し、設定します。

ok をタップすると「新しい接続」画面に戻ります。

4 「新しい接続」の画面の「次へ」をタップし、接続先の電話番号を入力する

5 「次へ」をタップする

6 「完了」をタップする

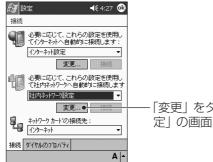
「社内ネットワーク設定」の画面に戻ります。

7 ⓞⓚをタップする

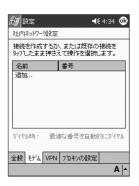
「接続」の画面に戻ります。

8 ⓞⓚをタップする

「接続」の画面が閉じます。

VPNを利用した社内ネットワークへの接続設定

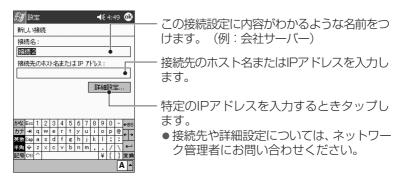
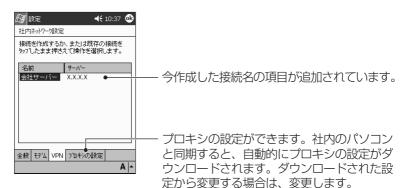
プロバイダのアクセスポイントへダイヤルアップし、VPNを利用して社内ネットワークに接続できます。

1 「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

「変更」をタップして「社内ネットワーク設定」の画面を表示させます。

2 「モデム」タブの、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。
「インターネットの接続設定」の操作２～８と同じ操作をして、プロバイダへの接続方法を設定します。

3 「VPN」タブをタップし、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。

4 設定を終えたら ok をタップする

5 ok をタップする

「接続」の画面に戻ります。

6 ok をタップする

「接続」の画面が閉じます。

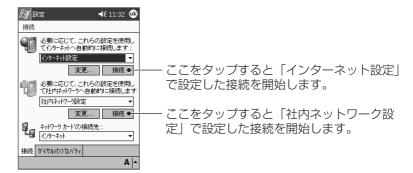
お知らせ

● 作成した設定内容を削除する場合は、接続名をタップアンドホールドして、ポップアップメニューの「削除」をタップします。

インターネットに接続する

1 **本体の電源を切り、PHS カードまたは携帯電話を接続する**

2 **「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする**

「接続」の画面が表示されます。

3 **「接続」をタップする**

初めて接続するときは「ネットワークへのログオン」の画面になります。

プロバイダによっては、@以降が不要の場合があります。プロバイダに接続するための「ユーザー名」を入力してください。

通常、入力の必要はありません。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	コネクションID ユーザーID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

4 ユーザー名、パスワードを入力し、「OK」をタップする

「接続中」のポップアップメニューが表示され、接続を開始します。接続できると「接続完了」に変わります。

● ポップアップメニューは、「非表示」をタップすると消えます。

■接続名を選んで接続するには

操作2の後で「変更」をタップし、表示された接続名の中から接続する接続名をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「接続」をタップします。

■接続を切るには

ここをタップし、表示されたポップアップメニューの「終了」をタップします。

VPN を利用して社内ネットワークに接続する

1 「インターネットに接続する」の操作１～４をする

2 「VPN を利用した社内ネットワークへの接続設定」をした接続名を選び、「接続」をタップする

LAN カードを使って接続する

本体に対応したLAN カードを使ってネットワークに接続できます。カードによっては、ドライバが必要です。
接続方法について詳しくは、LANカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 本体に LAN カードを挿入する

カードを初めて挿入すると、「ネットワークの設定」が自動的に表示され、LAN カードの設定を行うことができます。

- 設定のダイアログボックスが表示されない場合または後から設定を変更する場合は、「スタート」の「設定」から「接続」タブの「ネットワークアダプタ」をタップします。
- 特定のサーバー情報を入力するには、対応するアダプタを選択し、「プロパティ」をタップします。

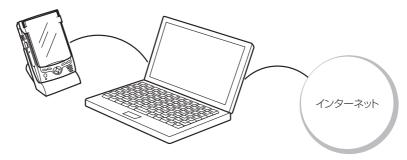
2 「スタート」の「設定」から「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

3 LAN カードの接続先を選択する

4 LANカードにネットワークケーブルを接続し、ネットワークに接続する

パススルーで接続する

パソコン側のインターネット接続を利用して、ホームページの閲覧、電子メールの送受信をすることができます。

パソコン側での操作は、次のとおりです。

1 パソコン側で ActiveSync を起動する

2 「ツール」の「オプション」から「規則」タブをクリックする

3 「パススルー」の「接続」で接続方法を選択する

- インターネット .... 自宅などからインターネットに接続するとき
- 社内ネットワーク .... 社内からインターネットに接続するとき

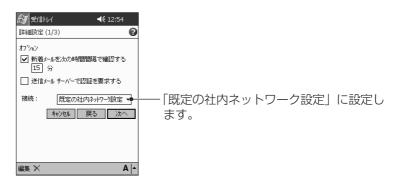
■ホームページを閲覧する場合

1 本体をクレードルに接続した状態でPocket Internet Explorerを起動する

- 「ホームページを見る」（参照 132ページ）の操作を行ってください。

■電子メールの送受信をする場合

1 受信トレイの接続設定を行う

- 「受信トレイの接続設定」（参照 127ページ）をご覧ください。
- 受信トレイの接続設定の操作6で、「オプション」をタップし、「接続：」を「既定の社内ネットワーク設定」に設定してください。

2 本体をクレードルに接続し、「受信トレイ」のコマンドバーの「メール送受信」アイコンをタップする

- メールを送信する場合は、「送信トレイ」フォルダにメールを保存しておきます。
- メールの作成方法などは「メールを送受信する」（参照 139ページ）をご覧ください。

2. 電子メールの接続設定

電子メールの接続設定（受信トレイの接続設定）を行います。

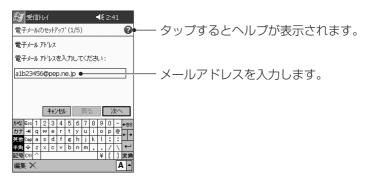
受信トレイの接続設定

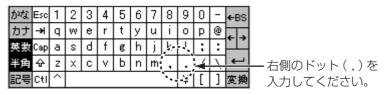
初めて設定するときは、本体からPHSカードや携帯電話接続ケーブルをはずしてください。

1 「スタート」の「受信トレイ」をタップする

受信トレイが起動します。

2 「サービス」をタップし、メニューの中から「新しいサービス」をタップする

「電子メールのセットアップ（1/5）」の画面が表示されます。

メールアドレスの入力について、カンマ（，）とドット（．）の違いにご留意ください。
一般に、メールアドレスにはドット（．）が使われています。

入力パネルのキー配列では、カンマ（，）とドット（．）は隣同士にあります。

3 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（2/5）」の画面が表示されます。
「状態：」のフィールド表示が「完了」になるのを確認してください。

●ネットワークへのログオンの画面が表示されたときは、「キャンセル」をタップします。
●モデムをつないでいるときは、接続画面が表示されますので、接続画面の「終了」をタップしてください。

接続中...

本体をUSBクレードルに接続していると、「接続中」の表示がしばらく続きます。
そのまま「完了」になるまでお待ちください。

4 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（3/5）」の画面が表示されます。
「ユーザー情報」を入力してください。

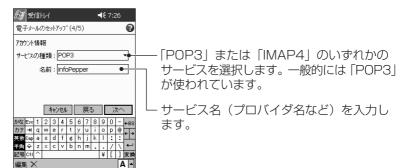
差出人として相手方に表示される名前を入力します。

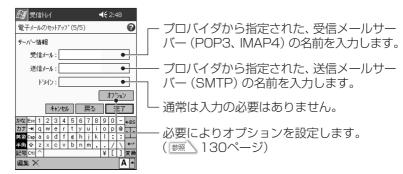
プロバイダから指定されたメールサーバーへ接続するための「ユーザー名」「パスワード」を入力します。
（ユーザー名には、操作2で入力したメールアドレスの@より前の部分が自動的に表示されますので必要に応じて書きかえてください。）

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	メールアカウント名 メールボックス名 ユーザーID メールログイン名　など
パスワード	メールパスワード 接続パスワード ログインパスワード　など

5 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（4/5）」の画面が表示されます。
「アカウント情報」を入力してください。

6 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（5/5）」の画面が表示されます。
「サーバー情報」を入力してください。

7 「完了」をタップする

「受信トレイ」の画面に戻ります。

受信トレイの接続設定を変更する

1 「受信トレイ」の一覧画面で「ツール」メニューの「オプション」をタップする

サービスの一覧が表示されます。

2 変更したいサービスをタップする

「電子メールのセットアップ」の画面が表示されます。

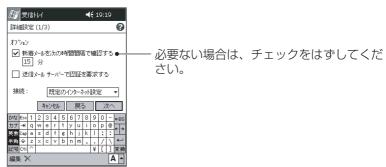
- 作成したサービスを削除する場合は、サービス名をタップアンドホールドして削除します。

3 設定したときと同じように設定する

「受信トレイの接続設定」の操作２以降（参照 127ページ）をご覧ください。

■接続設定のオプションを変更する

「電子メールのセットアップ（4/4）」の画面で、「オプション」をタップして変更します。「オプション」は、３画面用意されています。「次へ」をタップして順に表示できます。

- オプション１

● オプション２

メッセージ ヘッダーのみ取得する
メッセージ ヘッダーのみ取得する
メッセージの全文を取得する

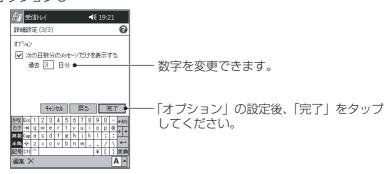
- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合、メールを受信してもメールサーバー上のメールは削除されません。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合、受信メールを削除して、再びメールサーバーにアクセスするとサーバー上のメールも削除されます。
  受信メールを削除しなければ、サーバー上のメールは削除されません。

● オプション３

第3章

2・電子メールの接続設定

3. ホームページを見る

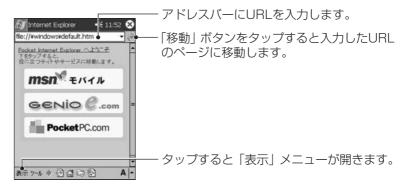
Pocket Internet Explorer を使ってホームページを閲覧できます。
ホームページを見るためにはインターネットの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 110ページ）をご覧になり、設定してください。

インターネットに接続し、ホームページを見る

1 本体に携帯電話などを接続する

- 接続のしかたは（参照 22、23ページ）をご覧ください。
- 携帯電話の電源を入れてください。

2 「スタート」から「Internet Explorer」をタップする

Pocket Internet Explorer が起動します。

3 「表示」メニューから「アドレスバー」をタップしアドレスバーを表示させる

4 アドレスバーにURLを入力し、「移動」ボタンを押す

接続を開始し、指定したURLのページに移動します。
初めてインターネットに接続するときは、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。

プロバイダに接続するためのユーザー名とパスワードを入力します。

パスワードを保存するときは、ここにチェックを付けます。

入力したら「OK」をタップしてください。接続を開始します。
入力後、「OK」をタップしないで、時間が経つと、前の画面に戻り入力した内容は保存されません。

■接続を切断するには

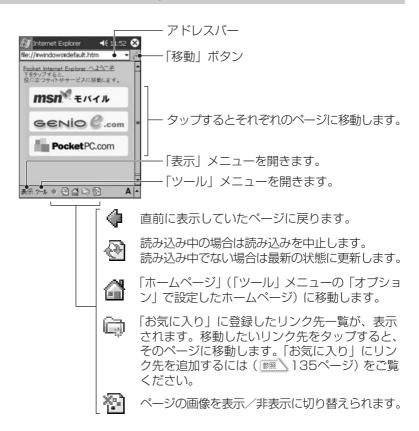
ダイヤルアップまたはVPNを使用して接続しているときは、ナビゲーションバーの をタップし、表示されたメッセージから「終了」をタップします。

ダイヤルアップまたはVPN以外の方法で接続しているときは、以下のようにして切断してください。

- ケーブルまたはクレードルで接続しているときは、本体をケーブルまたはクレードルから取り外すか、画面下のコマンドバーの をタップして、「切断」をタップします。
- 赤外線で接続しているときは、本体をPCから離します。
- ネットワーク(Ethernet)カードで接続しているときは、カードを本体から取り外します。

お知らせ

- 「お気に入り」からリンク先をタップして、そのページを見ることができます。（参照 134ページ）
- パソコンからお気に入りのリンクを本体の「お気に入り」に取り込めます。「「お気に入り」をパソコンと同期する」（参照 137ページ）をご覧ください。
- 接続先（プロバイダ）を選んで、接続したい場合は、「インターネットに接続する」（参照 122ページ）をご覧ください。

Pocket Internet Explorer について

「表示」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

「次へ」........................... 前に表示していたページに戻ります。
「画面に合わせる」....... 本体の画面の幅に合わせてページを表示します。
「アドレスバー」........... タップすると、アドレスバーの表示／非表示を切り替えられます。
「文字のサイズ」........... 表示する文字の大きさを設定します。
「履歴」........................... 過去に表示したリンク先の一覧画面を表示します。
「プロパティ」............... 表示しているページの情報を表示します。

「ツール」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

「電子メールからリンクを送る」.. 受信トレイが起動し、表示しているページの URL を載せたメッセージ作成画面が表示されます。受信トレイの使いかたは(参照 139 ページ)をご覧ください。

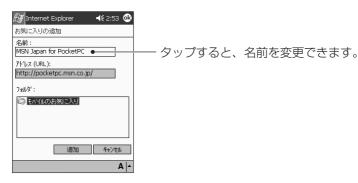
「すべてのテキストを選択」.......... すべてのテキスト文字を選択します。

「オプション」................................ オプション設定画面を表示します。(参照 136ページ) をご覧ください。

「お気に入り」に追加するには

1 「お気に入り」に追加したいページを表示中に、 をタップする

2 「追加／削除」タブをタップし、「追加」をタップする

「お気に入りの追加」の画面が表示されます。

3 ok をタップする

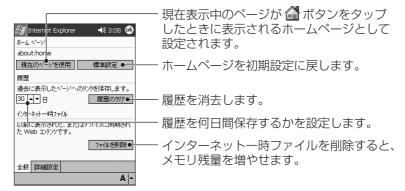
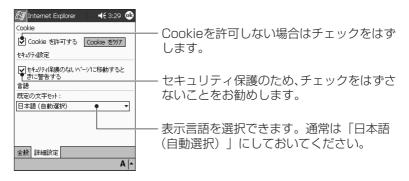
「お気に入り」に追加され、操作１の画面に戻ります。

お知らせ

- 「お気に入り」から削除するには、「お気に入り」の一覧画面で「追加／削除」タブをタップして、削除したいリンク先を選んで「削除」をタップし、「はい」をタップします。

「オプション」設定について

「ツール」メニューから「オプション」を選択すると、以下の設定ができます。設定が終わったらⓚをタップしてください。

●「全般」タブ

●「詳細設定」タブ

お知らせ

- Cookieには、ユーザーの識別情報やページにアクセスしたときの設定などの情報が含まれ、ページから本体に送られ保存されます。このファイルによって、ページの情報がユーザーの要求に合わせて調整されます。

閲覧できるホームページ

- Pocket Internet Explorer は、次の機能に対応しています。
  - ・HTML（Hyper Text Markup Language）レベル 3.2 に準拠
  - ・SSL 2.0/3.0
- Pocket Internet Explorer は、パソコン用のブラウザと比べると、機能が制限されています。
  - ・パソコン用のブラウザで閲覧することを前提に作られたホームページで、一部のホームページは表示できない場合があります。
  - ・プラグインを必要とするホームページは、利用できない場合があります。
  - ・ホームトレードページは、利用できない場合があります。

「お気に入り」をパソコンと同期する

ActiveSync で「お気に入り」を同期設定していると（参照 54 ページ）、パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」の中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されています。本体とパソコンを接続して同期したときに「モバイルのお気に入り」フォルダに入れたリンク内容と本体の「お気に入り」のリンク内容が同期されます。

パソコンで取り込んだホームページを本体で見る

パソコンのInternet Explorer5.0 以上を使用している場合は、本体にお気に入りのページをダウンロードして、本体でオフライン時にそのページを見ることができます。

1 パソコンで Internet Explorer を起動して、「ツール」をクリックし、「モバイルのお気に入りの作成」をクリックする

2 「OK」をクリックする

そのページがパソコンの「モバイルのお気に入り」フォルダにダウンロードされます。

3 本体とパソコンを同期する

パソコンで取り込んだページが本体に転送されます。

4 本体の Pocket Internet Explorer を起動し、 をタップする

パソコンで取り込んだページタイトルが追加されています。

5 そのページタイトルをタップする

取り込んだページが表示されます。

お知らせ

- そのページにリンクしているページもダウンロードしたい場合は、パソコンで作成した「モバイルのお気に入り」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「ダウンロード」タブで、ダウンロードしたいリンクの深さを変更できます。リンクを深く設定した場合、メモリをたくさん使います。

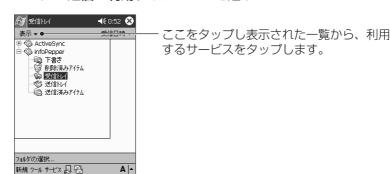
4. メールを送受信する

メールメッセージを送受信するには、Microsoft Pocket Outlookの「受信トレイ」を使います。メールの送受信には、メールの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 127 ページ）をご覧になり、設定してください。

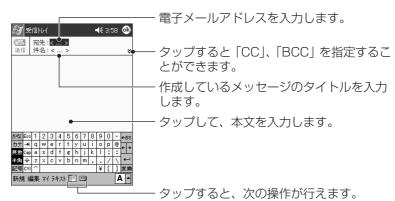
新規にメッセージを作成し、送信する

1 「スタート」から「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

2 メールの送信に利用するサービスを選ぶ

3 「新規」をタップする

メッセージの作成画面が表示されます。

4 「宛先」、「件名」を入力し、本文を入力する

……このボタンをタップすると、電子メールのアドレス一覧が表示されます。送信先にしたいアドレスをタップすると、宛先に選んだアドレスが入力されます。もう一度このボタンをタップするとアドレス一覧が消えます。「宛先」をタップしても同じようになります。
ここで表示されるアドレス一覧は、「連絡先」で登録した電子メールアドレスの一覧です。

……このボタンをタップすると、録音ツールバーが表示され音声を添付ファイルとして送信できます。

5 「送信」をタップする

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。

- 「送信」をタップしないでokをタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。このメッセージを送信するには、一度メッセージを表示させてから「送信」をタップしてください。
- メールサーバーへ接続中に「送信」をタップした場合は、タップするとすぐに送信されます。

6 メールサーバーに接続する

メールサーバーへの接続のしかたは次ページをご覧ください。
「送信トレイ」フォルダにあるメッセージが送信されます。

お知らせ

- 「CC」や「BCC」には、参考に送信したい人のアドレスを入力します。「BCC」に入れたアドレスは、BCCで受け取った人以外から見えないように配信されます。
- 電子メールアドレスを複数入力するときは、セミコロン（;）で区切って入力します。

■メッセージ作成画面について

タップすると、マイテキストを編集できます。

タップすると、添付するファイルを選べます。

「宛先」、「ＣＣ」または「ＢＣＣ」に名前を入力してこのボタンをタップすると、連絡先やオンラインアドレス帳から登録されている名前と一致する名前のアドレスを入力できます。

タップすると、「マイテキスト」の一覧が表示されます。一覧からメッセージをタップすると、よく使うメッセージを簡単に挿入できます。

メールサーバーに接続する

メールサーバーに接続すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメッセージを送信し、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

1 本体に携帯電話などを接続する

接続のしかたは（参照 22、23ページ）をご覧ください。

2 「サービス」メニューから接続に使うサービス名をタップする

ここに登録したサービス名が表示されます。（参照 129ページ）
お使いになるサービスをタップして選びます。

3 「接続」をタップする

初めて接続するときは、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をタップしてください。
接続が開始されます。
メールサーバーへの接続が完了すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメールが送信され、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

4 メールの送受信が完了したら、「サービス」メニューから「切断」をタップする

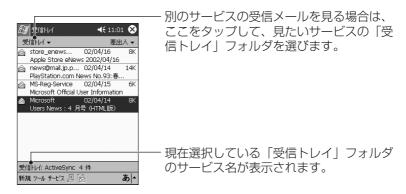
メールサーバーへの接続が切断されます。

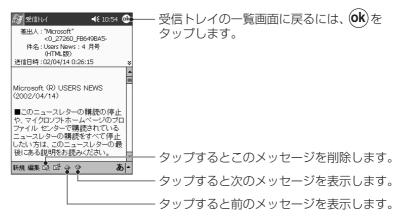
メッセージを見る／返信する／転送する

メールサーバーに接続すると、メッセージを受信できます。受信したメッセージを見たり、返信したり、転送できます。

メッセージを見る

1 「スタート」から「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

2 見たいメッセージをタップする

メッセージの内容が表示されます。

お知らせ

- 受信メッセージの初期設定は、過去３日分のメールで、メッセージヘッダーのみ取得する設定になっています。（参照 131 ページ）

■メッセージの全文を取得する

受信メッセージが途中で切れているときや添付ファイルを見たい場合は、指定したメッセージだけメッセージの全文を取得できます。

1 メッセージの一覧で、メッセージの全文を取得したいメッセージをタップアンドホールドする

2 「ダウンロードするアイテムとしてマーク」をタップする

- 「サービス」メニューからも「ダウンロードするアイテムとしてマーク」を選べます。

3 メールサーバーに接続する

指定したメッセージの全文を取得できます。

メッセージを返信／転送する

1 「メッセージを見る」の操作 1、2 に従って、メッセージの内容を表示する

2 をタップし、「返信」、「全員へ返信」または「転送」をタップする

- 「返信」をタップすると、差出人を宛先にしたメッセージ作成画面になります。
- 「全員へ返信」をタップすると、差出人だけでなく同じメールを受信した全員を宛先にできます。（差出人以外はCCに指定されます。）
- 「転送」をタップしたときは、転送先（宛先）を入力してください。

3 返信または転送のメッセージを入力する

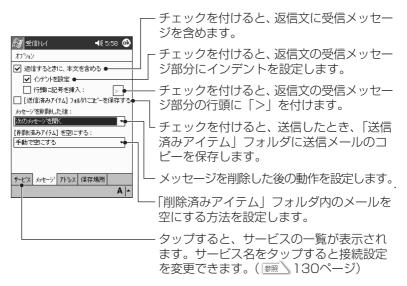
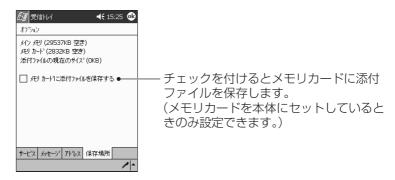
4 「送信」をタップする

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。
- 送信するには、メールサーバーへ接続してください。

お知らせ
- 受信トレイの一覧画面で、返信または転送したいメールをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、「返信」、「全員に返信」または「転送」が選べます。

■メッセージのオプションの変更をする

1 メッセージの一覧画面で、「ツール」メニューから「オプション」をタップする

2 「メッセージ」タブをタップする

3 「保存場所」タブをタップする

4 設定が終わったらⓞⓚをタップする

メッセージを整理する

新規フォルダを作成する

メッセージを整理して保存するために、新規にフォルダを作成することができます。送信者や内容別に振り分けると便利です。

1　「ツール」メニューから「フォルダの管理」をタップし、その下にフォルダを作成したいフォルダをタップする

● ActiveSyncフォルダの下に、新規フォルダを作成することはできません。

ここをタップして、新しいフォルダを作成します。

2　「新規」をタップする

フォルダ名を入力する画面が表示されます。

3　フォルダ名を入力し、ok をタップする

フォルダが作成され、元の画面に戻ります。

お知らせ

● 作成したフォルダはフォルダの管理の画面で「名前の変更」をタップすると名前の変更ができます。をタップすると、削除ができます。

メールを削除する

1 **受信トレイの一覧画面で、削除したいメッセージをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「削除」をタップする**

選んだメッセージは、「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

お知らせ

● 「削除済みアイテム」フォルダ内のメールを完全に削除するには、「ツール」メニューの「[削除済みアイテム] を空にする」をタップします。または、「削除済みアイテム」フォルダ内のメールをタップアンドホールドして、「削除」をタップします。

メールを移動する

1 **受信トレイの一覧画面で、移動したいメールをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「フォルダへ移動」をタップする**

移動先またはコピー先のフォルダを指定する画面になります。

3 **移動先のフォルダをタップし、ok をタップする**

指定したフォルダにメールが移動されます。

お知らせ

● 別のサービスのフォルダには移動できません。

パソコンと同期する

本体が直接メールサーバーと接続してメールを送受信する方法とは別に、本体をパソコンと接続して同期すると、パソコンで受信したメッセージを本体で見たり、本体で作成したメッセージをパソコンから送ることができます。
具体的には、パソコン上のＯｕｔｌｏｏｋの「受信メール」のメールと本体の「ActiveSync」フォルダのメールが次のように同期します。

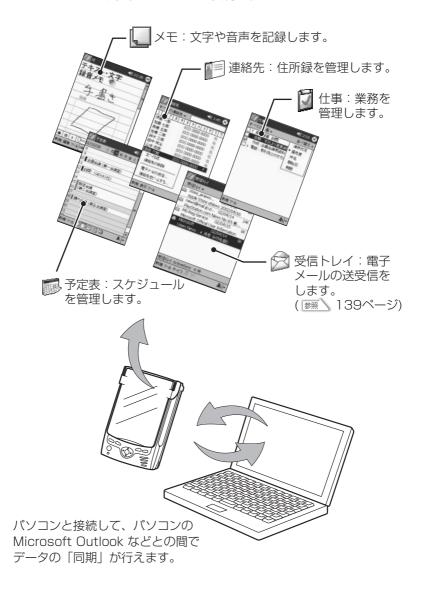
- パソコン側に新着メッセージがある場合は、本体の「ActiveSync」フォルダの「受信トレイ」フォルダにその新着メッセージがコピーされます。初期設定では、最近５日間までのメッセージで、取得行数は最初の１００行までです。
- 本体の「ActiveSync」フォルダの「送信トレイ」フォルダに入れたメッセージは、パソコン側の「送信トレイ」フォルダに転送されます。パソコン側でメールサーバーに接続すると、そのメッセージは、送信されます。
- 本体側で削除したメールは、次回同期時パソコン側でも削除されます。
- パソコン側で「受信トレイ」にサブフォルダを作成し、ActiveSyncの設定でそのサブフォルダを同期することもできます。

第4章

個人情報の管理

Microsoft Pocket Outlook

Microsoft Pocket Outlook の「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」を使用して個人情報を管理します。

Pocket Outlookは本体だけでも使えますが、ActiveSyncを使ってパソコンと同期すると、より便利に使用できます。

1.「予定表」の作成と使いかた

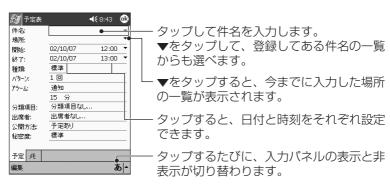
予定や会議などのスケジュールを管理します。日、週、月、年単位で表示したり、スケジュールに合わせてアラーム機能を設定したりできます。

新規に予定を入力する

1 「スタート」から「予定表」をタップする

「予定表」の一覧画面が表示されます。

2 画面左下の「新規」をタップする

予定の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 39、163ページ）をご覧ください。
- 入力項目については、「予定表の項目について」（参照 154ページ）をご覧ください。

4 ok をタップする

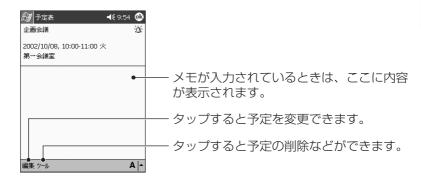
入力した予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 予定でアラームを設定してもアラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。

入力済みの予定を変更する

1 「予定表」の一覧画面で、変更したい予定をタップする

予定の概要画面が表示されます。

2 「編集」をタップする

項目を変更します。

メモを変更するときはここをタップします。メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ok をタップする

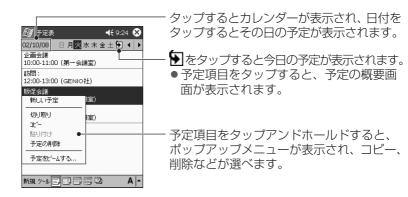
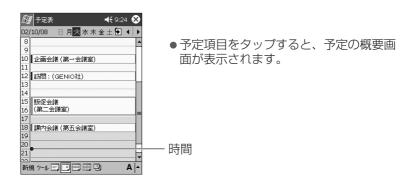
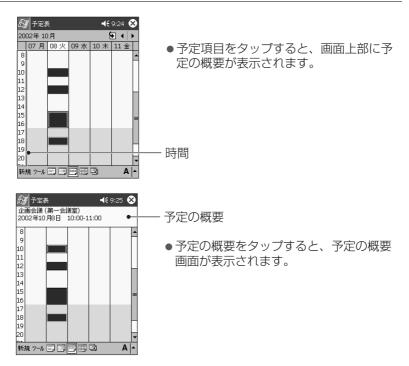
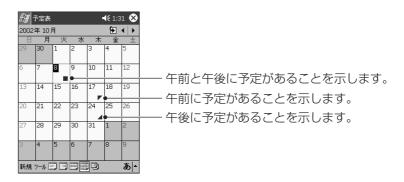
予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

予定表の項目について

件名	仕事名や、予定の名称を設定します。自分で入力する以外に「▼」をタップして、件名の一覧からも選べます。
場所	予定の場所を入力します。「▼」をタップして、以前に入力した場所の一覧からも選べます。
開始／終了	予定の日時や時刻を設定できます。日時をタップするとカレンダーが表示されます。カレンダーから設定したい日時を選んでください。
種類	「標準」を選ぶと予定を時間単位で設定できます。「終日」を選ぶと選んだ日付が一日中対象となり、時間は設定できません。
パターン	設定中の予定を一回だけにするか、定期的な予定にするかどうかを選べます。
アラーム	通知を選んだ場合、予定のどれぐらい前にアラームを鳴らすかを選べます。
分類項目	仕事や個人用など、分類を設定できます。また、分類項目は追加や削除も行えます。
出席者	連絡先でメールアドレスを登録してある人のリストが一覧表示されます。出席者にチェックを付けるとActiveSyncやプロバイダを使って、選んだ相手に予定を通知できます。ActiveSyncとプロバイダのどちらを使用して通知するかは、「ツール」メニューの「オプション」の「会議出席依頼の送信方法」で選べます。ActiveSyncを選んだ場合、パソコンと同期したときに通知メールが送信されます。プロバイダを選んだ場合、本体でインターネットに接続したときに通知メールが送信されます。
公開方法	予定をインターネットなどで公開するときの表示方法を選べます。
秘密度	予定の内容に合わせて、標準またはプライベートのどちらかを設定します。

予定表の表示画面（一覧画面）を切り替える

画面下のコマンドバーのボタンをタップして、またはプログラムボタン１（予定表）を押して、予定表の表示方法を切り替えられます。

計画表表示

日単位表示

週単位表示

月間カレンダー

年間カレンダー

●「ツール」メニューから、「オプション」をタップすると、表示内容などを変更できます。

予定表の便利な使い方

予定表に祝日を設定する

パソコン側の Outlook と同期することによって、Pocket Outlook の予定表に祝日を設定できます。

1 パソコンの Outlook で予定表に祝日を追加する

祝日の追加については、パソコンの Outlook のヘルプをご覧ください。

2 ActiveSync で予定表を同期する

予定表に祝日が追加されます。

パソコンと同期したときの予定について

ActiveSyncを使ってパソコンと同期するときは、同期する前に同期する項目や期間の設定をご確認ください。（参照 54ページ）設定によっては、同期をした際に古いデータが削除されてしまうことがあります。

2. 「連絡先」の入力と編集

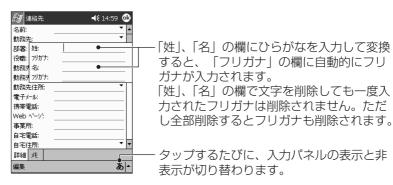
名前・電話番号・電子メールアドレス・住所などの各種情報を管理します。

新規に連絡先を入力する

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

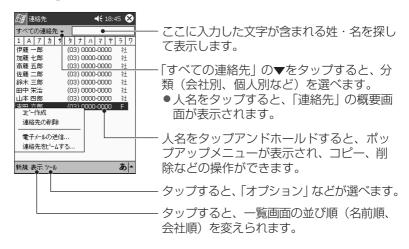
「連絡先」の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップするとメモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 39、163ページ）をご覧ください。

4 ok をタップする

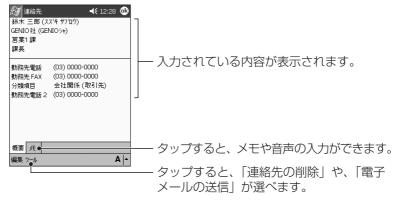
入力した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

連絡先の一覧を表示する

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。

連絡先を変更する

1 「連絡先」の一覧画面で、変更したい連絡先の名前をタップする

「連絡先」の概要画面が表示されます。

2 「編集」をタップする

項目の内容が変更できます。

3 ok をタップする

変更した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

3. 「仕事」の管理

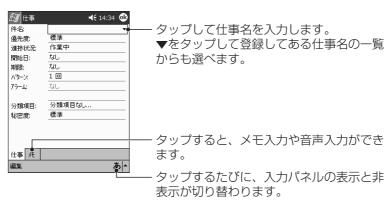
仕事の進行状況や期限などを管理できます。また、アラームも設定できます。

新規に仕事を入力する

1 「スタート」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

「仕事」の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 39、163ページ）をご覧ください。

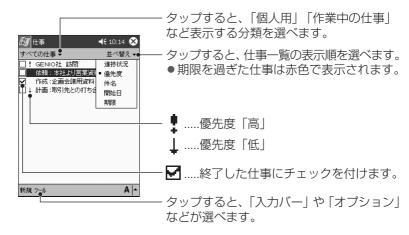
4 ⓞⓚをタップする

入力した仕事名が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

…お知らせ

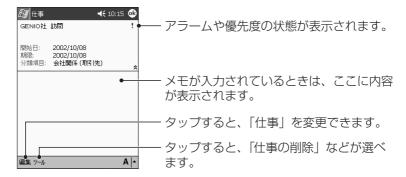
- 「仕事」でアラームを設定しても、アラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。
- 「仕事」の一覧画面で、ツールメニューから「入力バー」を選んでも、新規に仕事を入力できます。

仕事の一覧を表示する

1 「スタート」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。

入力済みの仕事を変更する

1 「仕事」の一覧画面で、変更したい仕事をタップする

「仕事」の概要画面が表示されます。

2 「編集」をタップする

- 項目を変更します。
- メモを変更するときは「メモ」タブをタップします。
  メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ok をタップする

変更した仕事が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

4.「メモ」の作成と使いかた

文字や図をすばやく手書きしたり、「メモ」の中に音声を録音することもできます。

メモを入力する

1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

「メモ」の入力画面が表示されます。

- 画面下の「ツール」をタップすると、画面の表示サイズを切り替えることができます。
- 画面下のをタップすると「手書き（フリーハンド）入力モード」と「文字入力モード」が、交互に切り替わります。

3 入力する

手書き（フリーハンド）入力モードのときはスタイラスで画面に直接入力します。文字入力モードのときはキーボードを使って入力します。

- 罫線に沿って手書きしたメモは、画面を「文字入力モード」に切り替えたときに、切り取り／コピー／貼り付けなどの編集ができます。
- 罫線を３本以上またがったメモは、描画として認識され、その範囲が破線で示されます。

「手書き入力モード」画面は罫線が表示されます。

4 ok をタップする

内容が保存され、「メモ」の一覧画面に戻ります。
メモのファイル名は「メモ１」、「メモ２」…と自動的に付けられます。

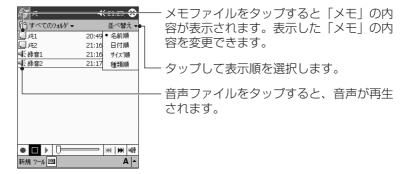
お知らせ

- 「メモ」では「手書き（フリーハンド）入力モード」と「文字入力モード」が選べます。「文字入力モード」については（参照 39ページ）をご覧ください。

メモの一覧を表示する

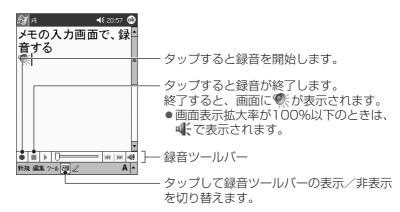
1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

お知らせ

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても （メモファイル）のアイコンで表示されます。
- 「メモ」の入力画面以外で録音した音声は のアイコンで表示されます。

メモファイル上に録音する

1 「メモ」の入力画面で をタップする

「メモ」の入力画面では、同じファイルにメモと録音ができます。

2 okをタップする

音声が保存され、「メモ」の表示画面に戻ります。
ファイル名は、音声しかファイル上になくても、「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。

お知らせ

- 「メモ」の一覧画面で録音すると、ファイルのアイコンは で、ファイル名は「録音 1」、「録音 2」…と自動的に付けられます。
- マイクの位置はスクロールボタンの上にあります。（参照 2ページ）
録音するときは、マイクを音源に近づけてください。

ファイル名を変更／ファイルを削除する

1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

2 変更または削除したいファイル名をタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

- ファイル名の変更は、メニューから「名前の変更／移動」をタップします。
- 削除するときは、メニューから削除をタップします。

それぞれ画面に従って操作してください。

第5章

アプリケーション プログラム

ビジネスからエンターテイメントまでのアプリケーションプログラムを内蔵しています。

豊富なアプリケーション（下記）を付属のアプリケーションＣＤに収めています。

- JRトラベルナビゲータ
- モバイルアトラス
- Pocket Gphone、PC Gphone
- SD Audio Player
- Flash™ Player
- FOMAユーティリティ
- GENIO-SPEECH
- 東芝オリジナル壁紙
- 辞スパ
- 無線LANアプリケーション
- T-Time
- EasyViewer

詳しくは、(参照 199ページ)をご覧ください。

1. Microsoft Pocket Word

Pocket Word を使って、文字のタイプ入力や手書き入力、描画、録音などを、一つのファイルで保存できます。また ActiveSync を使って本体の Pocket Word ファイルをパソコンの Word で開いたり、パソコンの Word ファイルやテキストファイルを本体の Pocket Word で開くことができます。

お知らせ

- ActiveSync を使ってデータを送受信するときは、ActiveSyncの設定が必要です。ActiveSyncについては、(参照 51ページ) をご覧ください。
- 本章では、Pocket Word の基本操作を説明します。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

文書を作成する

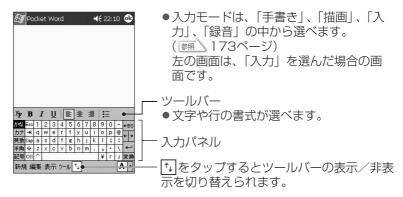
1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップする

「Pocket Word」文書ファイルの一覧画面が表示されます。

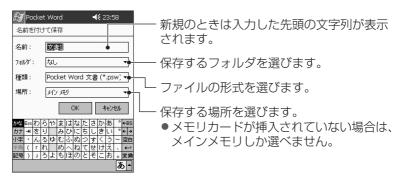
- 文書ファイルが一つもないときは、新規の文書の入力画面が表示されます。操作３へお進みください。

2 画面の左下の「新規」をタップする

文書の入力画面が表示されます。

3 文書を入力する

4 保存する場合は、画面下の「ツール」メニューから「文書に名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する

6 「OK」をタップする

作成した文書が保存され、文書の入力画面に戻ります。

お知らせ

- 操作４、操作５をしないで、「OK」をタップすると、開いたファイルと同じフォルダにPocket Word形式で保存されます。
- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Word形式（.psw）で保存したファイルは、パソコン上のWordのバージョンによっては読み込めない場合があります。

● 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表します。

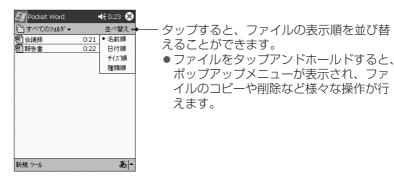
… Pocket Word 形式（.psw）、リッチテキスト形式（.rtf）、Word97/98J/2000/2002 形式（.doc）、Word6.0/95 形式（.doc）

… テキスト形式（.txt）

… Word97/98J/2000/2002 テンプレート形式（.dot）、Word6.0/95 テンプレート形式（.dot）

● メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「」がついた状態で表示されます。

文書を変更する

1 文書ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする

2 開いたファイルの内容を変更する

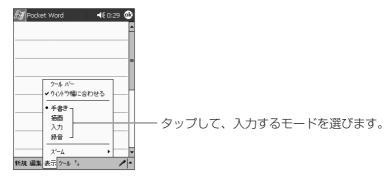
3 ok をタップする

同じファイル名に上書き保存されます。

● ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」メニューから「文書に名前を付けて保存」を選びます。

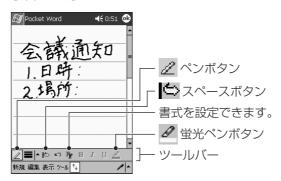
文書の作成・編集の入力モードについて

Pocket Wordでは、「手書き」、「描画」、「入力」、「録音」の４つのモードを使って入力できます。個別にファイルが作成できるだけではなく、１つのファイル内で４つのモードを切り替えて入力できます。

● 文書の入力画面で、「表示」メニューをタップして、入力モードを選びます。

手書きモードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「手書き」をタップする

手書き入力モード画面が表示されます。

2 手書き入力をする

- 画面左下の「ペンボタン」をタップすると、「ペンボタン」の枠あり／枠なしを切り替えられます。

  （枠あり）･･･スタイラスを使って画面に手書きができます。罫線３列以上にまたがって手書きしたものは、図形として認識されます。図形は描画モードで編集できます。（参照 175ページ）

  （枠なし）･･･ 手書きした文字をドラッグして選択（反転表示）できます。選択した文字は、ツールバーの各ボタンを使って書式を変更できます。

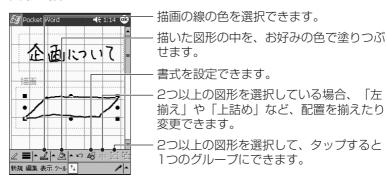
- スペースボタンを使う
  画面上をドラッグして、手書きした文字と文字の間にスペースを入れたり削除したりできます。スペースボタンをタップして枠ありにしてから、スペースを入れたい場所をタップし、そのままドラッグします。ドラッグ方向に矢印が表示されますので、その長さでスペースの量を確認してください。削除するときはスペースを入れたときと逆向きの方向にドラッグします。

- 蛍光ペンボタンを使う
  手書きした文字をドラッグして選択し、蛍光ペンボタンをタップすると、蛍光ペンでマークしたようになります。

描画モードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「描画」をタップする

描画モード画面に切り替わり、画面上にガイドとしてグリッド線が表示されます。

2 図形を描く

画面下のペンボタンをタップすると、描画モードが切り替わります。

（枠あり）･･･スタイラスを使って画面に図形が描けます。

（枠なし）･･･ タップして図形を選択できます。ドラッグすると複数の図形をまとめて選択できます。選択した図形は、「■」の部分をドラッグして変形させることができます。「●」の部分をドラッグすると回転します。選択した状態で図形の内側をドラッグすると、移動します。

入力モードを使う

1　文書の入力画面で、「表示」メニューから「入力」をタップする

入力画面が表示されます。

入力パネル切り替えボタン

2　入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「入力」モードを選択する

「入力」モードには、「ひらがな／カタカナ」、「ローマ字／かな」、「手書き検索」、「手書き入力」の４つがあります。

「ひらがな／カタカナ」

「ローマ字／かな」

「手書き検索」

「手書き入力」

3　文字を入力する

お知らせ

- 文字入力の詳細については、「文字入力のしかた」（参照 39ページ）をご覧ください。

録音モードを使う

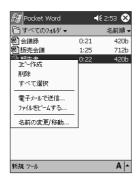
1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「録音」をタップする

録音入力画面が表示されます。

2 録音する

● 録音ツールバーの「●」をタップすると録音を開始します。
●「■」をタップすると録音を終了し、画面に が表示されます。
● をタップすると、録音した音声が再生されます。

文書ファイルを電子メールで送信する

1 文書ファイル一覧画面で、送信したい文書ファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、メッセージを入力する

4 「送信」をタップする

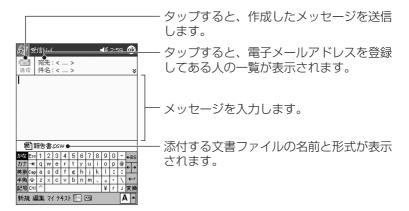
「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 139ページ）をご覧ください。

…お知らせ

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
- 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です。
  （参照 127 ページ）
- ファイルを開いている状態で「ツール」メニューから「電子メールで送信」を選んでも送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとの間でのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、本体とパソコンとの間でファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Word 形式（.psw）から Word 形式（.doc）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Word形式（.doc）から Pocket Word 形式（.psw）に自動的に変換されます。
  - ・ ページ設定、脚注、罫線などの情報は削除されます。
  - ・ 文書に保存されているマクロやハイパーリンクは削除されます。
  - ・ 文書に挿入してあるExcelワークシートのオブジェクトは図に変換されます。

…お知らせ

- 本体とパソコンとの接続のしかたは（参照 52 ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとの間でのファイル交換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Word のヘルプをご覧ください。

2. Microsoft Pocket Excel

Pocket Excelでは簡単な計算から関数計算まで様々な計算や表組機能が使えます。Pocket Excelのファイルはブックと呼ばれ、パソコンのExcelとファイルの交換もできます。

ファイルを作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Excel」をタップする

「Pocket Excel」のファイルの一覧画面が表示されます。

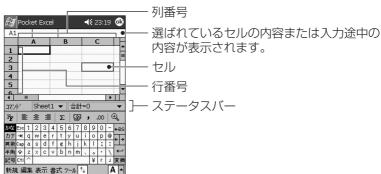
- ファイル（ブック）が一つもないときは、新規の入力画面が表示されます。操作３へお進みください。

2 「新規」をタップする

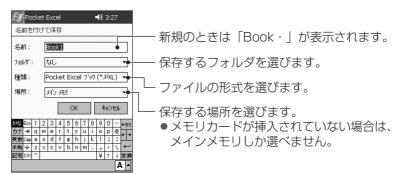
入力画面が表示されます。

3 入力する

入力したいセルを選び、入力します。

- 入力するには入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、入力パネルを選択します。

4 保存する場合は、「ツール」メニューから「ブックに名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する

6 「OK」をタップする

作成したファイルが保存され、入力画面に戻ります。

お知らせ

- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Excelブック形式（.pxl）で保存したファイルは、パソコン上のExcelのバージョンによっては読み込めない場合があります。
- 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表わします。
  - …Pocket Excel形式(.pxl)、Excel 97/2000/2002形式(.xls)、Excel5.0/95形式(.xls)
  - …Pocket Excelテンプレート形式(.pxt)、Excel97/2000/2002テンプレート形式(.xlt)、Excel5.0/95テンプレート形式(.xlt)
- メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「 」がついた状態で表示されます。

ファイルを変更する

1 **ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする**

選んだファイルが開きます。

2 **内容を変更する**

3 **画面右上のⓚをタップする**

同じファイル名に上書き保存されます。

- ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」メニューから、「ブックに名前を付けて保存」をタップして変更します。

テンプレートを利用する

新規ファイルを作成するとき、「家計簿」や「出張メモ」などのあらかじめ用意されているテンプレートを利用すると便利です。

1 **ファイルの一覧画面で、「ツール」メニューから「オプション」をタップする**

「オプション」の画面が表示されます。

2 **「新しいブックのテンプレート」入力欄の▼をタップし、表示された一覧から使いたいテンプレートをタップする**

3 **ⓚをタップする**

ファイルの一覧画面に戻ります。

- これ以降「新規」をタップするたびに、選択されたテンプレートが開きます。
- テンプレートを使用して保存しても、元のテンプレートには上書きされません。

画面表示を設定する

入力画面で、入力しやすいように「ツールバー」や「スクロールバー」、「行列番号」の画面表示 / 非表示などを設定できます。

1 入力画面で「表示」メニューをタップする

「表示」のメニューが開きます。画面表示 / 非表示したい項目をタップしてください。

タップするごとに表示/非表示が切り替わります。
● ✓チェックが付いている項目が表示されます。

タップすると、ツールバーやスクロールバーなどがすべて消えて広く使えます。全画面表示を終了するにはもう一度タップするか「元に戻す」をタップします。

パスワードを設定する

他人に見られたくないファイルに、パスワードを設定できます。

1 入力画面で「編集」メニューをタップする

「編集」メニューが開きます。

2 「パスワード」をタップする

「パスワードの設定／変更」の画面が表示されます。
● 現在、作成・編集中のファイルに「パスワード」を設定します。
● パスワードが設定されているファイルは、パスワードを入力しないと、ファイルを開けません。

3 パスワードを設定し、ok をタップする

お願い

● **パスワードを忘れると、ファイルが開けなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**
● 設定したパスワードを解除するときは、入力画面で「編集」メニューから「パスワード」を選び、設定されているパスワードを削除します。

ファイルを電子メールで送信する

1 **ファイルの一覧画面で、送信したいファイルをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする**

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 **宛先、件名、メッセージを入力する**

4 **「送信」をタップする**

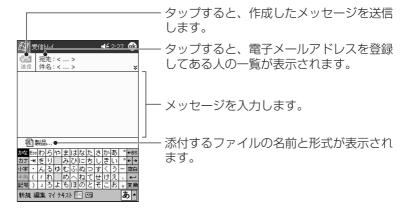
「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 139ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
- 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です。（参照 127ページ）
- ファイルを開いている状態で「ツール」メニューから「電子メールで送信」を選んでも、送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとの間でのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、本体とパソコンとの間でファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Excel形式（.pxl）からExcel形式（.xls）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Excel形式（.xls）からPocket Excel形式（.pxl）に自動的に変換されます。
  - ・罫線はすべて１本線の罫線に変換されます。
  - ・グラフ、マクロシート、VBAモジュール、ダイアログシートは空白のワークシートに置き換えられます。
  - ・Pocket Excelがサポートしていない式は、値に変換されます。
  - ・次の情報は削除されます。
    アドイン、描画オブジェクト、OLEオブジェクト、グラフ、シート（ブック）の保護、オートフィルタ、ハイパーリンク

お知らせ

- 本体とパソコンとの接続のしかたは（参照 52ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとの間でのファイル変換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Excelのヘルプをご覧ください。
- パスワードが設定されているファイルは、交換の途中でパスワードの確認（入力）が必要になります。

3. Windows Media Player

Windows Media Playerでは、ＭＰ３形式または「Windows Media Audio (WMA)」形式のオーディオファイル（曲）や「Windows Media Video（WMV）」形式のビデオファイル（動画）を再生できます。(再生できるファイルは、拡張子がasf、wma、wmvおよびmp3のファイルです。)
オーディオファイルやビデオファイルは、パソコンでWindows Media Player 7以降を使ってパソコンから本体やメモリカードに転送します。転送先はＭｙ Documentsフォルダです。

Windows Media Playerを起動する

1 「スタート」から「Windows Media」をタップする

Windows Media Playerのプレーヤー画面が表示されます。

● 初めて起動した場合には、「ストリーム再生の設定を最適化しました。」というメッセージ画面が表示されます。ⓞⓚをタップして、開いているすべてのプログラムを終了してから、本体をリセットしてください。

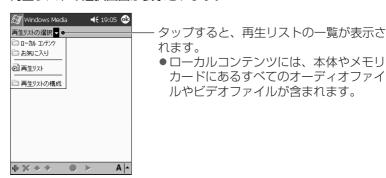
お知らせ

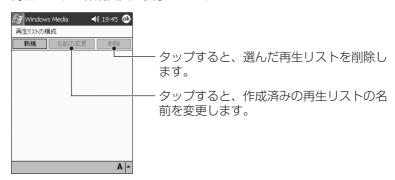
● 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化（CPRM）には対応していません。
● 再生中は、本体のオートパワーオフ機能は働きません。

再生リストを作成する

まず、再生したいファイルを準備します。例えば、パソコンのWindows Media Playerを使って音楽CDの楽曲をWMA形式に変換してパソコンに取り込み、本体とパソコンを接続してパソコンから本体に転送しておきます。詳しくは、パソコンのWindows Media Playerのヘルプを参照してください。
再生したいファイルを集めて再生リストを作ると、再生リスト内のファイルを続けて再生できます。

1 プレーヤー画面で「選択」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。

2 再生リストの一覧から「再生リストの構成」をタップする

再生リストの作成画面が表示されます。

3 「新規」をタップし、作成する再生リストの名前を入力して、ok をタップする

再生できるファイルの一覧画面が表示されます。

4 再生リストに入れるファイルのボックスをチェックして、ok をタップする

再生リストの画面が表示されます。

⬆ ⬇：選んだファイルを上または下に移動します。通常、上から順に再生します。

✕：選んだファイルをリストから削除します。

✚：ファイルを追加します。

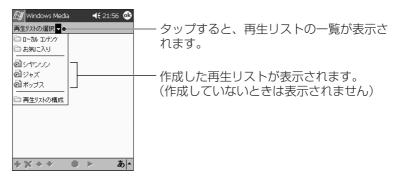
- 再生したいファイルをタップして、▶をタップすると、そのファイルから再生が始まります。

5 ok をタップする

プレーヤー画面に戻ります。

再生リストを使って再生する

1 プレーヤー画面で「選択」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。

2 再生したい再生リストをタップする

3 ⓚをタップする

プレーヤー画面に戻ります。

4 プレーヤー画面で▶をタップする

選んだ再生リスト内の一番上のファイルから再生が始まります。

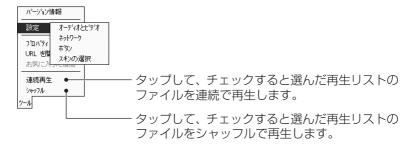
- このあと他のプログラムに切り替えても再生は継続されます。再生を継続したくない場合は、「ツール」メニューの「設定」から「オーディオとビデオ」をタップし、「別のプログラムを使用中」を「再生を一時停止する」にします。

お知らせ

- パソコンで表示できる動画データでも、Windows Media Player for Pocket PC ではそのまま再生できないデータがあります。この場合は、Microsoft 社のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/）からデータ変換を行うプログラム、Windows Media エンコーダをパソコンにダウンロードして、パソコン上でデータを変換してください。（2003 年２月現在）
  Windows Media エンコーダについては、Microsoft 社にお問い合わせください。

「ツール」メニューについて

プレーヤー画面から「ツール」メニューが選べます。

- 詳しくはヘルプをご覧ください。

再生中の画面表示をＯＮ／ＯＦＦする

電池の使用時間を長くするため、再生中は画面表示を OFF にしてください。

1 「ツール」メニューの「設定」から「ボタン」をタップする

2 機能の選択で「画面表示オン / オフ」を選ぶ

3 その機能を割り当てたいプログラムボタンを押す

画面に割り当てたプログラムボタン名と機能名が表示されます。

- リモコン付きイヤホンのボタン(リモートスイッチ１〜6)に割り当てることもできます。

4 ⓞⓚをタップする

以上の設定操作をした後、割り当てたプログラムボタンを押すごとに画面表示がＯＮ / ＯＦＦします。

お知らせ

- この設定画面では、「画面表示オン / オフ」だけでなく、操作２で別の機能を選んで、ボタンに割り当てることができます。
- リモートスイッチ１〜６の機能を変更すると、Windows Media Player だけが変更になります。

4. MSN Messenger

「MSN Messenger」はインスタントメッセージングプログラムで、次のような使いかたができます。

- 誰がオンラインで接続されているか見る。
- 登録したメンバでインスタントメッセージを送受信する。
- メンバのグループとインスタントメッセージで会話する。

MSN Messengerを使用するには、インターネットに接続しておく必要があります。詳細については、「インターネットの接続設定」（参照 110ページ）をご覧ください。

さらに、Microsoft Passportのアカウントか、Microsoft Exchangeの電子メールアカウントが必要です。HotmailやMSNアカウントがある場合、Passportはすでに取得されています。

お知らせ

- Microsoft Passportのアカウントはhttp://www.passport.com/でサインアップします。Hotmailの無料電子メールアドレスは、http://www.hotmail.com/で取得できます。(2003年２月現在)

MSN Messengerをセットアップする

接続する前に、PassportまたはExchangeのアカウント情報を入力する必要があります。

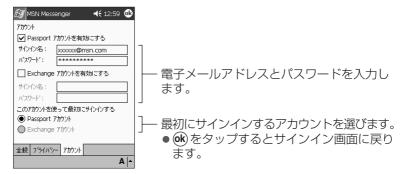
1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

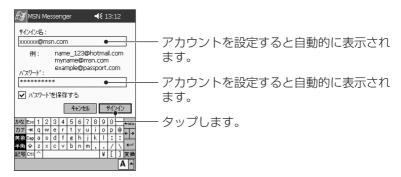
「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。

2 「ツール」メニューから「オプション」をタップする

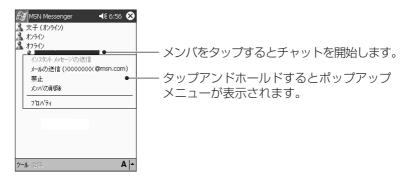
3 「アカウント」タブをタップし、Passport または Exchange のアカウント情報を入力し、ok をタップする

MSN Messenger を使う

1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。

2 サインイン画面をタップして、「サインイン」をタップする

サインインが終わると、MSN Messengerのメイン画面が表示されます。

メンバの操作

MSN Messengerのメイン画面には、すべてのメンバが「オンライン」と「オフライン」の分類項目に分かれて、一目でわかるように表示されます。タップアンドホールドしてポップアップメニューから、チャット、電子メールメッセージの送信、メンバの禁止、メンバの削除などを行うことができます。

お知らせ

- パソコンですでにMSN Messengerを使用している場合、メンバを追加しなくても、画面にメンバが表示されます。
- メンバを禁止した場合、禁止された側の一覧には、禁止した側の表示がオフラインとして残ります。メンバの禁止を解除するには、そのメンバをタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「禁止の解除」をタップします。

メンバの追加

1 「ツール」メニューから「メンバの追加」をタップする

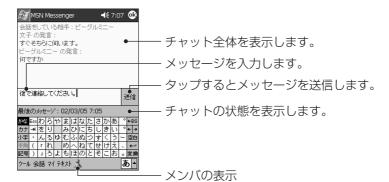
2 追加メンバのサインイン名を入力し、「次へ」をタップする

3 画面の指示に従って設定する

メンバとチャットする

1 **MSN Messenger のメイン画面で、チャットをしたいメンバの名前をタップする**

チャット画面が開きます。

2 **テキストボックスにメッセージを入力し、「送信」をタップする**

お知らせ

- コマンドバーの「マイテキスト」をタップすると、よく使うメッセージを選んで入力できます。
- チャットを閉じずにメイン画面に戻るには、「メンバの表示」をタップします。チャット画面に戻るには、「会話」をタップし、チャットをしていた相手を選択します。
- 進行中のチャットに招待するには、「ツール」メニューで「招待」をタップし、招待したいメンバをタップします。

5. 電　卓

９桁の計算ができます。

計算する

1 「スタート」の「プログラム」から「電卓」をタップする

「電卓」の画面が表示されます。

2 画面をタップして、計算する

- 計算を実行するには、「=」をタップします。
- 入力パネルを使って数値を入力しても計算できます。
- 計算をクリアするには、「C」をタップします。
- 表示されている数値をクリアするには、「ＣＥ」をタップします。
- 複数桁の最後の桁をクリアするには、入力ボックスの右側矢印をタップします。

数値を保存する

数値を保存するには、入力ボックスの左側のボックスをタップして、「M」を表示させます。

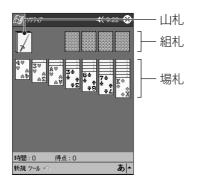
- 表示されている数値をメモリ内の数値に加算するには、「M＋」をタップします。
- メモリ内の数値を表示するには、「ＭＲ」をタップします。
- メモリをクリアするには、「ＭＣ」をタップします。

6. ソリティア

カードゲームです。すべてのカードを積み重ねたら勝ちです。

ゲームで遊ぶ

1 「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「ソリティア」をタップする

「ソリティア」画面が表示されます。

2 山札をタップして、山札をめくる

- 画面をタップすると時間がスタートします。

3 数字が小さくなる並びで赤と黒が交互になるように、カードをドラッグして移動し、重ねる（例：赤４の上に黒３を重ねられます。）

4 組札のところにエースを移動し、同種類のキングまでを数字が大きくなる並びで積み重ねていく

- 組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
- カードを移動して、場札の一番上のカードが裏になったら、場札をタップしてめくります。
- キングは、場札の空の列に移動できます。
- 重ねたカードは、まとめて移動できます。
- 移動したカードを元に戻すには、 をタップします。
- 移動するカードが無くなったら、また山札をめくります。
- 「新規」をタップすると、カードを配り直します。

オプションを変更する

ゲームの遊び方の変更ができます。
「ツール」メニューから「オプション」をタップします。

- カード（山札）のめくり方を「1 枚ずつ」か「3 枚ずつ」に変更できます。
- 得点の付け方を「点数方式」か「金額方式」または「なし」に変更できます。得点の付け方は、オンラインヘルプをご覧ください。
- 時間制や得点表示ありのチェックをはずすと、時間や得点の表示は消えます。
- カードの模様を選べます。

7. 付属のアプリケーションCDについて

付属のアプリケーションＣＤには、以下のようなアプリケーションプログラムが、モバイル性／エンターテイメント／ツール／ビューアの４つのタブに分類されて収められています。本体にインストールしてお使いください。

モバイル性タブ

■ ＪＲトラベルナビゲータ

鉄道や空港の乗り継ぎ経路を検索します。出発地と目的地を入力するだけで路線検索が可能です。出発時刻を指定すると、おおまかな到着予定時刻も調べられます。

■ モバイルアトラス

地図を表示します。目的の場所を住所で検索、駅名で検索できます。目的地周辺の飲食店やレジャー施設などを調べることができます。よく利用する場所をブックマークで登録しておくと、ワンタッチ操作で表示できます。行き先までの直線距離が表示できます。CF型GPS受信機を本体にセットすれば、自分の位置を確認することができます。

■ Pocket Gphone、PC Gphone

SIPプロトコルに対応した、PDA用インターネット電話アプリケーションプログラムです。同じアプリケーションプログラムを持つユーザーや、PC Gphoneを持つユーザー同士と通話を楽しむことができます。また、通話相手とテキストチャットや、ファイルの送受信も行うことができます。

エンターテイメントタブ

■ SD Audio Player

SDMIの規約に則ってSDメモリカードに記録された、AAC形式やMP3形式のオーディオデータが再生できます。

- インストール先は、必ず本体メモリにしてください。

■ Flash™ Player

Macromedia Flashで作成されたコンテンツを再生します。

ツールタブ

■FOMA ユーティリティ

FOMA 携帯電話を本体に接続して（参照 23 ページ）、FOMA 携帯電話のメモリダイヤルデータと、本体の連絡先のデータのやりとりができます。

■GENIO-SPEECH

受信したメールやテキストファイルなどを、音声で読み上げることができます。T-Timeの書籍ファイルも読み上げられます。読み上げるときのトーンやスピードを変えることができます。

■東芝オリジナル壁紙

「ホーム」画面の背景に使用します。

■辞スパ

英和、和英、国語の３つの辞書から成っています。英和 65,000 語、和英 36,000 語、国語 41,000 語を収録しています。

■無線 LAN アプリケーション

無線LAN 拡張ユニット（別売品）をご使用になるときは、この無線LANアプリケーションをインストールしてください。

- 無線 LAN 拡張ユニットに付属のアプリケーションは使用しないでください。

ビューアタブ

■T-Time

電子ブックリーダです。ドットブック(.book)形式、テキスト形式、HTML形式の文章を、書籍のように読むことができます。JPEGとPNG形式の画像ファイルも表示できます。ページ縮尺、行間調整、書体変更、縦書／横書表示、付箋などの機能があります。

■EasyViewer

JPEG形式、ビットマップ形式、Flash Pix形式の画像の表示や、Windows Media Player対応ファイルの再生をすることができます。本体メモリ、およびメモリカードのファイルに対応しています。

付属アプリのインストール方法

アプリケーションCDに収められているアプリケーションプログラムを使うためには、次の操作手順でインストールをしてください。
アプリケーションプログラムを本体にインストールするには、事前に接続するパソコンにMicrosoft® ActiveSync®をインストールし（参照 51ページ）、本体とパソコンが接続できるように準備をしておきます。

1 本体とパソコンを接続する

（参照 20、50ページ）

2 アプリケーションCDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

メニュー画面が表示されます。

3 画面左側に表示されたアプリケーションプログラムの分類タブの中の１つを選んで、インストールしたいアプリケーションプログラムをクリックする

画面の指示に従ってインストールをしてください。

8. 付属のコンパニオン CD について

付属のコンパニオン CD には、Microsoft® ActiveSync® 3.5 と Microsoft® Outlook® 2000 が収められています。本体と接続するパソコンにインストールしてお使いください。
インストールする際は、パソコンの必要条件（参照 50ページ）を確認してください。
インストール方法については、クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧ください。

お願い

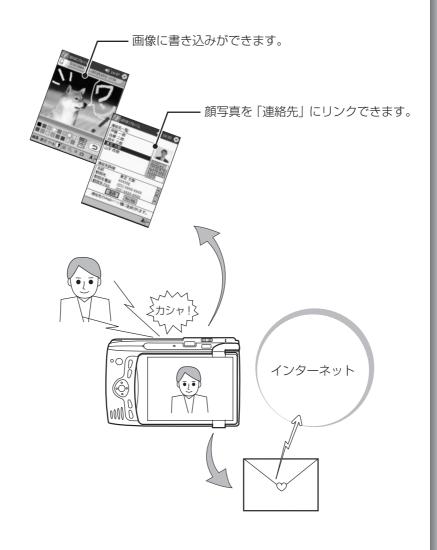
- Outlook® 2002またはOutlook® 2000がすでにインストールされているパソコンには、コンパニオンCD から Outlook® 2000 をインストールしないでください。
  Outlook® 2002 がすでにインストールされているパソコンに、コンパニオンCD から Outlook® 2000 をインストールした場合、お客様が登録したデータが消失するおそれがあります。

お知らせ

- コンパニオンCDの自動起動画面には、Flash形式の画像が使われています。このためお使いの Internet Explorer に、Macromedia Flash がプラグインされていないと、Macromedia Flashをインストールするための接続確認画面が表示されます。
  Flash 形式の画像を表示したい場合は、インターネットに接続できる環境にして、再接続を選択し、Macromedia Flashをインストールしてください。
  Flash 形式の画像が非表示で構わない場合は、オフラインを選択してください。なおオフラインを選択後、メインメニュー表示まで数秒かかります。
  この間は、パソコンの操作を行わないでください。

第6章
カメラ

カメラ機能を利用して静止画を撮影することができます。
撮影した画像を加工して、メールに添付して送信したり、顔写真を「連絡先」にリンクさせたりすることができます。

第6章

1. カメラ機能を使う

本体内蔵のカメラで静止画を撮影できます。撮影した画像は、JPEG 形式で、本体メモリ／SD メモリカード／CF メモリカードのいずれかに保存できます。

撮影／編集の流れ

撮影は「GENIO ショット」で行い、撮影した画像の表示や編集は「GENIO アルバム」で行います。

「GENIOショット」

撮影する

静止画を撮影できます。
フラッシュやズームなど、撮影の設定ができます。

↓

「GENIOアルバム」

画像を見る

撮影した画像を再生することができます。

↓

画像を編集する

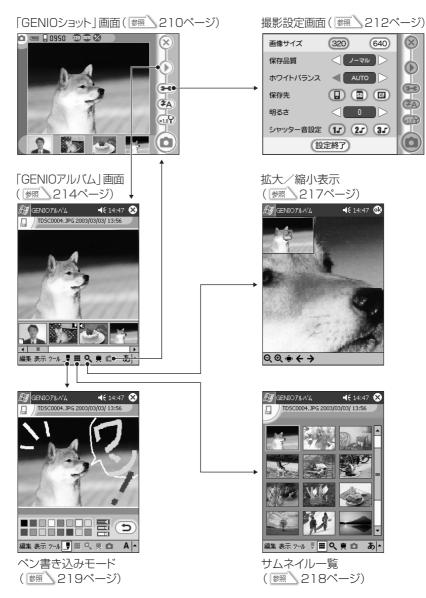
撮影した画像に効果を加えたり、ペン（スタイラス）で書き込んだり、画像をトリミングすることができます。

↓

画像を活用する

撮影した顔写真を「連絡先」にリンクさせることができます。
撮影した画像を、メールや赤外線通信で送信することができます。

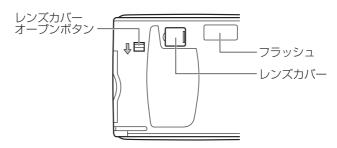
主な撮影／編集画面一覧

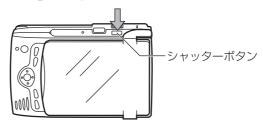
撮影／編集を行う画面は、タップして切り替えます。各画面について詳しくは、参照先のページをご覧ください。

2. 「GENIO ショット」で撮影する

撮影は「GENIOショット」で行います。被写体や撮影する状況に合わせて、撮影の設定をしてください。

撮影のしかた

1 レンズカバーオープンボタンをスライドする

レンズカバーが開きます。

2 シャッターボタンを押す

「GENIO ショット」が起動します。

3 撮影の設定をする

（参照 210 ページ）

4 被写体にレンズを向ける

レンズからの画像が「GENIO ショット」画面に表示されますので、撮影する構図を決めてください。

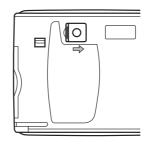
- 暗い場所では、画像表示の更新が遅くなります。

5 シャッターボタンを押す

シャッター音が鳴り、撮影した画像が保存されます。

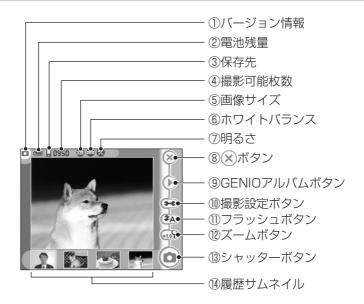
撮影をしないときは

撮影をしないときは、下図のようにレンズカバーを閉じてください。

…お知らせ

- 「GENIOショット」の起動は、「スタート」の「プログラム」から「GENIOショット」をタップしても行うことができます。
- 撮影は、「GENIO ショット」画面のシャッターボタンをタップしても行うことができます。
- 撮影画像、保存画像は、JPEG ファイルになります。
- 撮影画像は、TDSCXXXX.JPG（XXXX は 0001 ～ 9999 までの数字）というファイル名で保存されます。

お願い

- レンズ部に直射日光を長時間あてないでください。
  内部のカラーフィルタが変色して画像が変色することがあります。
- カメラは非常に高精度に作られていますが、なかには常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- レンズ部の汚れやほこりは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナーで清掃してください。
- 撮影時にはレンズ部に指などが、かからないようにしてください。
- シャッターを切るとき、手ぶれが起きないように本体をしっかり持って、撮影してください。手ぶれは画像がぶれる原因となります。
- 本体を高温の場所に長時間置いた状態で撮影すると、画質が劣化することがあります。
- フラッシュの発光部を、人の目に近付けて発光させないでください。また、発光を見続けないでください。視力障害の原因となります。

「GENIO ショット」画面について

① バージョン情報 ...... 「GENIO ショット」のバージョン情報が確認できます。

② 電池残量 .... 本体内蔵電池の残量を表示します。

③ 保存先 .... 画像の保存先を表示します。変更は撮影設定画面で行います。

④ 撮影可能枚数 .... 現在の保存サイズ、保存品質、保存先のメモリの残り容量から予測した撮影可能枚数を表示します。

⑤ 画像サイズ .... 画像の保存サイズを表示します。変更は撮影設定画面で行います。

⑥ ホワイトバランス ... ホワイトバランスの設定状態を表示します。設定は撮影設定画面で行います。

⑦ 明るさ .... 明るさの調整を行っている場合にアイコンが表示されます。設定は撮影設定画面で行います。

⑧ ⊗ ボタン .... 「GENIO ショット」画面の表示を消します。

⑨ GENIO アルバムボタン
.... 「GENIO アルバム」を起動します。

⑩ 撮影設定ボタン ...... 撮影設定画面を表示します。

⑪ フラッシュボタン ... フラッシュを設定します。ボタンをタップすると、設定が切り替わります。
自動発光／常時発光／発光禁止
初期値は自動発光（撮影場所の明るさを判断し、必要な場合発光）に設定されています。

⑫ ズームボタン .... デジタルズームを設定します。ボタンをタップすると、設定が切り替わります。
×1.0 1倍／×2.0 2倍／×4.0 4倍

⑬ シャッターボタン ... タップすると撮影を行います。

⑭ 履歴サムネイル ...... 過去4枚の撮影画像を縮小表示します。サムネイルをタップするとその画像を全画面表示します。全画面表示で、カーソルボタンを左（または上）に操作すると、前の画像を表示します。カーソルボタンを右（または下）に操作すると、次の画像を表示します。
全画面表示から「GENIOショット」画面に戻るには、画面上をタップしてください。

■ 撮影設定の初期値

設定	初期値
画像サイズ	320×240
保存品質	ノーマル
ホワイトバランス	自動
保存先	本体メモリ
明るさ	0
シャッター音	1
フラッシュ	自動発光
ズーム	1倍

お知らせ

- 保存先を本体メモリに設定した場合、撮影可能枚数は、データ記憶用の空き容量を元に算出します。本体メモリの割り当ての自動調節により、撮影を重ねても、撮影可能枚数が増加する場合があります。(参照 76ページ)
- 「GENIOショット」で撮影する前に「GENIOアルバム」が起動していると、撮影後に「GENIOショット」の ⊗ ボタンをタップして画面の表示を消しても、「GENIOアルバム」画面は最新の撮影画像に更新されていません。更新するには、「GENIOショット」画面で ▶ ボタンをタップしてください。
- 「GENIO ショット」のオンラインヘルプを見るには、「GENIO アルバム」画面を表示して、「スタート」から「ヘルプ」をタップしてください。

撮影設定画面について

画像サイズ ………………… 撮影した画像を保存するサイズを設定します。
320 320 × 240 ピクセル／ 640 640 × 480 ピクセル

保存品質 …………………… 撮影した画像を保存する品質を設定します。

スーパーファイン	：画質を最優先します。画像ファイルのサイズは最も大きくなります。
ファイン	：画質を優先します。
ノーマル	：標準画質です。画質と撮影可能枚数を両立します。
エコノミー	：撮影可能枚数を優先します。画像ファイルのサイズは最も小さくなります。

ホワイトバランス ……… 撮影環境の光の色に合わせて色のバランスを調整する機能です。
AUTO 自動／ 蛍光灯／ 白熱灯／ 昼光
初期値では自動で調整するよう設定されています。

保存先 ………………………… 撮影した画像の保存先を設定します。
本体メモリ／ SD メモリカード／ CF メモリカード

明るさ ………………………… 撮影環境の明るさに合わせて撮影画像の明るさを調整する機能です。明るさの調整を行う場合は、-4 ～ +4 までの値で設定できます。
初期値は０（明るさの調整を行いません）です。
明るさの調整を行う設定をすると、「GENIO ショット」画面にアイコンが表示されます。

シャッター音設定 ……… シャッター音を３種類の中から設定します。音量の変更や、鳴らなくすることはできません。

撮影時の充電残量について

撮影するときは、本体内蔵電池の充電残量を確認してください。
「GENIOショット」画面に表示されるアイコンで、本体内蔵電池の充電残量を確認できます。

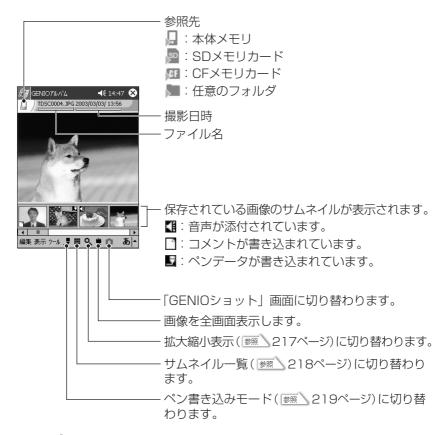
電池残量アイコン	充電残量
	約2/3以上
	約1/3～2/3
	約1/3以下

充電残量が20%以下になると、撮影することはできません。
この場合、電池残量不足のメッセージが表示されます。

3. 「GENIO アルバム」で再生、編集する

撮影した画像は、「GENIO アルバム」で再生や編集ができます。
「GENIOショット」画面のGENIOアルバムボタンをタップすると「GENIOアルバム」が起動します。

「GENIO アルバム」基本画面について

お知らせ

- 「GENIOアルバム」の起動は、「スタート」の「プログラム」から「GENIOアルバム」をタップしても行うことができます。
- 「GENIOアルバム」が起動している状態で「GENIOショット」で撮影をした後に、ボタンをタップして「GENIOショット」画面の表示を消すと、この時点の「GENIOアルバム」画面は最新の撮影画像に更新されていません。更新するには、「GENIOアルバム」の「表示」メニューから「最新の状態に更新」をタップしてください。

■「編集」メニュー

効果............................ 画像に効果を加えることができます。

ペン............................ 画像にペンで絵や文字を書き込むことができます。
書き込み　：書き込みモードに切り替わります。
削除　　　：ペンデータを削除します。

音声............................ 画像に音声ファイル（WAVE形式）を添付することができます。
音声ファイルは１つ添付できます。再録音を行うと新しい音声ファイルに上書きされます。

別名で保存.................. 表示されている画像を、新しいファイル名を付けて保存します。
保存サイズ：最大640×480ピクセルまでサイズを選択できます。
640×480ピクセルより大きい画像は、最大640×480ピクセルになります。
回転　　　：元画像を回転した状態で保存できます。
ペンデータ：元画像のペンデータを画像に合成して保存できます。

トリミング保存 .... 画像の一部分を切り出して、別のファイル名で保存します。

ペンデータのマージ.... ペンデータを画像に合成します。

削除............................ 画像を削除します。

選択............................ サムネイル一覧で、サムネイルを複数選択するか、全選択するかを設定します。

■「表示」メニュー

全画面表示.................. 画像を全画面で表示します。

拡大縮小表示.............. 拡大縮小表示に切り替わります。

基本画面...................... 基本画面に切り替わります。

サムネイル一覧 .... サムネイル一覧に切り替わります。

画像の回転.................. 画像を回転表示します。

画像情報／コメント.... 画像情報が確認できます。また、コメントの表示／編集を行うことができます。

最新の状態に更新 .... 参照先の画像をすべて読み直し、最新の状態に更新します。

■「ツール」メニュー

参照先 .... 表示する画像の参照先を選択します。
撮影画面へ .... 「GENIO ショット」画面に切り替わります。
電子メールで送信 .... 画像をメールに添付して送ることができます。
画像をビームする .... 画像を赤外線通信で送ることができます。
連絡先へ貼り付け .... 画像を「連絡先」にリンクさせることができます。
ホーム背景画像として保存
.... 「ホーム」画面の背景用画像として保存できます。
（参照 95 ページ）
オプション .... 「GENIOアルバム」のオプション設定を行います。
.JPG ファイルの関連付けを行う：
選択すると、拡張子が「.JPG」のJPEGファイルをファイルエクスプローラでタップしたときに、「GENIO アルバム」が起動するように関連付けることができます。
サムネイルにペンの軌跡を表示する：
選択すると、ペン書き込みデータが存在する場合に、サムネイルにペンの軌跡が表示されます。
バージョン情報 .... 「GENIO アルバム」のバージョン情報が確認できます。

拡大／縮小表示について

画像を拡大／縮小して表示します。

タップすると元の画面に戻ります。

画像が画面サイズを超えて表示されている場合、画像の全体が縮小表示されます。

画像が画面サイズを超えて表示されている場合、スタイラスで画面上をドラッグすると画像がスクロールします。

次の画像を表示します。

前の画像を表示します。

最初の表示状態に戻ります。

拡大表示します。

縮小表示します。

サムネイル一覧について

画像を縮小して一覧表示します。

タップするとサムネイルを選択します。
タップアンドホールドするとメニューが表示され、選択した画像を削除することができます。

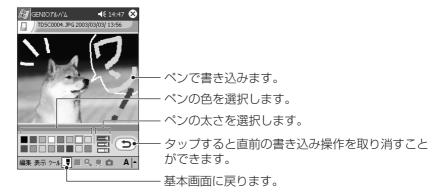
基本画面に戻ります。

「編集」メニューの「選択」でサムネイルの選択方法を設定できます。

複数選択……サムネイルを複数選択できます。
全選択………すべてのサムネイルを選択状態にします。

サムネイルを選択した状態で「編集」メニューの「削除」をタップすると、選択したサムネイルをすべて削除することができます。

ペン書き込みモードについて

画像に手書きのイラストや文字を書き込むことができます。

■保存するには

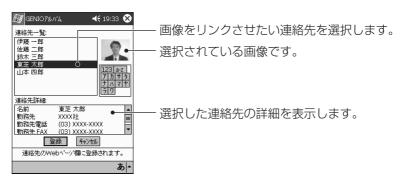
ペンで書き込んだ内容は、ペンデータとして画像ファイルとは別のファイルで保存されます。
「GENIO アルバム」上は、これらを重ね合わせて表示しています。
ペンデータと画像を合成して１つのファイルにするには、もう一度「ペン書き込みモード」ボタンをタップして基本画面に戻り、「編集」メニューから「別名で保存」または「ペンデータのマージ」をタップします。
「別名で保存」画面では、「ペンデータ」の「合成する」を選択して、ファイル名を付けて保存してください。

顔写真を「連絡先」にリンクさせる

「連絡先」の「Webページ」欄に、画像をリンクさせることができます。

1 リンクさせたい画像を選択する

2 「ツール」から「連絡先へ貼り付け」をタップする

3 画像をリンクさせたい連絡先を選択する

4 「登録」をタップする

お知らせ

- 画像に音声データが添付されている場合、音声データは登録されません。
- 画像にペン書き込みが行われている場合、ペンデータは登録されません。ペンデータもあわせて登録したいときは、あらかじめ「編集」メニューの「別名で保存」または「ペンデータのマージ」を選択し、保存してください。

画像を送信する

メールや赤外線通信を使用して、画像を送信することができます。

メールで送る

1 送りたい画像を選択する

2 「ツール」から「電子メールで送信」をタップする

3 「送信画像設定」画面で、画像のサイズを設定する

送信する画像サイズを設定します。
送信する画像は、元画像をコピーしたファイルになります。
送信画像のサイズを変更しても、元画像ファイルのサイズは変更されません。

4 「送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した画像を添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。
「新規にメッセージを作成し、送信する」の操作４以降（参照 139ページ）を行ってください。

お知らせ

- 画像に音声データが添付されている場合、音声データは送信されません。
- 画像に「表示」メニューの「画像情報／コメント」でコメントが登録されている場合、コメントデータは送信されません。
- 画像にペン書き込みが行われている場合、ペンデータを画像に合成した状態で送信されます。
- メールを送信するには、「受信トレイ」の設定が必要です（参照 127ページ）。

ビームで送る

本体から赤外線ポートを備えたPocket PCへ、赤外線通信によるデータ転送を利用して、画像を送ることができます。

1 **送りたい画像を選択する**

2 **本体と他のPocket PCの赤外線ポートの位置を合わせる**

3 **「ツール」から「画像をビームする」をタップする**

4 **「送信画像設定」画面で、画像のサイズを設定する**

「メールで送る」の操作３を参照して、送信する画像のサイズを設定してください。

5 **「送信」をタップする**

赤外線通信を開始します。

お知らせ

- 画像に音声データが添付されている場合、音声データは送信されません。
- 画像に「表示」メニューの「画像情報／コメント」でコメントが登録されている場合、コメントデータは送信されません。
- 画像にペン書き込みが行われている場合、ペンデータを画像に合成した状態で送信されます。

第7章
困ったときは

1. Q&A

電源

1. 電源ボタンを押しても電源が入らない？

- 内蔵電池が消耗しきっています。充電を行ってください。
- バッテリスイッチが「停止」になっています。「供給」側に移動してください。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。
  リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（参照 246 ページ）

2. 急に電源が切れた？

- 内蔵電池が消耗しきりました。充電を行ってください。
- オートパワーオフ（自動サスペンド）が働きました。電源が切れるまでの時間を変えるときは、「スタート」→「設定」→「システム」タブから、「パワーマネージメント」→「コントロール」タブをタップし、設定してください。内蔵電池使用時とACアダプタ使用時で、それぞれ設定できます。

3. 充電しても使用時間が著しく短いのですが？

- 持ち運び時にプログラムボタンなどが押されて、電源が入ってしまった可能性があります。持ち運び時には、プログラムボタンなどが押されないように気をつけてください。
  プログラムボタンを押しても、電源が入らないように設定することもできます。（参照 73 ページ）
- 内蔵電池の寿命などが考えられます。新しい内蔵電池への交換を、お買い上げの販売店または東芝GENIO eカスタマセンタにご依頼ください。

4. 使用しながら充電できますか？

ACアダプタを接続していれば、使用しながら充電できます。

5. 本体内にバックアップ用の予備電池などが入っていますか？

入っておりません。ただし、内蔵電池の充電残量がわずかになり電源がONできなくなった時点から、約75時間はメモリを保持します。メモリ保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。

6. 予備用に内蔵電池（バッテリ）を購入できますか？

内蔵電池（バッテリ）は、お客様自身で交換できないようになっていますので、 販売しておりません。

画面、フロントライト

1. 画面（ディスプレイ）の一部に、非点灯・常時点灯などの点があるのですか？

ディスプレイの一部に非点灯・常時点灯などの点が存在することがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。
ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていて、非点灯・常時点灯などの点を少量に抑えるように管理していますが、現在の技術水準でも完全になくすことは困難ですので、ご了承ください。

2. 画面が暗い？

- フロントライトが OFF になっています。電源ボタンを長く押して ON にしてください。
- 内蔵電池の充電残量が少なくなっています。「フロントライト」で充電残量が70%以下のときは、フロントライトを電池残量に応じて暗くし、電池の消耗を抑えるよう設定されています。充電を行ってください。また、設定を無効にするには、「バッテリ残量に応じて、明るさを調節する」のチェックをはずしてください。

3. 画面が暗くなった？

- 設定した未使用時間を超えたため、フロントライトが消灯しました。再び使用すると、フロントライトは ON になります。
- 内蔵電池の充電残量が少なくなりました。充電残量が5%以下になるとフロントライトを消灯し、電池の消耗を抑えます。充電を行ってください。

4. フロントライトのON/OFFを任意に切り替えることはできますか？

フロントライトは、電源ボタンを長押しすることでON/OFF を手軽に切り替えることができます。また「スタート」→「設定」→「システム」タブをタップし、「フロントライト」で明るさのレベルを「省電力」側(左端)に設定すればOFFすることができます。内蔵電池使用時とACアダプタ使用時でそれぞれ設定してください。

5. 画面を見やすい明るさにしたい？

「スタート」→「設定」→「システム」タブから「フロントライト」をタップし、明るさのレベル「9段階＋省電力(消灯)」の中から、見やすい明るさを選択してください。

6. 画面をタップしても正しく応答しない？

- タッチスクリーンの設定が正しく調整されていません。「スタート」→「設定」→「システム」タブから「画面」をタップし、タッチスクリーンの補正を行ってください。
- 静電気などの影響で、タッチスクリーンの誤作動が起きている可能性があります。本体をリセットしてください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（参照 246ページ）

7. 画面をタップした時の反応が極端に遅い。動作がおかしい？

- メモリ容量が不足していると思われます。使用していないプログラムの終了処理を行って、メモリ容量を確保してください。
  プログラムの終了は、「スタート」→「設定」→「システム」→「メモリ」の「実行中のプログラム」で行います。または「ホーム」の実行中タブでも行うことができます。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（参照 246ページ）

8. 画面がロックして動かないのですが？

何らかの異常が発生した可能性があります。本体をリセットしてください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（参照 246ページ）

9. 画面（液晶パネル）のサイズはどのくらいですか？

液晶パネルのサイズは、4.0型です。

メモリカード

1. 本体メモリを拡張することはできますか？

本体メモリを拡張することはできませんが、SDメモリカードやCFメモリカードなどを、データ保存用のメモリとしてご利用できます。

2. メモリカードを増設したのですが、本体メモリ容量が変わらないのですが？

メモリカードを増設しても、本体メモリ容量は変化しません。メモリカードは、プログラムのインストール先、データ保存先としてご利用ください。

3. SDメモリカードまたはCFメモリカードに、アプリケーションをインストールすることはできますか？

アプリケーションによっては、メモリカードに保存して、そこから起動することもできます。これはアプリケーションに依存しますので、ソフトメーカにご確認ください。

4. SDカードスロット、CFカードスロットのそれぞれにメモリカードをセットした状態で使えますか？

使えます。CFメモリカードは「CF Card」と、SDメモリカードは「SD Card」と表示されます。

5. メモリカードの残り容量はどのように調べたらよいですか？

メモリカードの使用状況は、「スタート」→「設定」→「システム」→「メモリ」をタップし、「メモリカード」で調べることができます。

6. SDカードスロットはMMCカードに対応していますか?

当社で動作確認をしているMMCカードがありますので、「GENIO eホームページ」等でご確認ください。ただし、当社にて動作保証をするものではありませんので、ご了承ください。

7. メモリカードを使用中に本体の電源を切っても大丈夫ですか？

メモリカードに本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。カードが破損する場合があります。

8. メモリカードを使用してファイルのコピーをしているとき、間違って本体の電源を切ってしまったのですが？

コピーをやり直してください。電源を入れた後、メモリカードのフォルダが表示されなくなったときは、カードをいったん本体から取り出し、再度取り付けてみてください。

操作全般

1. プログラムが起動しない？

内蔵電池の充電量が不足しています。充電を行ってください。

2. 操作の反応が遅い？

- メモリ容量が不足しています。使っていないアプリケーションを終了させて、メモリ容量を確保してください。
- 「プロセッサ設定」で動作速度が遅い速度に設定されています。速い動作速度に設定してください。（参照 75ページ）
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（参照 246ページ）

3. 起動時にパスワードを設定することはできますか？

パスワードは、「スタート」→「設定」→「個人用」タブをタップし、「パスワード」で設定することができます。4桁の数字、または7桁以上の英数字のパスワードで設定することができます。（参照 66ページ）

4. スタートメニューに表示される項目を編集することはできますか？

スタートメニューに表示される項目は、「スタート」→「設定」→「個人用」タブをタップし、「メニュー」で編集することができます。

5. 従来機種のGENIO eや他社のPocket PC（以下他のPocket PCと呼ぶ）でバックアップを取ったデータを、この本体にリストアすることはできますか？

できません。リストア操作を実行しても、正常にデータが戻りません。(当社では、このような操作を行った場合に発生するいかなる問題にも責任は負いませんので、あらかじめご了承ください。)
他のPocket PCのデータを、この本体に取り込む場合には、まずActiveSyncを使用して他のPocket PCとパソコンで同期を取ってください。（同期を取る項目は、事前にパソコンのActiveSync側で設定しておいてください。）次に、この本体とパソコンで同期を取り、必要なデータをこの本体に取り込んでください。

6. 本体の時間を設定しても、すぐにずれてしまうのですが？

初期値では、パソコンのActiveSyncにおいて「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」項目にチェックが付いています。 このため本体とパソコンの同期を取ると、パソコンの日時に自動的に変更されます。この機能を無効にするか、パソコンの時間を正しく設定してください。

【無効にする操作方法】

パソコンのActiveSyncの「ツール」→「オプション」をクリックし、「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」のチェックをはずします。

7. マイクロドライブ™やメモリカードなどを使用しているときに、本体の電源を切っても大丈夫ですか？

マイクロドライブ™やメモリカードなどを使用中で、本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。ドライブやカードが破損する場合があります。

文字入力

1. 半角英文字を入力すると、先頭の文字が大文字になってしまうのですが？

初期値では、文字入力の設定が「英文の最初の文字を大文字にする」となっています。
以下の操作でこの設定を無効にすることができます。

1. 「スタート」→「設定」を選択する
2. 「入力」アイコンをタップする
3. 「オプション」タブをタップする
4. 「英文の最初の文字を大文字にする」のチェックボックスのチェックをはずす
5. 「OK」をタップする
6. 文字入力を行うアプリケーションを一度終了し、再起動する

2. 手書き文字入力をする際の変換を速くできませんか？

以下の操作で速くすることができます。

1. 「スタート」→「設定」を選択する
2. 「入力」アイコンをタップする
3. 「入力方法」の「▼」をタップし、「手書き入力」を選択する
4. 「オプション」ボタンをタップする
5. 「タイムアウト値」を“1”に設定する
   - 初期値では“2”に設定されています。
6. 「OK」をタップする
7. 再度「OK」をタップする
8. 本体をリセットする

Today

1. 作成した覚えのない未送信メッセージが数通登録されているのですが？

予定表で新規に予定を作成する時に会議出席者を選択しておくと、会議出席者のメールアドレスにメールが送信されます。 また、会議の予定を変更/削除した場合に「この会議の変更内容を出席者に連絡しますか？」というメッセージが表示されますが、この問いに対して「はい」と回答すると、「更新」/「キャンセル」のメールが会議出席者に送信されます。 このメールが受信トレイの「送信トレイ」に保存されています。
本体の初期値では、受信トレイの「表示」メニューから「ActiveSync」を選択して「送信トレイ」を開くと、このとき作成され、未送信のメールを確認することができます。

同期(ActiveSync)

1. USBドライバを組み込んでいますが、パソコンとUSB接続できないのですが？

本体の「スタート」→「ActiveSync」→「ツール」→「オプション」をタップし、「クレイドルにドッキングしたときに次の接続速度で同期を有効にする」がチェックされていて、「USB」が選択されていることを確認してください。

2. ActiveSyncのセットアップはできましたが、同期が取れないのですが？

以下の操作、確認をしてください。

- 「パソコンとの接続のしかた」(参照 20ページ) をご覧いただき、パソコンに本体が正しく接続されているかどうかを確認してください。
- パソコンのActiveSyncを起動し、「ファイル」→「接続の設定」をクリックしてください。
  「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」、あるいは「USB接続をこのPCで有効にする」にチェックが付いていることを確認してください。
- 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください。(参照 241ページ）また、一度本体をリセットしてから操作してください。
- パソコンを再起動してください。

【USB接続の場合】

- USBハブを経由して本体のクレードルを接続する場合は、電源の付いたUSBハブを利用してください。電源なしのUSBハブをご使用の場合は、パソコンに直接USBクレードルを接続してください。
- USBポートが複数存在するパソコンをご使用の場合は、別のUSBポートに接続してみてください。

3. ActiveSyncで接続すると「同期完了」と表示されずに「要確認」と表示されてしまうのですが？

以下の操作をしてください。

- パソコンのActiveSyncを起動して、「ツール」→「オプション」をクリックし、「規則」タブをクリックしてください。「競合の解決」の選択項目を変更してください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接USBクレードルを接続してください。
- LANで同期を取っている場合には、USBクレードルを使用して同期を取ってみてください。
- パソコンのActiveSyncを起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、再度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

4. 同期がうまく取れなくなってしまったのですが？

以下の操作をしてください。

- SD Audio Playerが起動している場合は、ActiveSyncが使用できません。SD Audio Playerを終了してから操作してください。
- 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了してから操作してください。（参照 241ページ）
- 同期中にケーブルを抜いたり、本体をクレードルから外したり、また、接続／切断を何度も繰り返すと、パソコンと接続できなくなる場合があります。このような現象が発生したときは、本体をリセットし、パソコンを再起動して、再度接続をしてください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接USBクレードルを接続してください。
- パソコンのActiveSyncを起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、再度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

5. Outlook97/98のデータは同期できますか？

ActiveSync3.5では、Outlook98と同期できます。Outlook97はサポート対象外です。

6. ActiveSync3.5でサポートしているOutlookは何ですか？

ActiveSync3.5では、Outlook98/2000/2002をサポートしています。

7. Outlook Expressと同期を取ることはできますか？

Outlook Expressとは、同期を取ることができません。

8. ネットワークカードを使用して同期が取れないのですが？

以下の操作で設定すれば、同期が取れるようになります。ネットワークを利用して同期を取る場合でも、一度同期設定をしておく必要があります。

1. 「スタート」→「設定」→「接続」タブをタップし、「接続」アイコンをタップする
2. 一番下の「ネットワークカードの接続先」を「社内ネットワーク」にする
3. ネットワークカードを挿入する
4. 「スタート」→「ActiveSync」で画面中央の「同期」をタップする

- 初期値ですと、同期完了後切断されるよう設定されています。継続する場合は、ActiveSyncの「ツール」→「オプション」→「スケジュール」タブをタップし、「リモートで…切断する」のチェックをはずしておきます。

9. 赤外線を利用して同期が取れないのですが？

パソコンの出荷時状態では、赤外線の設定が有効になっていないものがあります。まず、パソコンの赤外線が利用できるように、以下の操作で設定してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

1 本体を接続しない状態で、パソコンのActiveSyncを起動する
2 「ファイル」→「接続の設定」をクリックする
3 「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付ける
4 「COMx」となっている場合には「▼」をクリックして「赤外線ポート(IR)」を選択する
   - 「赤外線ポート(IR)」が表示されない場合、ご利用のパソコンで赤外線が有効になっていない可能性があります。再度パソコンの赤外線設定をご確認ください。
5 「OK」ボタンをクリックする
6 本体とパソコンの赤外線ポートを向き合わせたら、本体より「スタート」→「ActiveSync」をタップする
7 「ツール」→「赤外線から接続」をタップする

10. Macintoshと同期を取ることはできますか？

本体は、Macintoshと同期を取ることはできません。

11. 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか？

以下の操作をしてください。

1 パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「同期の設定」タブに切り替え、同期する情報の種類を変更し、「OK」ボタンをクリックする
3 ActiveSyncの同期ボタンをクリックする

12. 仕事の同期時、終了設定がパソコンに設定されると同時に、その仕事の項目が削除されてしまうのですが？

ActiveSyncの仕事の同期設定で、「完了していない仕事だけを同期する」が選択されていたら、「すべての仕事を同期する」に変更してください。

13.本体にPHSカードをセットした状態で同期を取っていたら、インターネットへの接続（ダイヤルアップ接続）が開始されてしまった？

同期の接続に失敗したか、途中でクレードルから本体を外したのが原因です。インターネットへの接続を切断してください。ナビゲーションバーの「通信接続」アイコンをタップし、「終了」をタップします。

14. 本体を電源OFFの状態で、パソコンに接続されているUSBクレードルに差し込んでおいたら、同期が開始されたのですが？

決められた時間間隔で同期を取るように設定されています。設定を無効にするには、本体の「スタート」→「ActiveSync」→「ツール」→「オプション」→「スケジュール」タブをタップし、「PCと接続しているとき、次の時間間隔でサーバーと同期する」のチェックをはずしてください。

インターネット接続、メール

1. インターネットに接続できない(ダイヤルできない)？

- 通信機器が正しくセットされているか、ご確認ください。
- 指定の携帯電話接続ケーブルを使って正しく接続されているか、確認してください。
- 通信機器の電波状態が良好かどうか、ご確認ください。
- ダイヤルアップ接続先のユーザーID/パスワードが半角の英数字で正しく入力されているか、ご確認ください。
- ActiveSyncなどで、本体とパソコンを接続した状態になっている場合は、パソコンとの接続を終了してください。
- 本体とパソコンなどが赤外線通信中になっている場合は、赤外線通信を終了してください。

2. ダイヤルはできるのですが接続できない？

以下の項目をご確認ください。

- 正しいモデムおよび電話番号が選択されていますか。以下の操作で“モデム接続”の確認、設定をしてください。
  1. 「スタート」→「設定」をタップする
  2. 「接続」タブをタップする
  3. 「接続」をタップする
  4. ご利用になるダイヤルアップ設定を選択する
  5. “インターネット設定”、または任意の設定名にて「変更」をタップする
  6. ご利用になる接続名をタップする
  7. 「次へ」をタップして、アクセスポイントの市外局番と電話番号を入力し、「次へ」をタップする
  8. 「完了」をタップする

- 0 発信もしくは市外局番を省略してダイヤルしていませんか。以下の操作で“ダイヤルパターン”の確認、設定をしてください。
  1 「スタート」→「設定」をタップする
  2 「接続」タブをタップする
  3 「接続」をタップする
  4 「ダイヤルのプロパティ」タブを選択する
  5 「ダイヤルパターン」をタップする
  6 “市内通話”、“市外通話”がそれぞれ“FG”になっていることを確認し、「OK」をタップする
     - “0,FG”もしくは“0,G”となっている場合は、“0,”を削除することで、0発信しなくなります。
  7 「OK」をタップする
- ダイヤル時に使用する設定が違っていませんか。以下の操作で確認、設定をしてください。
  1 「スタート」→「設定」をタップする
  2 「接続」タブをタップする
  3 「接続」をタップする
  4 ご利用になるダイヤルアップ設定を選択する
  5 “インターネット設定”、または任意の設定名にて「変更」をタップする
  6 ご利用になる接続名をタップアンドホールドする
  7 「接続」をタップする

3. ホームページは見ることができるのですが、メールの送受信ができません？

Pocket Internet Explorerでホームページが閲覧できているということは、インターネット接続は正しく設定されています。
この場合には、メール接続設定が正しくない可能性があります。プロバイダから提供されている、下記のメール接続設定のデータを再度ご確認ください。（参照 127ページ）

- ユーザー名 / ユーザー ID
- パスワード
- POP3/IMAP4 サーバー名
- SMTP サーバー名

4. メールを受信しても、メールが途中で切れているのですが？

初期値では、2KBを取得する設定になっています。受信トレイを起動したら、以下の操作でメールの取得設定を変更してください。

1 「ツール」→「オプション」をタップする
2 表示されているサービス一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする

「 電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。

3 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする

4 詳細設定画面が表示されたら、(2/3)画面になるまで「次へ」をタップする

- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択している場合には、何KBまでメールを取得するか数字を指定してください。初期値では、2Kに設定されています。
- メールの全文を取得する場合には、「▼」をタップして、「メッセージの全文を取得する」を選択してください。

5 「次へ」をタップし、「完了」ボタンをタップする

5. 受信したメールをメモリカードに保存することはできますか？

メールをメモリカードに保存することはできません。しかし、添付ファイルをメモリカードに保存することは可能です。「ツール」→「オプション」→「保存場所」をタップしたら、“メモリカードに添付ファイルを保存する”にチェックを付けてください。なお、このチェックボックスは、メモリカードが挿入されていないとチェックすることはできません。

6. 添付ファイルは取得できますか？

受信トレイを起動したら、以下の操作でメールの取得設定を変更してください。

1 「ツール」→「オプション」をタップする

2 表示されているサービス一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする

「電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。

3 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする

4 詳細設定画面が表示されたら、(2/3)画面になるまで「次へ」をタップし、「メッセージヘッダーのみ取得する」または「メッセージの全文を取得する」のいずれかを選択する

- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合には、何KBまで受け取るか容量を設定します。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合には、すべての添付ファイルを受信します。

5 「次へ」をタップし、「完了」ボタンをタップする

7. 「メモリカードに添付ファイルを保存する」のチェックが外れないのですが？

以下の項目をご確認ください。

- このチェックを入れたときに挿入されていたメモリカードが、挿入されていますか。
- メモリカード上のフォルダ“Inbox.mst …”を削除した覚えはありませんか。
- メモリカードを挿入し直してみてください。

Pocket Internet Explorer

1. インターネットに接続できるのですが、ホームページの表示ができません？

DNSの設定が間違っている可能性があります。以下の操作でDNSの設定を確認、修正してください。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「接続」タブをタップして、「接続」アイコンをタップする
3 インターネット接続で使用する設定を選択し、「変更」をタップする
4 インターネット設定の画面が表示されたら、ダイヤルアップ接続で使用する接続名をタップする
5 「詳細設定」ボタンをタップする
   - 「TCP/IP」および「ネームサーバー」の設定を再度ご確認し、必要があれば修正してください。
6 「OK」ボタンをタップする
7 「次へ」→「次へ」→「完了」ボタンをタップする
8 インターネット設定の画面に戻ったら、「OK」ボタンをタップする

2. ネットワークカードを使用して社内(イントラネット)のホームページは見ることができるのですが、社外(インターネット)のホームページを見ることができません？

プロキシの設定をご確認ください。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「接続」タブをタップし、「接続」アイコンをタップする
3 中段の「社内ネットワーク」の下の「変更」をタップする
4 「プロキシの設定」をタップし、「このネットワークをインターネットへ接続する」と「プロキシサーバーを使用してインターネットへ接続する」にチェックが付いていることを確認する
5 「詳細設定」をタップする
   - サーバーのアドレスおよびポート番号が正しいか確認してください。
   - アドレスやポート番号が分からない場合は、ご利用になっているネットワークの管理者にご相談ください。

3. パソコン上で見たホームページを、本体でオフラインで閲覧するにはどうすればよいですか？

以下の方法で閲覧することができます。

1 パソコンでInternet Explorerを起動して、「ツール」→「モバイルのお気に入りの作成」、「OK」で、モバイルのお気に入りを作成する
   - この操作は最初の１回だけ必要です。
2 Internet Explorerで本体に転送したいページを表示させる
3 「お気に入り」→「お気に入りに追加」で、「モバイルのお気に入り」のフォルダを選択する

4 “オフラインで使用する”をチェックして､｢OK｣を選択する
5 ｢お気に入り｣→｢モバイルのお気に入り｣に、本体に転送したいページが追加されているのを確認する
6 本体とパソコンをActiveSyncで接続する
Pocket Internet ExplorerとInternet Explorerの｢モバイルのお気に入り｣が同期されます。
7 本体でPocket Internet Explorerを起動して、｢お気に入り｣のアイコンをタップする。同期したページが追加されているので、そのページ名をタップする
パソコンで取り込んだページが本体に表示されます。

4. Pocket Internet Explorerで表示している画像データを保存することはできますか？

Pocket Internet Explorerで表示している画像を、ファイルとして保存することはできません。

5. Flashムービーなどのマルチメディアコンテンツが含まれるWebページを見ることはできますか？

付属のアプリケーションCDに入っているFlash™ Playerをインストールすれば見ることができます。

6. フレームのあるWebページに対応していますか？

対応しています。

7. SSLに対応していますか。対応しているとすれば、また何ビットまで対応していますか？

SSL（128 ビット)に対応しています。

予定表

1. 予定の通知にアラームを鳴らすことはできますか？

予定の通知にアラームを鳴らすには、以下の操作でアラームを有効に設定してください。

1 ｢スタート｣→｢設定｣をタップする
2 ｢音と通知｣アイコンをタップする
3 “プログラム”チェックボックスと、“通知”チェックボックスにチェックを付ける
4 ｢通知｣タブをタップする
5 “音を鳴らす場面”で｢アラーム｣を選択する
6 “音を鳴らす”チェックボックスにチェックを付ける
7 ｢OK｣をタップする

2. 予定表の表示で、希望する日へジャンプするにはどうすればよいですか？

左端の日付をタップすると、小さな月のカレンダーが表示され、希望する日へジャンプすることができます。

3. 祝日を登録するにはどうすればよいですか？

本体にはあらかじめ祝日が登録されていませんが、パソコンのOutlookと同期を取ることにより、祝日データを取り込むことができます。以下の操作をしてください。

1. パソコン側でOutlookを起動する
2. 「ツール」→「オプション」をクリックし、「予定表オプション」ボタンをクリックする
3. 「祝日の追加」ボタンをクリックする
4. 「予定表に祝日を追加」画面が表示されたら、“日本”にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックする
5. 「OK」ボタンをクリックして「予定表のオプション」画面、「オプション」画面を閉じる
6. パソコンのActiveSyncより「ツール」→「オプション」をクリックし、“予定表”にチェックを付ける
7. 「予定表」を選択した状態で、「設定」ボタンをクリックする
8. “すべての予定を同期する”、あるいは“次の中から選択した分類項目に含まれる予定だけを同期する”を選択し、“祝日”にチェックを付ける
9. 「OK」ボタンをクリックし、「予定表の同期設定」画面、「オプション」画面を閉じる
10. 同期を取る
    祝日データが本体に登録されます。

4. 予定を作成した際に送信されるメールを、ActiveSync以外から送信するにはどうするのですか？

予定表から送信するメールは、ActiveSync以外の通常のメールボックスからも送信を行うことができます。
予定表を起動したら、「ツール」→「オプション」をタップしてください。「会議出席依頼の送信方法」に表示されている“ActiveSync”の右側「▼」をタップして、会議通知を送付するためのメールボックスを選択してください。

- このとき表示されるメールボックス一覧は、「受信トレイ」で既に作成してあるメールボックスです。

5. 本体に登録しておいた古い予定が消えてしまったのですが？

ActiveSyncで同期を取ると、本体に登録されている予定表のデータは、2週間以前のものが削除されてしまいます。これはメモリを有効に使用するために、古いデータを本体に残さないようにするためです。（パソコン側の予定表はデータが残ります）
以前の予定表データを本体に残しておきたい場合には、パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」より「予定表」を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。
初期値では"2週間前"の予定から同期を取るようになっていますので、この数値を変更するか、"すべての予定を同期する"にチェックを付けてください。ただし、たくさんのデータを本体に残すとその分メモリを使用します。必要な期間のデータを同期するようにしてください。

Windows Media Player

1. Windows Media Player で再生できるファイルにはどのようなものがありますか？

インターネットなどで配信されているMP3形式、またはWindowsMedia形式（音声はWMA、動画はWMV、ASF）に対応しています。QuickTime形式には対応していません。

2. 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化（CPRM）に対応していますか？

対応しておりません。

3. 音楽CDからWMA形式のファイルを作成しましたが、本体で再生をすると止まってしまうのですが？

以下の操作をしてください。
お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンによっては、操作などの仕様が異なる場合があります。
【データを本体にコピーする】

1. 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2. パソコンのWindows Media Playerから「ポータブルデバイス」を選択する
3. 「コピーする音楽」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4. 「デバイス上の音楽」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5. 「音楽のコピー」ボタンをクリックする
   - ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。

- また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
- うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1. パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2. 「CDオーディオ」タブをクリックしたら、「コピーの設定」項目に“個人用の著作権管理を有効にする”というチェックボックスがありますので、ここのチェックをはずす
3. 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、再度音楽CDからWMAファイルを作成する
4. 作成したWMAファイルを本体にコピーする
   - 通常のコピー操作です。

4. 本体でWMA形式のファイルを再生しようとしたら、「著作権…」のメッセージが表示され、再生できないのですが？

以下の操作をしてください。
お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンによっては、操作などの仕様が異なる場合があります。

【データを本体にコピーする】

1. 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2. パソコンのWindows Media Playerから「ポータブルデバイス」を選択する
3. 「コピーする音楽」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4. 「デバイス上の音楽」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5. 「音楽のコピー」ボタンをクリックする
   - ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
   - また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
   - うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1. パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2. 「CDオーディオ」タブをクリックしたら、「コピーの設定」項目に“個人用の著作権管理を有効にする”というチェックボックスがありますので、ここのチェックをはずす
3. 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、再度音楽CDからWMAファイルを作成する
4. 作成したWMAファイルを本体にコピーする
   - 通常のコピー操作です。

アプリケーション

1. アプリケーションを終了させるには、どうすればよいですか？

以下のどちらかの方法で、終了操作をしてください。
【メモリ設定より終了】

1 「スタート」→「設定」→「システム」を開いて、「メモリ」アイコンをタップする
2 「実行中のプログラム」タブをタップする
   ● 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。
   終了したいアプリケーションを選択し、「終了」ボタンをタップする。 または「すべて終了」ボタンをタップする

【ホームより終了】

1 ホーム画面を表示する
2 タブ選択ボックスをタップして、「実行中」を選ぶ。タブ表示形式の場合は「実行中」タブをタップする
   ● 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。
3 終了したいアプリケーションをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「終了」をタップする。 または、画面上の何もない場所でタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「すべて終了」をタップする

2. 購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできますか？

購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできません。

3. アプリケーションなどのショートカットを作成することはできますか？

ファイルエクスプローラで作成することができます。ファイルエクスプローラで該当ファイルをコピーし、コピー先のフォルダで、ショートカットの貼り付けを行います。

4. メモリカード中の任意のソフトを「ホーム」に登録するにはどうすればよいですか？

以下の操作で登録することができます。メモリカードを本体にセットしてください。

1 メインメモリの“¥Windows”中にそのソフトの実行ファイルのショートカットを作成する
2 ホーム画面を表示する
3 登録したいタブの画面上でタップアンドホールドして表示されるポップアップメニューから「追加」を選択する
4 「アプリケーション」の下の「参照」ボタンをタップする

5 「参照ダイアログ」で「フォルダ」が「Windows」になっていることを確認し、「種類」を“すべてのファイル”に切り替える

6 表示されたファイル名リストの中で、1.で作成したショートカットをタップする

自動的に「アプリケーション追加」画面 に戻ります。

7 「アプリケーション名」にわかりやすい名前を入力し、「OK」ボタンをタップする

- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

5. EXEファイルをプログラムに登録するにはどうすればよいですか？

ファイルエクスプローラでそのEXEファイルをコピーし、メインメモリの“¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム”フォルダで、ショートカットの貼り付けをすると、「スタート」の「プログラム」に登録することができます。

カメラ

1. 撮影ができないのですが、どうすればよいですか？

- バッテリの充電残量を確認してください。20%以下のときは撮影できません。充電を行ってください。
- レンズカバーを開けているか確認してください。
レンズカバーがきちんと開いているか（半開きになっていないか）確認してください。
- SDメモリカード／CFメモリカードを保存先に設定している場合、設定したメディアが本体に挿入されているか確認してください。
- 保存先に設定している本体メモリ／SDメモリカード／CFメモリカードに空き容量が残っていないことが考えられます。「GENIOショット」画面で撮影可能枚数を確認してください。
- 拡張ユニット（別売品）を取り付けていると、レンズが覆われてしまい撮影できません。拡張ユニットを取り外してください。

2. フラッシュ撮影ができないのですが、どうすればよいですか？

「GENIOショット」でフラッシュが発光禁止に設定されている場合、フラッシュは発光しません。フラッシュボタンをタップして設定を変更してください。

海外での使用

1. 海外で利用できますか？

本商品の仕様は、日本国内向けとなっています。海外での使用は考慮しておりません。

2. 海外で修理できますか？

本商品は、日本国内向け商品となっています。海外での修理はできません。

その他

1. スタイラスペンをなくしてしまったのですが、どこで買えますか？

本商品をお買い上げの販売店で、別売りのスタイラスペンをご購入ください。

2. 本体は、防水・防滴機能はついていますか？

本体には防水、防滴機能はありません。

2. 警告メッセージ

メッセージ	原因/対処
メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバッテリを交換または充電してください。	電池が消耗しています。すみやかに電池を充電してください。（参照 9ページ） 満充電をしてもこのメッセージがすぐに出るようでしたら内蔵電池の寿命が考えられます。内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または東芝GENIO eカスタマセンタへご依頼ください。お客様が交換することはできません。
電池残量不足 電池残量が少ないため、USB機器は使用できません。	USB機器に必要な電力（参照 26ページ）を供給できない場合に、このメッセージを表示します。 本体にACアダプタを接続するか、USB機器にACアダプタなどの外部電源が接続できる場合は外部電源を接続し、USB機器を接続しなおしてください。 上記を行っても、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器の製造元または販売元へご相談ください。
USB過電流検出 USB機器は使用できません。USB機器をはずしてリセットしてください。	USBポートに供給できる電流（参照 26ページ）を超過したため、電源供給を停止しました。 このメッセージが表示された場合は、リセットを行うまで、USBポートの使用ができなくなります。USB機器を取り外してリセットを行ってください。 この後、本体にACアダプタを接続するか、USB機器にACアダプタなどの外部電源が接続できる場合は外部電源を接続し、再度USB機器を接続してください。 上記を行っても、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器の製造元または販売元へご相談ください。

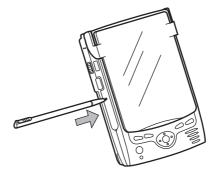
3. リセットと初期化の方法

リセットする

リセットはパソコンの「再起動」に相当します。ボタンやタップが働かなくなったなどの異常が発生した場合にリセットを行ってください。

お願い

- リセットした場合、保存されていない作業中のデータは消去されます。すでに保存したデータは、消去されません。

1 電源を入れた状態で、リセットスイッチをスタイラスで押して離す

「Today」画面が表示されます。

お知らせ

- リセットを行っても、正常な状態に戻らない場合は、初期化を行ってください。

初期化する

初期化すると、ご購入時の状態に戻ります。リセットを行っても正常に戻らない場合に行ってください。

お願い

- 初期化した場合、本体内メモリに保存したすべてのデータが消去されます。最初から内蔵されているプログラムなどは消去されません。
- 初期化する前に、本体内メモリに保存したデータは、控えをとっておいてください。
- 初期化する前にメモリカードは抜いてください。メモリカード内の記憶データが消去される可能性があります。

1 本体の電源を OFF にする

2 リセットスイッチをスタイラスで押したまま、電源ボタンを指で押して離す

3 画面が表示されたら、リセットスイッチからスタイラスを離す

- 初期化が終了すると、「Pocket PC 2002」の画面が表示されます。「初期セットアップ」（参照 14 ページ）したときと同じように画面に従ってセットアップを行ってください。

4. アフターサービスについて

ご使用中に異常が発生したときは、「Q&A」や「警告メッセージ」をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも異常が解決できないときは、お買い上げの販売店または「東芝GENIO eカスタマセンタ」に修理をご依頼ください。

- 保証書に記載されている保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理については、修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 修理は機器の機能・性能の修復・維持を目的とし、保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品、あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。

東芝 GENIO e カスタマセンタ

電話番号	043-279-2631
営業日	月曜日～日曜日（年末年始、当社特別休日を除く）
受付時間	午前９時～午後５時

ローマ字入力一覧表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ	いぇ	よ
YA		YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ		うぇ	を
WA	WI		WE	WO
ん				
NN N の次に子音、続けて母音 (例) SANKOU→さんこう				

が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

小文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA XA	LI XI LYI	LU XU	LE XE LYE	LO XO
っ				
LTU XTU 子音を重ねて母音 (例) KAKKO→かっこ				
ゃ		ゅ		ょ
LYA XYA		LYU XYU		LYO XYO
ゎ				
LWA XWA				

きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
CHA CYA TYA	 CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JA JYA ZYA	 JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

くぁ				くぉ
KWA				QWO QO
くゃ	くぃ	くゅ	くぇ	くょ
QYA	QYI	QYU	QYE	QYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
FA	FI FYI		FE FYE	FO
ふゃ		ふゅ		ふょ
FYA		FYU		FYO
ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
VA	VI	VU	VE	VO

パームサイズＰＣのデータを本体に転送する

パームサイズPCをお使いの場合、そのデータを本体に転送することができます。操作は次のように行います。

1 お使いのパソコンに Microsoft ActiveSync 3.5 をインストールする

2 パームサイズＰＣとパソコンの同期をとり、パソコンの情報を最新のものにする

3 ActiveSync エクスプローラを使用してファイルをパソコンにコピーする

- パームサイズＰＣ上の「手書きメモ」や「録音」のファイルを転送するときは、ファイルがデバイスフォーマットを維持するように、ActiveSync のオプションのファイル変換をオフにしてください。
- 操作方法の詳細は、ActiveSyncのオンラインヘルプを参照してください。

4 本体とパソコンの同期をとる

本体がパソコンの最新データ（操作２）で更新されます。

5 パームサイズＰＣにインストールしていたプログラムを、本体にインストールする

インストール前に、そのプログラムが Pocket ＰＣ用に最適化された新バージョンであるか、確認してください。

6 ActiveSync エクスプローラを使用して、操作３でパソコンにコピーしたファイルを本体にコピーする

- コピーが終わったら ActiveSync のオプションのファイル変換をオンに戻してください。

7 本体に設定および接続情報を入力する

索引

V

W

ア

イ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ム

メ

モ

ヨ

リ

レ

ロ

主な仕様

本商品の仕様は、日本国内向けになっています。
海外でのご使用は考慮しておりません。

品　名	GENIO e550C
外形寸法	縦125×横76.5 × 厚さ17.5mm（突起部を除く）
周辺環境条件	動作時　温度0～40℃、湿度30～80%RH ・充電可能温度　約5～35℃（動作状態によっては、 35℃以下でも充電を停止することがあります。）
内蔵電池 種類 メモリ保持時間	 アドバンストリチウムイオン充電池 約75時間 電源がONできなくなってから、周囲温度25℃で放置した場合 注：使用時間、メモリ保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。
プロセッサ	インテル® XScaleテクノロジ PXA255アプリケーションプロセッサ 動作クロック最大400MHz
メモリ容量	128MB
ディスプレイ	低温ポリシリコン反射型カラーTFT 240×320ピクセル、65,536色
CFカードスロット SDカードスロット	CFメモリカードまたはCF+カードが挿入可 TypeⅠ／TypeⅡの3.3Vのみ対応 SDメモリカードまたはSDIOカードが挿入可
赤外線ポート	IrDA Ver.1.2準拠、データ転送速度　最大115kbps
外部機器接続端子	ステレオヘッドホン&マイクジャック クレードル接続ポート ACアダプタジャック
ACアダプタ	入力電源条件　AC100V、50／60Hz、33VA 定格出力　　　DC5V、3A
カメラ 有効画素数 撮影素子 F値 焦点距離 シャッター速度 撮影可能距離 フラッシュ	 約31万画素（総画素数35万画素） 1/5型CCDセンサー F2.8 f=2.6mm、固定焦点 自動 約35cm以遠 適正距離　約50cm